

平成22年 (2010年)

# 久米島町議会会議録

第1回臨時会 (1月25日)	1日間
第2回定例会 (3月10日～26日)	17日間

久米島町議会

# 目 次

目 次	I
平成22年第1回久米島町議会臨時会会期日程	II
平成22年第2回久米島町議会定例会会期日程	III
平成22年第2回定例会一般質問通告一覧表	IV

## 〈平成22年第1回久米島町議会臨時会（1月25日）〉

### 第1号（1月25日）

出席議員	1
議事日程第1号	2
開会	3
日程第1 会議録署名議員の指名	3
日程第2 会期の決定	3
日程第3 議案第1号 字の区域の変更について	3
日程第4 議案第2号 久米島町立学校給食センター自動食器・食缶洗浄機購入請負契約について	4
日程第5 議案第3号 久米島町立幼稚園、小学校、中学校地上デジタルテレビ等調達物品供給契約について	5
日程第6 議案第4号 久米島町立小学校、中学校情報機器調達物品供給契約について	7
日程第7 議案第5号 久米島町立小学校、中学校理科備品調達物品供給契約について	8
日程第8 議案第6号 久米島町の職員の給与の特例に関する条例及び久米島町長等の給料等の特例に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例について	12
閉会	20

## 〈平成22年第2回久米島町議会定例会（3月10日）〉

### 第1号（3月10日）

出席議員	23
議事日程第1号	24
開会	25
日程第1 会議録署名議員の指名	25

日程第 2	会期の決定	25
日程第 3	議長諸般の報告	25
日程第 4	町長施政方針	25
日程第 5	議案第 7 号 平成21年度久米島町一般会計補正予算(第 7 号)について	31
日程第 6	議案第 8 号 平成21年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算 (第 3 号) について	44
日程第 7	議案第 9 号 平成21年度久米島町老人保健特別会計補正予算 (第 2 号) について	44
日程第 8	議案第10号 平成21年度久米島町後期高齢者医療特別会計補正予算 (第 3 号) について	46
日程第 9	議案第17号 久米島町職員の給与の特例に関する条例を廃止する条例に ついて	47
日程第10	議案第18号 久米島町長等の給料等の特例に関する条例等の一部を改正 する条例について	49
日程第11	議案第19号 久米島町産業振興基金条例について	51
日程第12	議案第20号 平成21年度久米島町下水道事業特別会計補正予算 (第 3 号) について	62
日程第13	議案第21号 町道の変更について	62
日程第14	議案第22号 あらたに生じた土地の確認について	63
日程第15	報告第 1 号 専決処分の報告について (4 号農道整備工事請負契約)	64
日程第16	報告第 2 号 専決処分の報告について (4 号農道整備工事請負契約)	64
日程第17	報告第 3 号 平成22年度沖縄県町村土地開発公社事業報告について	65
日程第18	議案第11号 平成22年度久米島町一般会計予算について	66
日程第19	議案第12号 平成22年度久米島町国民健康保険特別会計予算について	69
日程第20	議案第13号 平成22年度久米島町老人保健特別会計予算について	70
日程第21	議案第14号 平成22年度久米島町後期高齢者医療特別会計予算について	71
日程第22	議案第15号 平成22年度久米島町水道事業会計予算について	72
日程第23	議案第16号 平成22年度久米島町下水道事業特別会計予算について	73
	散会	74

〈平成22年第 2 回久米島町議会定例会 (3 月11日)〉

第 2 号 (3 月11日)

出席議員	77
議事日程第 2 号	78
開会	79
日程第 1 会議録署名議員の指名	79

日程第2	一般質問	79
	散会	117

〈平成22年第2回久米島町議会定例会（3月26日）〉

第3号（3月26日）

出席議員	119
議事日程第3号	120
開会	121
日程第1	会議録署名議員の指名 121
日程第2	議案第23号 海洋深層水温浴施設の指定管理者の指定について 129
日程第3	議案第24号 奥武島キャンプ施設の指定管理者の指定について 130
日程第4	議案第25号 島の学校体験交流施設の指定管理者の指定について 131
日程第5	議案第11号 平成22年度久米島町一般会計予算について 131
	議案第12号 平成22年度久米島町国民健康保険特別会計予算について 131
	議案第13号 平成22年度久米島町老人保健特別会計予算について 131
	議案第14号 平成22年度久米島町後期高齢者医療特別会計予算について 131
	議案第15号 平成22年度久米島町水道事業会計予算について 131
	議案第16号 平成22年度久米島町下水道事業特別会計予算について 131
日程第6	発議第1号 保育所・児童入所施設の環境改善を求める意見書について 142
日程第7	発議第2号 子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成を求める意見書に ついて 143
日程第8	決議第1号 「国立沖縄青少年交流の家」存続を求める要請決議について 144
	閉会 146

## 平成22年第1回久米島町議会臨時会 会期日程

開 会      平成22年1月25日（月）  
 閉 会      平成22年1月25日（月）      会期1日間

月 日	曜日	会議区分	開 議 時 刻	摘 要
1月25日	月	本 会 議	午前10時00分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○開会</li> <li>○会議録署名議員の指名</li> <li>○会期の決定</li> <li>○議案審議                             <ul style="list-style-type: none"> <li>議案第1号      議案第2号      議案第3号</li> <li>議案第4号      議案第5号      議案第6号</li> </ul> </li> <li>○閉会</li> </ul>

## 平成22年日程第2回久米島町議会定例会 会期日程

開 会 平成22年3月10日（水）  
 閉 会 平成22年3月26日（金） 会期17日間

月 日	曜日	会議別	開議時刻	摘 要																					
3月10日	水	本会議	午前10時	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 開会</li> <li>○ 会議録署名議員の指名</li> <li>○ 会期の決定</li> <li>○ 議長諸般の報告</li> <li>○ 町長施政方針</li> <li>○ 議案審議                             <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">議案第7号</td> <td style="width: 33%;">議案第8号</td> <td style="width: 33%;">議案第9号</td> </tr> <tr> <td>議案第10号</td> <td>議案第17号</td> <td>議案第18号</td> </tr> <tr> <td>議案第19号</td> <td>議案第20号</td> <td>議案第21号</td> </tr> <tr> <td>議案第22号</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>報告第1号</td> <td>報告第2号</td> <td>報告第3号</td> </tr> <tr> <td>議案第11号</td> <td>議案第12号</td> <td>議案第13号</td> </tr> <tr> <td>議案第14号</td> <td>議案第15号</td> <td>議案第16号</td> </tr> </table> </li> <li>○ 散会</li> </ul>	議案第7号	議案第8号	議案第9号	議案第10号	議案第17号	議案第18号	議案第19号	議案第20号	議案第21号	議案第22号			報告第1号	報告第2号	報告第3号	議案第11号	議案第12号	議案第13号	議案第14号	議案第15号	議案第16号
議案第7号	議案第8号	議案第9号																							
議案第10号	議案第17号	議案第18号																							
議案第19号	議案第20号	議案第21号																							
議案第22号																									
報告第1号	報告第2号	報告第3号																							
議案第11号	議案第12号	議案第13号																							
議案第14号	議案第15号	議案第16号																							
3月11日	木	本会議	午前10時	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 開議</li> <li>○ 会議録署名議員の指名</li> <li>○ 一般質問</li> <li>○ 散会</li> </ul>																					
3月12日	金			予算審査特別委員会																					
3月13日	土	休 会																							
3月14日	日	休 会																							
3月15日	月			予算審査特別委員会																					
3月16日	火			予算審査特別委員会																					
3月17日	水	休 会																							
3月18日	木	休 会																							
3月19日	金	休 会																							
3月20日	土	休 会																							
3月21日	日	休 会																							
3月22日	月	休 会																							
3月23日	火	休 会																							
3月24日	水	休 会																							
3月25日	木	休 会																							
3月26日	金	本会議	午前10時	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 開議</li> <li>○ 会議録署名議員の指名</li> <li>○ 議案審議                             <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">議案第23号</td> <td style="width: 33%;">議案第24号</td> <td style="width: 33%;">議案第25号</td> </tr> <tr> <td>議案第11号</td> <td>議案第12号</td> <td>議案第13号</td> </tr> <tr> <td>議案第14号</td> <td>議案第15号</td> <td>議案第16号</td> </tr> <tr> <td>発議第1号</td> <td>発議第2号</td> <td></td> </tr> <tr> <td>決議第1号</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </li> <li>○ 閉会</li> </ul>	議案第23号	議案第24号	議案第25号	議案第11号	議案第12号	議案第13号	議案第14号	議案第15号	議案第16号	発議第1号	発議第2号		決議第1号								
議案第23号	議案第24号	議案第25号																							
議案第11号	議案第12号	議案第13号																							
議案第14号	議案第15号	議案第16号																							
発議第1号	発議第2号																								
決議第1号																									

## 平成22年第2回定例会一般質問通告一覧表

質問順	質問者	質問事項	頁
1	上里総功議員	1. 観光産業の振興について	79p～82p
2	仲村昌慧議員	1. 学校の統廃合について	82p～88p
		2. 産業振興地域見直しについて	
3	安村達明議員	1. 外灯の設置について	88p～90p
		2. 謝名堂川の修復について	
4	宇江原総清議員	1. 鳥島射爆撃場の早期返還について	90p～98p
		2. コンクリート護岸の撤去とこれに伴う潮害防備保安林等の植栽について（河川を含む）	
		3. 久米島3中学校の統廃合について	
5	幸地良雄議員	1. 久米島紬の振興について	98p～104p
6	平良義徳議員	1. 観光産業の現状について	105p～109p
7	崎村正明議員	1. さとうきび運搬について	109p～117p
		2. P T A活動について	

平成22年（2010年）

# 第1回久米島町議会臨時会

1日目

1月25日



平成22年 第1回久米島町議会臨時会  
会議録 第1号

招集年月日	平成22年1月25日 (月曜日)			
招集の場所	久米島町議会議事堂			
開閉会日時 及び宣言	開会	1月25日 午前10時00分	議長	山里昌輝
	閉会	1月25日 午前11時10分	副議長	山里昌輝
応招議員 出席議員  出席14名 欠席0名	議席番号	氏名	議席番号	氏名
	1番	崎村正明	8番	幸地良雄
	2番	宮田 勇	9番	上里総功
	3番	饒平名 智弘	10番	安村達明
	4番	宇江原 総清	11番	宮里洋一
	5番	山城 宗太郎	12番	翁長 学
	6番	仲村 昌慧	13番	平良 義徳
	7番	喜久里 猛	14番	山里昌輝
(不応招) 欠席議員	番		番	
会議途中退席議員	番		番	
開議後出席議員	番		番	
公務欠席議員	番		番	
	番		番	
会議録署名議員	9番	上里 総功	10番	安村 達明
職務のため会議に 出席した者	職名	氏名	職名	氏名
	事務局長	桃原 秀雄	書記	
	係長	安田 栄		
地方自治法第121条により説明のため議場に出席した者の職氏名				
職名	氏名	職名	氏名	
町長	平良 朝幸	教育課長	佐久田 等	
副町長	大田 治雄	商工観光課長		
教育長	比嘉 隆	環境保全課長		
総務課長	仲村渠 一男	建設課長	盛本 實	
町民課長		農林水産課長		
プロジェクト推進室長		農業委員会事務局長		
税務課長		上下水道課長		
福祉課長		消防長		
会計管理者		空港管理事務所長		

## 平成22年 第1回久米島町議会臨時会

議事日程〔第1号〕

平成22年1月25日（月）

午前10時00分 開会

日程	議案番号	件名	頁
第1		会議録署名議員の指名（久米島町議会会議規則第120条）	3p
第2		会期の決定	3p
第3	議案第1号	字の区域の変更について	3p
第4	議案第2号	久米島町立学校給食センター自動食器・食缶洗浄機購入 請負契約について	4p
第5	議案第3号	久米島町立幼稚園、小学校、中学校地上デジタルテレビ 等調達物品供給契約について	5p
第6	議案第4号	久米島町立小学校、中学校情報機器調達物品供給契約に ついて	7p
第7	議案第5号	久米島町立小学校、中学校理科備品調達物品供給契約に ついて	8p
第8	議案第6号	久米島町の職員の給与の特例に関する条例及び久米島町 長等の給料等の特例に関する条例の一部を改正する条例 の一部を改正する条例について	12p
		閉会	20p

(午前 10時03分 開議)

○ 議長 山里昌輝

おはようございます。これより本日の会議を開きます

本日の議事日程はあらかじめお手元に配付したとおりであります。

日程第1 会議録署名議員の指名

○ 議長 山里昌輝

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第120条の規定によって、9番上里総功議員。10番安村達明議員を指名します。

日程第2 会期の決定

○ 議長 山里昌輝

日程第2、会期の決定を議題とします。  
お諮りします。

本臨時会の会期は、本日1月25日の1日間としたいと思っております。

ご異議ありませんか。

(多数の「異議なし」の声あり)

○ 議長 山里昌輝

異議なしと認めます。従って、会期は本日の1日間に決定しました。

日程第3 字の区域の変更について

○ 議長 山里昌輝

日程第3、議案第1号、字の区域の変更を議題とします

本案について、提案理由の説明を求めます。  
大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

おはようございます。

それでは、議案第1号字の区域の変更について、地方自治法第260条第一項の規定により字の区域を別紙の通り変更するものとする。

平成22年1月25日提出

久米島町長 平良朝幸

提案理由

昭和57年に実施した当時の村道です。町道整備事業の公有水面埋立により、本町の区域内に新たに土地が生じた字界の変更が必要なため、本会に提出するものであります。

2ページ目に字界変更調書を添付しております。区域を変更する字、字宇根泊原1706番の1、1706番の3、1706番の4、字奥武、奥武島94番及び字奥武、奥武島99番に至る地先公有水面であります。

次ページにカラー刷りの資料が添付されていますが、その部分の黄色い部分が今回の提案事項の力所になります。ご審議よろしくお願いたします。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 山里昌輝

これで、提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

討論なしと認めます。

これから議案第1号字の区域の変更についてを採決します。

本案は原案の通り決定することに賛成の方

は、挙手をねがいます。

(挙手全員)

○ 議長 山里昌輝

全員挙手です。

従って議案第1号字の区域の変更については原案のとおり可決されました。

**日程第4 久米島町立学校給食センター自動食器・食缶洗浄機購入請負契約について**

○ 議長 山里昌輝

日程第4、議案第2号、久米島町立学校給食センター自動食器・食缶洗浄機購入請負契約についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第2号、久米島町立学校給食センター自動食器・食缶洗浄機購入請負契約について  
久米島町立学校給食センター自動食器・食缶洗浄機購入について、下記のとおり請負契約を締結するため、地方自治法第96条第1項第8号の規定により、議会の議決を求める。

記

1. 契約の目的 久米島町立学校給食センター自動食器・食缶洗浄機
2. 契約の方法 指名競争入札
3. 契約金額 7,980,000円
4. 契約の相手 沖縄県那覇市西3丁目15番9号  
有限会社第一機行  
代表取締役  
大城正敏

平成22年1月25日提出

久米島町長 平良朝幸

提案理由

久米島町立学校給食センター自動食器・食缶洗浄機購入の契約の締結については、久米島町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得、または処分に関する条例第3条の規定により議会の議決を得る必要がある。

次ページに契約書の資料を添付しております。なお、今回の入札については3社を指名し、その内の第一機行さんが98.35%で落札をしております。ご審議よろしくお願ひします。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 山里昌輝

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

9番上里総功議員。

○ 9番 上里総功議員

給食センターの食器・食缶洗浄機は古くなったから交換なのか、定期的に何年か後に替えなければいけないという、そういう法律に基づいてやるのか、それを聞きたいです。

○ 議長 山里昌輝

佐久田等教育課長。

○ 教育課長 佐久田等

ただいまの上里議員のご質問にお答えします。今、入っている食器洗浄機は、平成2年に入れまして、入れてから約18年が経過しております。今でもたびたび故障しております。そのたびに那覇から業者を呼んで修理を依頼している状況ですので、今回、この地域活性化経済危機対策の事業を導入して切り替えましょうということです。

○ 議長 山里昌輝

9番上里総功議員。

(挙手全員)

○ 9番 上里総功議員

何年に切り替えとか、そういうことではないということで理解してよろしいですか。

○ 議長 山里昌輝

他に質疑ありませんか。

13番平良義徳議員。

○ 13番 平良義徳議員

この古い洗浄機の処分の方法、例えば業者に下取りで新しいのを購入するのか、それからまたリサイクルセンターに還元するのか、また地域の業者に還元するのか、この後の処分の方法はどういうふうにしますか。

○ 議長 山里昌輝

佐久田等教育課長。

○ 教育課長 佐久田等

ただいまの平良議員の質問にお答えします。今、切り替えるもの、前のものにつきましては、リサイクルセンターに持っていくのか、そのへんちょっと確認とれておりませんので、また、給食センターに問い合わせ、後日、電話なりで回答したいと思います。

○ 議長 山里昌輝

他に質疑ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

討論なしと認めます。

これから、議案第2号、久米島町立学校給食センター自動食器・食缶洗浄機購入請負契約についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

○ 議長 山里昌輝

全員挙手です。

従って、議案第2号、久米島町立学校給食センター自動食器・食缶洗浄機購入請負契約について、原案のとおり可決されました。

日程第5 久米島町立幼稚園、小学校、中学校地上デジタルテレビ等調達物品供給契約について

○ 議長 山里昌輝

日程第5、議案第3号、久米島町立幼稚園、小学校、中学校地上デジタルテレビ等調達物品供給契約についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第3号、久米島町立幼稚園、小学校、中学校地上デジタルテレビ等調達物品供給契約について。

久米島町立幼稚園、小学校、中学校地上デジタルテレビ等調達について、下記のとおり物品供給契約を締結するため、地方自治法第96条第1項第8号の規定により、議会の議決を求める。

記

1. 契約の目的 久米島町立幼稚園、小学校、中学校地上デジタルテレビ等調達
2. 契約の方法 指名競争入札
3. 契約金額 6,972,000円
4. 契約の相手 久米島町字大田357の4  
久米島総業  
山里昌豊

平成22年1月25日提出

久米島町長 平良朝幸

提案理由

久米島町立幼稚園、小学校、中学校地上デジタルテレビ等調達の物品供給契約の締結は、久米島町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得、又は処分に関する条例、第3条の規定により、議会の議決を得る必要がある。これがこの議案を提出する理由であります。

2枚目に契約書を添付しております。

そして、今回の指名業者については、4社を指名しております。

これはすべて島内の事業者であります。その内、久米島操業さんが98.19%での落札となっています。ご審議よろしくお願ひします。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 山里昌輝

これで提案理由の説明を終わります。これから質疑を行います。

12番翁長学議員。

○ 12番 翁長学議員

物品契約書の中に契約執行場所の中に久米島幼稚園、小学校、中学校、西中とありますが、他の学校については、今回でなくて次で契約するということですか。

○ 議長 山里昌輝

佐久田等教育課長。

○ 教育課長 佐久田等

今回、議会に提出しました議案につきましては、700万以上越えて、議会の承認を得ないといけない議案事項でありますので、他の学校のデジタルテレビについてはこの議会の承認を得なくても契約できる事案でありましたので、今回すべての幼稚園、小学校、中学校に入れていきます。

○ 議長 山里昌輝

他に質疑はありませんか。

8番幸地良雄議員。

○ 8番 幸地良雄議員

テレビの台数とサイズはどうなっているか、みんな同じなのか。

○ 議長 山里昌輝

佐久田等教育課長。

○ 教育課長 佐久田等

幸地議員の質問にお答えします。今回の議案に提出したものにつきましては、16台になります。今回は久米島幼稚園、久米島小学校、久米島中学校、久米島西中学校で16台。また、他に議案に提出してない部分で、大岳幼稚園、大岳小学校、清水幼稚園、清水小学校で14台、続きまして、仲里幼稚園、仲里小学校、仲里中学校で12台。続きまして美崎幼稚園、美崎小学校、比屋定幼稚園、比屋定小学校で12台の予定で入れていきます。サイズにつきましては、50インチを入れる契約になっています。

○ 議長 山里昌輝

8番幸地良雄議員。

○ 8番 幸地良雄議員

今、契約するのが16台。残り14台、12台があるということですね。

○ 議長 山里昌輝

他に質疑ありませんか。

7番喜久里猛議員。

○ 7番 喜久里猛議員

請負比率の方で98.19%となっているんですが、皆さんが予算を組む時点においての見積はどこからとったんですか。

○ 議長 山里昌輝

佐久田等教育課長。

○ 教育課長 佐久田等

見積は島外の業者からうちの担当が見積をもらっています。1社となっております。

○ 議長 山里昌輝

他に質疑ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

討論なしと認めます。

これから、議案第3号、久米島町立幼稚園、小学校、中学校地上デジタルテレビ等調達物品供給契約についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手全員)

○ 議長 山里昌輝

全員挙手です。

従って、議案第3号、久米島町立幼稚園、小学校、中学校地上デジタルテレビ等調達物品供給契約については原案のとおり可決されました。

日程第6 久米島町立小学校、中学校情報機器調達物品供給契約について

○ 議長 山里昌輝

日程第6、議案第4号、久米島町立小学校、中学校情報機器調達物品供給契約についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第4号、久米島町立小学校、中学校情報機器調達物品供給契約について

久米島町立小学校、中学校情報機器調達について、下記のとおり物品供給契約を締結するため、地方自治法第96条第1項第8号の規定により議会の議決を求める。

記

1. 契約の目的 久米島町立小学校、中学校情報機器調達
2. 契約の方法 指名競争入札
3. 契約金額 24,703,350円
4. 契約の相手 久米島町字兼城9-2  
有限会社オンワード久米島  
浜元忠

平成22年1月25日提出

久米島町長 平良朝幸

提案理由

久米島町立小学校、中学校情報機器調達の物品供給契約の締結は久米島町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得、または処分に関する条例第3条の規定により、議会の議決を得る必要がある。これがこの議案を提出する理由であります。

2枚目に契約書を添付しております。

そして、今回、4社を指名して入札を執行しておりますが、その内の1社が入札を辞退して3社となっております。請負比率が85.46%となっております。ご審議よろしくお願ひします。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 山里昌輝

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

7番喜久里猛議員。

○ 7番 喜久里猛議員

先だっの新聞に中学校、小学校の統廃合について載ってましたが、統合を前提として

の統合委員会だと解釈しているわけですが、あえてこの議案から見ますと、全小学校、中学校を対象にしていますよね、急いでやる必要があったのか、その統合案の結果で、その分については予算の削減ができたんじゃないかという気がするんだが、そのへんの回答をお願いします。

○ 議長 山里昌輝

佐久田等教育課長。

○ 教育課長 佐久田等

台数につきましては、すべてのパソコン、小中学校のパソコン教室の要望の出でおります台数はこの予算の範囲内では入れることができませんでした。統廃合してもまた新たに統廃合された部分につきましては、残りの学校から回して、もしかしたらその分の確保ができるのかなという感じがしておりますが、統廃合することにより、余分なパソコンの機器の台数が出ないような台数に今のところなっています。

○ 議長 山里昌輝

他に質疑ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

討論なしと認めます。

これから、議案第4号、久米島町立小学校、中学校情報機器調達物品供給契約についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手全員)

○ 議長 山里昌輝

全員挙手です。

従って、議案第4号、久米島町立小学校、中学校情報機器調達物品供給契約については、原案のとおり可決されました。

#### 日程第7 久米島町立小学校、中学校理科備品調達物品供給契約について

○ 議長 山里昌輝

日程第7、議案第5号、久米島町立小学校、中学校理科備品調達物品供給契約についてを議題とします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第5号、久米島町立小学校、中学校理科備品調達物品供給契約について。

久米島町立小学校、中学校理科備品調達物品供給契約について、下記のとおり物品供給契約を締結するため、地方自治法第96条第1項第8号の規定により議会の議決を求める。

記

1. 契約の目的 久米島町立小学校、中学校理科備品調達
2. 契約の方法 指名競争入札
3. 契約金額 12,064,500円
4. 契約の相手 久米島町字儀間120-3  
みやぎ文具店  
園田眞理

平成22年1月25日提出

久米島町長 平良朝幸

提案理由

久米島町立小学校、中学校理科備品調達物品供給契約の締結は、久米島町議会におき、議決に付すべき契約及び財産の取得、または



処分に関する条例、第3条の規定により、議会の議決を得る必要がある。これがこの議案を提出する理由であります。

2ページ目に契約書を添付してあります。なお、今回の入札については島内2社、島外1社の3社を指名しておりますが、島内の1社が入札を辞退しております。なお、入札結果については、再入札まで実施しておりますが、落札が出なかったために、みやぎ文具店さんと随意契約での締結となります。ご審議よろしく申し上げます。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 山里昌輝

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

2番宮田勇議員。

○ 2番 宮田勇議員

契約の相手方みやぎ文具店、みやぎ文具店においてはこのような理科備品、物品が現在取り扱ってないと思いますが、そのへんはどうして指名されたのか。

○ 議長 山里昌輝

佐久田等教育課長。

○ 教育課長 佐久田等

みやぎ文具店につきましては、今まで町内の小中学校に対して、このような理科備品と他の文具等もずっと納めて実績もありますので、町内2社、島外1社を指名しました。

○ 議長 山里昌輝

2番宮田勇議員。

○ 2番 宮田勇議員

文具類はもちろん、それは理解できますが、現在ないじゃないですか、お店に。これまで文具店においては学校関係の備品とか、僕は前にも疑問があつて質疑したんだが、学校の

体育館の備品、テーブル、イス、ああいったものを扱ってないのに、なぜ、そういったものを扱っている店もあるんじゃないですか、ねはとか、ホームセンターとか、そういったのは指名入れないで、なぜ、敢えて学校の備品に関するものはみやぎ文具店、今回においても随意契約というんでしょ。その予算の見積り、どういったかたちでとって、ただ、随意契約で任せっぱなしでやっているのか。

○ 議長 山里昌輝

佐久田等教育課長。

○ 教育課長 佐久田等

ただいまの質問に対してお答えいたします。島内のほとんどの業者は各文具店等にも理科備品等のものは置いてない状況です。ほとんど今、業者さんはカタログを持ってきてセールスを行って、各学校が要望があるものをカタログで選択して購入する方法になっております。理科備品これは学校教材の一環でありまして、宮城さんにおきましては昔から各学校の理科備品を取り扱って、先ほど申し上げたとおり、納めておりますので、今回この理科備品についてもみやぎ文具店さんを指名しております。

菊文具店さんも過去に理科備品等、学校教材も扱っておりましたので、菊文具店さんも指名しております。

あと1社は、那覇のAM化学さんは沖縄本島の唯一の町内の学校関係で理科備品を扱って、現在町も利用している島外の1社となっておりますので、この3社を指名しました。

○ 議長 山里昌輝

2番宮田勇議員。

○ 2番 宮田勇議員

私が聞いているのは、なぜ、みやぎ文具店

か、前からこういったのをやっている。なぜ、みやぎ文具店を指名して特別にやっているのかと、別の業者はなぜ、指名入れないのか。扱っていない商品をこうやって取りそろえて納品しなさいといったらどこの業者でもできますよ。今後、改善してほしいと思うんだが。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

ただいまの質問にお答えします。今回の指名に当たっては物品納入業者として町に指名参加願いを出している業者の中から基本的には地元業者ということで選定して、指名をいたしております。

その中において入札を執行して、落札はしなかったんですが、最低価格の業者と随意契約というようなかたちでなっております。

特に今回の経済対策が、この地元企業に潤うようにということですので、できるだけ地元の指名参加願いに登録されている業者を選定して入札を執行しているということですので、最初から園田さんのところを対象にということではございませんので、あくまでも競争入札を執行した上で最低価格の業者と、落札はしなかったんですが、最低価格の業者と契約となっておりますので、よろしくをお願いします。

○ 議長 山里昌輝

宮田議員の本件に関する質疑、既に3回になりましたが、会議規則第55条但し書きの規定によって特に発言を許します。

2番宮田勇議員。

○ 2番 宮田勇議員

今、総務課長の説明で、指名競争業者、その指名を受ける業者はどのように申請してや

るのか、この久米島の中には業者いっぱいおりますよ、それは本人が希望してくるのか、そちらの方から伺いを立ててくるのか。ちゃんとそういったのは説明をせんと、業者はこういった取引は、今は不況ですからね、どこの業者でもものは売りたい気持ちはありますよ。地域が優先するならもっと業者を増やせばいいじゃないですか。そのへんどう思いますか。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

指名参加願いについては、申請主義、自分はこの商売をやりたいということであれば申請していただいて、基本的にはその内容を審査して認めるというようなかたちになっています。

こういった物品、情報機器関連の業者についても指名参加するからには、やはりそのものを納めてくれる業者としっかりとした取引関係があることが前提となっておりますので、そういうことを自社で判断して納入できるということを判断して、あと、町としてもいろんな添付書類がございますので、それを審査して受理するというかたちになります。あくまでも申請主義でございます。

○ 議長 山里昌輝

他に質疑ありませんか。

9番上里総功議員。

○ 9番 上里総功議員

理科備品ということで今回はたくさんの備品が調達されるわけなんですけど、今まで学校に備品を与えても、ほこりをかぶっている備品はないのかそういうところのチェックは今までやったことがあるのかどうか。ずっと以

前なんです、そういうほこりをかぶっている備品を見たことがありますので、教育委員会としては、ほんとに備品が使われているかどうかのチェックを今までやっているのかどうか、それを聞きたい。

○ 議長 山里昌輝

佐久田等教育課長。

○ 教育課長 佐久田等

上里議員の質問にお答えします。教育委員会としましては、毎年、1回理科備品等も備品台帳に基づいて職員3名で各学校に行きまして、毎年すべてチェックをしております。

○ 議長 山里昌輝

7番喜久里猛議員。

○ 7番 喜久里猛議員

指名競争入札であったのだが、再入札にも落札なしの結果、随意契約ということになっているわけですが、随意契約の場合において、執行部の方から予定価格を公表して、これでお問い合わせということやと思うんですが、その場合において必ずしも、この金額を提示する必要があるのかどうか。例えば、この契約を見ますと100円単位の500円まで契約されていますよね、万単位で切る必要もあると思うんですが、そのへんのところどうでしょう。

○ 議長 山里昌輝

佐久田等教育課長。

○ 教育課長 佐久田等

契約金額につきましては、消費税込みの金額で契約しておりますので500円という端数も生じております。最初の入札、そして再入札、そして再々入札でも予定価格よりも下回らなかったために、3回目の入札で一番低い入札をしましたみやぎ文具店さんに我々の予

定価格を提示しまして、この金額でできるかどうか、確認して、今回はこの金額で随意契約ということになっています。

○ 議長 山里昌輝

7番喜久里猛議員。

○ 7番 喜久里猛議員

私の質問が悪かったですね。私が申し上げたかったのは、予定価格を満額提示したかどうかの話なんですよ。そのへんのところを、内訳書の中でないものが抜けていたとか、可能性が十分あるわけですよ、小さいもので、そういうものに回せるんですよ、いくらか落とせば。皆さんは予定価格を満額提示したかどうか。あるいはいくらか落としてやったんだけど、これでもだめだと言われたのかどうか。そのへんのところ詳しく説明してください。

○ 議長 山里昌輝

佐久田等教育課長。

○ 教育課長 佐久田等

随意契約する場合に予定価格よりも低い金額での提示は行っておりませんでした。

○ 議長 山里昌輝

他に質疑はありませんか。

11番宮里洋一議員。

○ 11番 宮里洋一議員

理科備品の中で薬品なども含まれているのかどうか。そして、古い薬品はどう処理しているのか。それと多分、今日貰った資料が、契約の内容だと思うんですが、いっぱいあるので、この元々あったものが使えないのか、また使えないとしたら、これは処分はどうしてやっているのかについて。

○ 議長 山里昌輝

佐久田等教育課長。

○ 教育課長 佐久田等

今回の理科備品につきましてはすべて学校の出してきた要望を我々も取り入れまして、出てきたものについては、すべて入れておりますが、薬品につきましては今回学校から特に特殊な薬品等については要望はございませんでした。

そして薬品の処理につきましては、これは特殊なものでございますので、平成19年に各学校廃棄する薬品のリストをもらいまして、平成19年土に廃棄業者に委託しまして、使えないものは処分しております。

古いものは今回、新しい指導要領に基づきまして小学校でも4年生、5年生、6年生につきましても実習がだいぶ増えますので。その実習にあった、新しく必要とする理科備品等、古くなって使えないやつの切り替えの備品等が出てきておりますので、廃棄につきましては、特殊にそういう業者をお願いして廃棄するものでもございませんので、リサイクルセンター等と調整しながら、また、廃棄していきたいと考えています。

○ 議長 山里昌輝

他に、質疑ありませんか。

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

討論なしと認めます。

これから議案第5号、久米島町立小学校、中学校理科備品物品供給契約についてを採決します。本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手全員)

○ 議長 山里昌輝

挙手多数です。

従って、議案第5号、久米島町立小学校、中学校、理科備品調達物品供給契約については原案のとおり可決されました。

日程第8 久米島町の職員の給与の特例に関する条例及び久米島町長等の給料等の特例に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例について

○ 議長 山里昌輝

日程第8、議案第6号、久米島町の職員の給与の特例に関する条例及び久米島町長等の給料等の特例に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第6号、久米島町の職員の給与の特例に関する条例及び久米島町長等の給料等の特例に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例

上記議案を提出する。

平成22年1月25日提出

久米島町長 平良朝幸

久米島町職員の給与の特例に関する条例及び久米島町長等の給料等の特例に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例  
久米島町職員の給与の特例に関する条例及び久米島町長等の給料等の特例に関する条例の一部を改正する条例の一部を次のように改正する。

大枠の中で改正前、改正後が掲載されてい

ますが、主な内容としまして、改正後、附則、  
(施行期日)

1. この条例は公布の日から施行し、改正後の第1条の規定による改正後の久米島町職員の給与の特例に関する条例、第1条の規定は、平成21年6月1日から適用する。

(給与の内払い)

2. 改正前の条例の規定に基づいて職員に支払われる給与は改正後の条例の規定による給与の内払いとみなす。

が改正内容となります。

附則

この条例は公布の日から施行する。

提案理由

久米島町職員の給与の特例に関する条例を職員組合との合意に基づき初級適用する必要がある。これがこの条例案を提出する理由であります。

細かいものについては先だつての21日に全体協議会の中で総務課長より説明がありましてとおりであります。ご審議よろしくお願ひします。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 山里昌輝

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

4番宇江原総清議員。

○ 4番 宇江原総清議員

特別職の給与というのが、今回の上げ幅においても、大きいと、給料が高いから上げ幅の額も多くなると、これはむしろ特別職というのは、責任感が大きいというようなことを言われましたが、むしろ現場で、一線で、働く職員が苦勞するんですよ、そういうような

面において、これを給与額の低い人に少しでもいい、気持ちの分でもいいからそういうようなかたちの考えを持ってほしいなというようなことで考えておりますが、どんなでしょうか。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

今回の議案の改正の中には特別職の給与については含まれておりません。今回は職員の給与特例条例に基づくカット率を、去った11月の臨時議会で改正いたしました。その去った11月の条例のとおり改正いたしますと、今年度の給与ですね、今年度の人事院勧告の給与が、かなり大幅なマイナスのカットになりましたので、21年度の4月から3月までの職員全体の給与が現行より低くなるということで、現在の給与特例条例に基づいてカットされている現状に、さらに追い打ちをかけるようなこととなりますので、それではやはり職員としてもいろんな生活の面もありますので、成り立たないということで、交渉の結果、減額率の緩和を12月1日から6月まで遡って適用すると、それによって、ほぼ、若干の増はありますが、職員の年間トータルの給与の減にならないようにという趣旨での特例条例の緩和を遡ってするという趣旨のものでございます。

今、おっしゃる特例の管理職の給与特例条例の取扱については、3月の議会で提案していきたいと思っておりますので、今回の分には特別職の分は含まれていません。

○ 議長 山里昌輝

4番宇江原総清議員。

○ 4番 宇江原総清議員

この案の審議もさることながら考え方を今、申し上げたんですよ。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

給与担当課長としての考え方は、地方公務員法の中に給与は職員の責任と能力に応じて支給するという基本原則がございますので、上記の特別職については、基本原則はやはりあるべきだと考えております。

○ 議長 山里昌輝

8番幸地良雄議員。

○ 8番 幸地良雄議員

増額になる分の配分については全員協議会の中で説明受けました。下に薄く上に厚くということになっていますけど、中間層、こういった場合、中間層に厚くした方がいいんじゃないかということは、中間といたら40歳前後ですか、これは一定じゃないんですけど、そのときに生活費がかかるからということがありましたが、今回は労組との話し合いもしたということですけど、そういった議論は出ませんでしたか。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

本町が給与特例条例で給与カットをする場合、その時点においていろんな議論がございました。例えば、県がやっているように一律3%、全員3%というようなかたちでやりますと給料の高い人は金額が多くなるわけです。低い人は少なくなる、それが平等じゃないかという議論もありました。

逆に給料の高い、管理職、特別職は町の経営に責任を持っているわけですから、その分

を逆に厚くすべきじゃないかという議論もあって、最終的にいろんな議論をやって、組合と合意に達したのが、15、10、5という割合で、最終的に決着したわけであります。

確かにおっしゃるように40代、50代前半が教育費とか、そういった家計の中においては金のかかる時期ではございますが、最終的には職員組合との合意でございますので、一端決まった率を変更するというのは非常に難しいと。今回の交渉の中においても率の変更というのはのやらないで、一定の割合ずつを減らしていくということになっております。

○ 議長 山里昌輝

3番饒平名智弘議員。

○ 3番 饒平名智弘議員

この給料の改正を11月にもやりました。そのときも職員、組合とは合意をしてやったと言っていた、その中で給料は下がらない、現状より少し上がると全協で説明受けました。それで各議員も議論なしで賛成したんですよ、それがまた2カ月後の1月になったら前のが間違っていたと、結局給料が下がるということで、そのために改正案を出してきた。

僕が一番言いたいのは、僕らにちゃんと納得させたんですよ、給料も下がらない、職員に対しても現状維持ですよということだとぶん合意したと思うんですよ。その合意したのに、じゃああれは何だったんですか、合意は、今回のような合意だったと思うんですよ。それに対して2カ月もたたないうちに前のが違っていましたよという感じでやるということは、議会に対して失礼だと思う。そういうことが間違っているといたから、はい、次の議会に提出して直そうという、とても安易にやっているような気がするんです。そのへん、

もっと慎重に、そういう改正案は1回でやるぐらいの、もっとちゃんとやってほしいところがある。そのへん総務課長はどう思いますか。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

組合とか交渉の中においては、今回の人事院勧告が12月1日適用ということです。これまでの従来の人事院勧告というのは4月まで遡って給与を改定して、4月から3月までの1年間の人事院の勧告が適用された場合は、こうなりますよというようなかたちで、資料をつくって組合との交渉に入るわけです。

今回の人事院勧告に関しては4月遡及というのがないわけですから、基本的に法律は遡及しないという原則がございます。基本的には原則として遡及しないという原則がございますので、総務課としては、この4月から3月までというのは過去は過ぎているわけですから、今年度の分はね。未来に対してしか、4月か3月というのはないわけです。

そういうことで組合交渉のときは、22年度の4月から次の3月までの1年間の資料をつくって交渉をしたわけです。

それは当然施行日とか、そういうのも口頭では説明してますが、配った資料の中にははっきりとその時期を明記しなかったということで組合側としては合意はしましたが、これは21年の4月から3月までというようなかたちで、総務課としては22年の4月からの分ということで食い違いが生じてしまったということでございます。

それについては資料にはっきりと明記しなかったという点については総務課の落ち度で

私の責任でございます。2回もお手数をおかけしたということは、これは事実でございますので、お詫びを申し上げます。

資料の作り方についても今後そういうことがないようにやっていきたいと思っています。

合意というのは、やっぱり合意です。資料に基づいて11月も合意したということです。その資料の捉え方に双方に食い違いがあったということございまして、決して悪意があってやったということではございませんので、ご理解をよろしくお願いしたいと思います。

○ 議長 山里昌輝

3番饒平名智弘議員。

○ 3番 饒平名智弘議員

こういう説明を受ければ納得はするんですけど、ただいつも言っていることは、前も下がりませんよ、組合ともちゃんと合意しましたということで、組合にすごいな、給料下がって合意するんだと思ったんですよ。よくよく話を聞けばそうじゃなくて、21年の12月か、4月かの、ボタンの掛け違いだと思うんですけど、それを2回もこんなことをやるということが、もっと慎重になってほしいということです。

○ 議長 山里昌輝

他に質疑ありませんか。

7番喜久里猛議員。

○ 7番 喜久里猛議員

大体、似たような内容になるんですが、11月に、ということは11月前に組合と折衝して合意に基づいて、12月1日から、これは法律に基づいた人事院勧告だからということで、話し合いまでしているのに、あえてまた、

今回組合の合意に基づき遡及適用すると。私はちょっと納得できないんですが、この労組との交渉の席には執行部側皆さんは何人参加したんですか、まずそれ一つ。町長、副町長、総務課長、それ一つ。

それから、意思の疎通がなかったということなんですが、これが納得できないんですよ、テーブルについて記録しながらやるのに、しかも12月1日からですよということ言っただけなんですよね、皆さんは、当然一人じゃないわけですから、複数でやっているはずですから、受けているはずですよ。

そのときに、意思の疎通ではなくて、一旦、合意したんじゃないかなと、私の解釈は。しかし、組合同士の話の中から出てきて、おかしいよと、昔は新年度に遡って遡及されたのにと、村時代からそうでしたよね、6月に議会があらうと、12月に議会があらうと新年度の4月から適用しますよというのが普通だったんですよ。

これは今回から人事院勧告によりできませんよということをお話ししたにもかかわらず、今この問題が出ているということ。

会議に執行部側は何人出たのか。前の会議、それから今回の会議。

それとほんとに組合側との意思の疎通がなかったのかどうか。合意をしたんだけど、テーブルの上では、その後組合員同士の中から出てきて、さらに再会議したのではないかと私は解釈しています。それが当たっているかないか、回答願います。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

まず、組合との交渉を行う場合、まず、事

務交渉を行います。これは事務交渉は総務課長と人事担当の班長2人が当局側から出ます。あと、組合の方は執行役員ということで、大体、4、5名出て交渉します。

今回は県からその通知が来て、この議案提出まで1週間ぐらいしか時間がなかったんですよ。1週間ぐらいしか時間がなくて、駆け足の交渉になりましたが、それを2回やっています。事務交渉ですね、事務交渉終わって、その後に団体交渉というのがあります。団体交渉は、それに町長、副町長が参加します。それと組合の役員約10名ぐらいです。団体交渉を行うようなかたちになってきます。

今回の分については人事院勧告の分の給与改定の条例改正と、給与特例の条例は、別々になりますが、関連はしますが、とりあえず一応分けて考えていただきたいと思います。

人事院勧告については、基本的には勧告のとおり実施するというので、よっぽどのことがない限り、勧告どおり実施しないということはありません。今回も人事院勧告のとおりということになっています。

意思の疎通という部分については、我々は2回の会議の中でその役員の皆さんとは、その資料を基に人事院勧告の内容も説明して、合意をしたつもりです。その時点においてはですね。

組合員の中で、それが実際給与が支給されて下まで降りていく中において、やはり組合員の中から、かなり不満が出てきたということで、再度それを受けて組合側と交渉したということでございます。

特にこの給与特例条例というのは、あくまでも組合との合意をもとに、合意を基本にしてやっていますので、人事院勧告については



組合がのまないといっても、それは法律の仕組みですから、当局側から強行に出すということもあり得ることですが、あくまでも特例条例については、組合員の協力を得て実施するというのが、基本的な原則だと考えていますので、今回、こういう結果になっております。

それから追加ですが、組合側の要求としては、12月の要求としては、12月1日で、給与改定が人事院勧告がマイナスになりますので、即刻、特例条例を12月1日で廃止してくれという要求です。組合側の要求はですね。それをいろいろ説明しながら調整して、2%緩和して、今年まではお願いしますというようなかたちで、最終的に決着がついています。以上でございます。よろしく申し上げます。

○ 議長 山里昌輝

7番喜久里猛議員。

○ 7番 喜久里猛議員

前は、課長1名、班長2名、当局2名、当局2名というのは町長、副町長ですよ、参加したのは。労組側から4人と。今回、この条例廃止に当たっての今回の組合との労使交渉というのは同じメンバーなんですか。再度確認します。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

再度の交渉については、事務交渉が2回で、団体交渉は町長、副町長が参加した団体交渉は行っておりません。これは組合との時間がとれなくて、あと、その経過を説明して、町長の決裁でやるようなかたちでやっております。

○ 議長 山里昌輝

7番喜久里猛議員。

○ 7番 喜久里猛議員

私が聞きたいのはそこなんです。まず、この内容の給料の問題ではない。11月に議会で決定したものを、さっき同僚議員も言っていましたね、2カ月もしないうちに条例改正を出す、行政姿勢の問題なんです。しかも、今回はお二人参加してないという話なんです。我々、議会に対して条例を改正するに当たっては慎重にやってほしい。町長、ほんとにこれでいいんですか。

普通ならね、11月にやってしまったよ、議会に上げてしまったよと、であれば半年、1年置いて、その中で町長が自ら労組との合意の結果、どうしても上げざるを得ないというのが普通なんです。今聞いたら参加してないという話でしょ。町長、そのへんところ説明してください。町長の姿勢を聞きたい、これは。

○ 議長 山里昌輝

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

今回の件につきましては、団体交渉をやった後に総務課長から報告を受けまして、お互いの認識のずれがあったということで、総務課からの持ち出してきた、この案について、私は認識のずれがあって、それをこっちの落ち度でやったということで、それは今回、この原案について、とおりにしてやろうという決定をいたしました。これはお互い認識のずれがあったというのは説明不足だったという、こちらの落ち度があったということで、今回、こうなったということにご理解いただきたいと思います。

○ 議長 山里昌輝

喜久里議員の質疑は既に3回になりましたが、会議規則第55条但し書きの規定によって発言を許します。

7番喜久里猛議員。

○ 7番 喜久里猛議員

議会に対してどういう気持ちかということなんです。我々も一所懸命やっているわけですよ、皆さんも一所懸命やっているが、その点の回答がほしかったんですよ。

今は経過の説明だけです。回答願えたら、回答してください。

○ 議長 山里昌輝

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

本当は議会に提出する議案については、十分と精査をして、十分と準備をしてやるべきだったということに関しては、皆さんに対してお詫びを申し上げたいと思います。

今後こういうことがないように、組合との交渉、あるいは他の場面でも十分に検討して議案については提出したいというふうに考えております。

○ 議長 山里昌輝

2番宮田勇議員。

○ 2番 宮田勇議員

この際ついでですから、条例と関係しないんだが、まあ関係するな、今、給与改定の条例ではあるんだが、先ほどから人事院勧告に基づいて、この人事勧告に基づいて必ず実施しなければいけないのか。これは地方行政なんか単独で、それは自分らの財政と照らし合わせてやるべきだと思うんだが、必ずやらないといけないということはないんじゃないですか。

この際、これはこの回答ももらうんだが、

近年、平成の大合併ということで、全国的に合併をしまいいりましたね。我々も具志川村、仲里村と合併して三十余名の議員から14名となってきました。こういった中で議員の研修を受けている中で、議員の数も減ってきたと、それなれに議員の役目もまた人数が減った分、その責任と任務も増えていると思います。そういった研修を受ける中で議員の報酬の改定というのが、そんなに慌ただしく出てこないですね。

市の議員というのは、町村の議員の2倍以上あるんですよ、同じ仕事をやりながら市の議員の報酬より町村の議員の報酬は半分以下なのか、研修の中でもあって、よく研修を受けているんですが、生活給に近い報酬をもらうべきだとある講師は言っておりました。議員の研修で。

なかなか議員の中でこれを言う人、聞く人もおらないだろうかと思いますが、私も長年、こうして7期目を迎えている中で、定数が減った分はそれなりの責任と、住民サービスもよけい被さってきているので、その分、生活給に近い報酬はあるべきだと思いますが、そういう今後の考え方はないのか、このような状態でいけば、もう生活力のある人しか、議員になれないという人材がおっても、議員しては生活できないという方々もあちこち聞こえてきています。

私は今期で終わる予定であります、次から次へとくる…。

今後ですね、こういった考え方はないのか、町長答えてください。

○ 議長 山里昌輝

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

確かに合併してから、議員の定数も減ってきました。行政としても勸奨退職、ずっとこれまで進めてきて、給与とかいろいろなもので財政の厳しい中を乗り切ってきた。これも議員の皆さんのご協力があったからだということで、本当に、この場をお借りして、感謝を申し上げます。

あと、議員の報酬については、大体、同規模市町村と照らし合わせ、あるいはもし生活給に見合うような報酬となると、やはり、もっと議員の定数を減らして生活給に見合う報酬をあげるか。あるいは、現状のままで、私自身については議員の報酬については独自で触ったことはないということは皆さんもご存じだと思いますが、そこらへんはどちらかだと思いますが、それはゆくゆく先、検討していかなくちゃいけないというふうに思っています。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

ただいまの人事院勧告の件についてお答えいたします。基本的には公務員の給与については人事院勧告制度がございますので、それに則って運営していくというのが基本だと考えています。

ただ、今、宮田議員がご指摘があったように市町村によって財政状況というのはそれぞれ違うわけがございますので、その危機的な状況にある場合については、これまでやってきたような特例条例に基づいて、地域の特殊事情に基づいて協力をお願いするというのも、これはあってしかるべきだと考えております。

ただ、それをずっと固定化していくのはど

うかなと、実際職員の士気の上においてどうかかなというようなこともございます。

他の市町村、県も含めて、給与特例条例に基づいて、この財政危機を脱するまでの一定の間は、この職員に対しても協力を求めるということはそれはやっております。ただ、それも一定の期限を区切ってやらないと、人事院勧告制度の基本そのものを崩してしまうということにもなりかねませんので、地域の実情に基づいてやる場合は、ある一定の期間を設定してやるべきだと考えております。

本町でいえば、最近では行財政改革の効果や交付税の復元等がございまして、この財政状況は改善に向かいつつありますが、また、24年度から始まる交付税の算定替えにおいては、6億余りの交付税が減るわけでございますので、そのときにまた、財政危機になった場合は再度職員にもご協力をお願いすることも可能性はあり得ると考えております。

○ 議長 山里昌輝

2番宮田勇議員。

○ 2番 宮田勇議員

議員の報酬については参考までで聞いたのでありますので、ご容赦願います。終わります。

○ 議長 山里昌輝

他に質疑はありませんか。

○ 議長 山里昌輝

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

○ 議長 山里昌輝

討論なしと認めます。

これから、議案第6号、久米島町職員の給与の特例に関する条例及び久米島町長等の給

料等の特例に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例についてを採決します。

本案を原案のとおり決定することに賛成の方は挙手をお願いします。

(挙手全員)

○ 議長 山里昌輝

全員挙手です。従って、議案第6号、久米島町職員の給与の特例に関する条例及び久米島町長等の給料等の特例に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例については原案のとおり可決されました。

○ 議長 山里昌輝

以上で本臨時会議に付されました事件はすべて終了しました。

これで平成22年第1回久米島町議会臨時会を閉会します。

お疲れ様でした。

(閉会 午前11時10分)

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

久米島町議会議長 山里昌輝

署名議員（議席番号9番） 上里総功

署名議員（議席番号10番） 安村達明

平成22年（2010年）

第2回久米島町議会定例会

1 日 目

3 月 10 日

平成22年第2回久米島町議会定例会

会議録 第1号

招集年月日	平成22年3月10日（水曜日）			
招集の場所	久米島町議会議事堂			
開散会日時 及び宣言	開会	3月10日 午前10時00分	議長	山里昌輝
	散会	3月10日 午後3時42分	議長	山里昌輝
応招議員 出席議員  出席14名 欠席0名	議席番号	氏名	議席番号	氏名
	1番	崎村正明	8番	幸地良雄
	2番	宮田勇	9番	上里総功
	3番	饒平名智弘	10番	安村達明
	4番	宇江原総清	11番	宮里洋一
	5番	山城宗太郎	12番	翁長学
	6番	仲村昌慧	13番	平良義徳
	7番	喜久里猛	14番	山里昌輝
(不応招) 欠席議員				
会議途中退席議員	番		番	
開議後出席議員	番		番	
公務欠席議員	番		番	
	番			
会議録署名議員	11番	宮里洋一	12番	翁長学
職務のため会議に 出席した者	職名	氏名	職名	氏名
	事務局長	桃原秀雄	書記	
	係長	安田栄		
地方自治法第121条により説明のため議場に出席した者の職氏名				
職名	氏名	職名	氏名	
町長	平良朝幸	教育課長	佐久田等	
副町長	大田治雄	商工観光課長	平田光一	
教育長	比嘉隆	環境保全課長	田端智	
総務課長	仲村渠一男	建設課長	盛本實	
町民課長	大道幸子	農林水産課長兼 農業委員会事務局長	平良朝幸	
プロジェクト推進室長	山城保雄			
税務課長	平田明	上下水道課長	又吉敏雄	
福祉課長	日高清有	消防長	山城英明	
会計管理者	仲地泰	空港管理事務所長	平良進	

## 平成22年 第2回久米島町議会定例会

議事日程 〔第1号〕  
平成22年3月10日（水）  
午前10時00分 開会

日程	議案番号	件名	頁
第1		会議録署名議員の指名（久米島町議会会議規則第120条）	25p
第2		会期の決定	25p
第3		議長諸般の報告	25p
第4		町長施政方針	25p
第5	議案第7号	平成21年度久米島町一般会計補正予算（第7号）について	31p
第6	議案第8号	平成21年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について	44p
第7	議案第9号	平成21年度久米島町老人保健特別会計補正予算（第2号）について	44p
第8	議案第10号	平成21年度久米島町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）について	46p
第9	議案第17号	久米島町職員の給与の特例に関する条例を廃止する条例について	47p
第10	議案第18号	久米島町長等の給料等の特例に関する条例等の一部を改正する条例について	49p
第11	議案第19号	久米島町産業振興基金条例について	51p
第12	議案第20号	平成21年度久米島町下水道事業特別会計補正予算（第3号）について	62p
第13	議案第21号	町道の変更について	62p
第14	議案第22号	あらたに生じた土地の確認について	63p
第15	報告第1号	専決処分の報告について（4号農道整備工事請負契約）	64p
第16	報告第2号	専決処分の報告について（4号農道整備工事請負契約）	64p
第17	報告第3号	平成22年度沖縄県町村土地開発公社事業報告について	65p
第18	議案第11号	平成22年度久米島町一般会計予算について	66p
第19	議案第12号	平成22年度久米島町国民健康保険特別会計予算について	69p
第20	議案第13号	平成22年度久米島町老人保健特別会計予算について	70p
第21	議案第14号	平成22年度久米島町後期高齢者医療特別会計予算について	71p
第22	議案第15号	平成22年度久米島町水道事業会計予算について	72p
第23	議案第16号	平成22年度久米島町下水道事業特別会計予算について	73p
		散会	74p



(午前 10時00分 開議)

○ 議長 山里昌輝

おはようございます。3月定例会の開会に先立ち一言ご挨拶を申し上げます。

本定例会は町長の施政方針を始め平成22年度の当初予算を審議する重要な議会であります。

執行部におかれましては議会運営及び議会審議が円滑に行われますよう議案等の説明にあたっては関係資料等を十分準備して臨んでいただきたいと思っております。

各議員におかれましては、本会議において十分審議を尽くされ適正妥当な議決に達せられますようお願い申し上げます。

ただいまから平成22年第2回久米島町議会定例会を開会します。

本日の議事日程は予めお手元に配布しております。

日程第1 会議録署名議員の指名

○ 議長 山里昌輝

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第120条の規定によって、11番宮里洋一議員、12番翁長学議員を指名します。

日程第2 会期の決定

○ 議長 山里昌輝

日程第2、会期の決定を行います。

お諮りします。

本定例会の会期は、本日3月10日から3月26日までの17日間としたいと思います。

ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○ 議長 山里昌輝

異議なしと認めます。従って、会期は本日3月10日から3月26日までの17日間に決定しました。

日程第3 議長諸般の報告

○ 議長 山里昌輝

日程第3、議長諸般の報告を行います。

平成21年12月18日から私が出席しました会議等の概要をお手元に配布してありますので、ご覧になっていただきたいと思っております。

次に、地方自治法第235条の2第3項の規定により、例月出納検査の結果報告をお手元に配布してあります。朗読は省略します。

次に、町長から平成21年12月以降の町政一般報告書が別紙のとおりありましたので、お手元に配布してあります。朗読は省略します。

これで諸般の報告を終わります。

日程第4 町長施政方針

○ 議長 山里昌輝

日程第4、これから、町長の施政方針を行います。

平良朝幸町長。

(平良朝幸町長登壇)

○ 町長 平良朝幸

おはようございます。

平成22年度施政方針

はじめに

平成22年3月議会の開会にあたり、町政運営に対する私の所信を申しあげ、町民の皆さま並びに議員各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

ご存じのとおり、現在の社会経済はリーマンショック以降、各国政府による景気刺激策が功を奏し、全体として緩やかな持ち直しが始まっております。

国内においては緊急経済対策など景気は持ち直しつつあるもの、失業率は高水準にあるなど、依然として厳しい状況が続いております。

本町においては、昨年に引き続き台風襲来がなかったことから、サトウキビを中心とした農作物が豊作型で推移していること。国の緊急経済対策により道路整備や公共施設の改築等の公共工事が増えていること。緊急雇用対策事業により一定の雇用が確保されていることなどから景気がもちなおしつつあるところもありますが、一方で全国的な景気低迷により子牛や車エビなど価格が下落していること、また、景気低迷に加えて新型インフルエンザの影響により観光客が減少していることなど依然としてたいへん厳しい状況が続いているところもあります。

町としては、現在の経済危機を打破するため、国、県と連携し、迅速、的確な経済対策を推進していく所存であります。

さて、私は就任して4年間町政の運営にあたり、町民の皆さま並びに議会議員の皆さまから多大なご支援ご協力を賜り深く感謝を申し上げます。

私は就任のとき、役場は住民に対する最大のサービス産業であるという信念から、「役場職員が変われば久米島が変わる」をモットーに掲げ、職員の意識改革に取り組んでまいりました。

その結果、行財政改革が順調に推進され、職員数が減少する中で、従前以上の行政サー

ビスが行うことができたのではないかと自負しているところであります。

久米島町の財政は依然として厳しい状況にありますので、引き続き行政改革に取り組んでまいります。

産業部門においては、花卉出荷場の整備、荒蕪地解消事業等によるサトウキビを中心とした作目の生産拡大、畜産農家の経営安定化のための優良自家母牛の確保のための助成、海洋深層水の利活用向上のためのパイプラインの新設、また、観光事業では食物アレルギー対応型商品や要介護対応型商品の開発等に取り組んでまいりました。

福祉部門においては、高齢者への季節性インフルエンザ、肺炎球菌のワクチン接種について助成、出産助成金の支給、結婚祝い金の支給制度を創設し、対象者の負担軽減と地域活性化を図ってまいりました。

教育部門においては、小中学校のパソコンや地上デジタルテレビの更新、英語検定及び漢字検定の助成、海外ホームステイ事業等を創設し、学習支援態勢を強化してきました。

環境保全については、公園などの整備、不法投棄の監視・防止、花いっぱい運動の取り組み、また、ラムサール条約湿地への登録、日本の里百選の選定により、久米島が全国へアピールされ知名度アップにつながっています。

基盤整備においては、久米島縦断道路等の整備、県との連携による久米島一周線の整備促進、たい肥化施設の整備、畜産基盤再編総合整備事業による畜舎及び装置等の整備等に取り組んでまいりました。

久米島町の持続的発展の礎を築くためにも、まだ取り組み途中のもの、新たに取り組

みをしなければならぬ事業がありますので、引き続き久米島町の一層の発展につながる施策を推進していく所存であります。

次に、平成22年度の各施策についてご説明申し上げます。

## 1. 行財政改革の推進

本町の財政状況は平成24年度から地方交付税の算定において段階的に減額され、平成29年度から一本算定に移行し大変厳しい財政状況が続いていますので、今年度は新たな行政改革プランを策定し、持続可能な行財政運営に努めてまいります。

## 2. 産業の振興

### (1) 農業の振興

本町の基幹産業である農業は、引き続き主要産業として位置づけ、積極的に振興を図って参ります。農業を取り巻く環境は依然として厳しく、農業従事者の高齢化に加え、農業の担い手不足の問題や農業資材等の急激な高騰により経営が圧迫されている状況にありますが、その対策については、栽培技術や経営技術の改善向上など抜本的な対策を講ずる必要があるため、関係機関との連携強化を図りながら取り組みをして参ります。

サトウキビについては、昨年に引き続き大きな台風の直撃がなく、全体的には品質もよく豊作型で今期製糖期を迎えました。しかし依然として栽培農家の高齢化問題、気象条件の影響を受けやすいことや、地力による反収減少の問題等がありますので、堆肥センターの活用を図りながら反収増加による生産拡大を図り、また、平成22、23年期から本格実施されるサトウキビ新価格制度の交付金対象農家への誘導策については、サトウキビ振興協議会を中心に取り組みを図って参ります。

野菜、花卉、果樹栽培については、土地条件を生かしながら生産拡大を推し進め、引き続き栽培技術の向上による安定的な所得の向上を図り、担い手農家の育成、後継者の育成等に務めて参ります。

葉たばこ栽培については、昨年は天候に恵まれたこともあって品質・生産量共に良い状況になっており、引き続きサトウキビとの輪作体系を維持しながら地力を高め所得の安定向上に務めて参ります。

畜産については、生産資材の急激な高騰と全国的な不況の煽りを受けてセリ価格が下落するなど大変厳しい状況にありますが、関係者が連携を取りながら尚一層、品質改善向上に取り組み、肉用牛産地の定着を目指して、優良繁殖雌牛保留支援事業等の推進、家畜防疫態勢の強化、家畜共済加入支援等を行い、所得の安定向上を図って参ります。

特殊病虫害防除対策については現在、国・県が防除を実施しているアリモドキゾウムシ・イモゾウムシについては、引き続き防除事業を実施して参ります。アリモドキゾウムシについては、本年度に国の確認作業により、根絶宣言がなされる見込みでありますので、根絶事業と並行して、甘蔗栽培についても積極的に生産振興を図って参ります。

堆肥化施設については、畑作物栽培の基本的な部分である地力増進対策に向けて有効的な活用が図れるように取り組んで参ります。

また、本町の重要課題として食の安心、安全の推進を図ると同時に、循環型農業を目指し、地域で取れたものは地域で消費する地産・地消運動を推進して参ります。

### (2) 漁業の振興

漁業は農業と共に島の基幹産業であり、引

き続き、漁業後継者の育成や所得向上に積極的な振興を図って参ります。

パヤオ（浮魚蕉）漁業を主とした漁業の推進を図って参ります。また、モズク養殖の安定的な栽培の推進を図って参ります。

車エビ養殖については、車エビ産地協議会を主体にPR活動を推し進め販路拡大に努めて参ります。

### (3) 商工業の振興

現在、日本全体がたいへんな不況にあり、久米島でもその対策が最重要課題となっております。物価が安く高級品が売れないデフレの状態は久米島の商工業にも大きな打撃を与えております。その現状打開のため、久米島商工会と連携し、資金や雇用面などの改善策として、国や県のセーフティーネットなど支援制度の活用を推進して参ります。

また、昨年12月に久米島物産販売奨励協定を締結した琉球ジャスコや久米島物産公社と連携し、久米島物産観光フェア開催など久米島ブランドの確立や販路開拓など生産販売の拡大を図って参ります。

更に、本町の有望な地域資源である海洋深層水関連の事業拡充を図るとともに海洋深層水利用学会全国大会の久米島開催を誘致いたします。

伝統工芸品の久米島紬も不況の煽りを受け、販売不振が続いておりますが、自然・伝統文化を生かした交流促進事業や品質向上対策事業、後継者育成事業などの実施により、明るい兆しが見えつつあります。引き続き事業を支援して参ります。

### (4) 観光産業の振興

経済不況や新型インフルエンザの発生により少しずつ上昇傾向にあった久米島観光入域

客が大幅ダウンとなっており、離島である久米島のリーディング的役割を果たしている観光の低迷は、他の産業や久米島経済に大きな影響を及ぼしております。

このような状況を打開するため、観光誘客プロモーションと施策の展開や受け入れ態勢の強化など観光協会との連携により早急に取り組んで参ります。

島の魅力ある観光資源を十分に活かし、島の学校やバーデハウス久米島、体験プログラム等の利用促進、食物アレルギー対応や高齢者対応旅行などの目的型観光、更に離島周遊観光を推進して参ります。

又、引き続き久米島の一大イベントである久米島マラソン、久米島まつり、久米島のんびりウォーク等の開催、そして東北楽天ゴールデンイーグルスの春季キャンプの継続誘致など、久米島を全国にアピールし、観光振興、そして島の活性化に努めて参ります。

### 3. 環境保全・地域美化の推進

島の豊かな自然環境を保全すると共に、身近な家庭・地域から始める「花いっぱい運動による町づくり」を推進し、住民参画と協働による花と緑の町づくりを目指して参ります。

一般廃棄物処理については、分別方法の見直しなどで住民の意識を高め、資源化率の向上によりごみの減量化を図って参ります。

また、久米島をエコアイランドとして位置付け、省エネ普及啓蒙をはじめ、海洋温度差発電や太陽光、太陽熱、風力発電等の新エネルギー導入にも積極的に取り組んで参ります。

主な事業として、緊急雇用創出事業を活用し公園や町道、観光地などの美化作業を強化

します。また、墓地等の経営許可の権限移譲に伴い久米島町墓地基本計画の策定に取り組んで参ります。

#### 4. 教育環境の充実、人材育成の推進

全国学力学習状況調査における久米島町の幼児、児童、生徒の状況は、学習面、生活面で厳しい状況にあります。学校、保護者、地域との関わりの中で、学力の定着、豊かな人間性の育成、健康、体力の育成、そして基本的な生活習慣の形成を図り、生きる力を育み豊かな表現力と粘り強さをもつ幼児、児童、生徒の育成に努めて参ります。

今年度、第43回沖縄県へき地教育研究那覇大会の久米島町開催により、へき地における教育のあり方、問題等の検証を行います。

また、全国学力学習状況調査、全国標準診断的学力検査及び沖縄県学力到達度調査に参加し、基礎学力の課題を明らかにし、授業や指導の改善を図るほか、国、県、本町の教育目標である生きる力を育むという教育理念の実現を図って参ります。

学習支援態勢につきましては、各小中学校のパソコンを更新して、情報化に即した育成指導、英語教育の充実を図るため、非常勤の英語教師の配置、ALTの配置、英語検定や漢字検定の支援、また、特別支援教育支援員を配置し、特別支援教育の推進態勢強化、不登校やいじめ、悩み等に対処するため、引き続きスクールカウンセラーを配置します。

部活動では、スポーツ部、文化面においても限りない可能性を秘めているので、派遣、交流活動の支援を行って参ります。

学校施設においては、学校統廃合を推進し、老朽、危険校舎の改築事業を推進して参ります。

社会教育、社会体育、文化振興においては、なかさと交流海外ホームステイ事業を拡大継続に取り組んで参ります。また、各種講座、物づくり等の体験活動事業、スポーツ教室やその他多様な学習会の提供やヤングフェスティバルへの支援、久米島古典民謡大会を開催すると共に生涯学習の充実を図るため、各種団体と連携し推進して参ります。

文化財行政において、具志川城趾は引き続き整備事業により保護活用に努め、国指定史跡となった宇江城城趾は土地買い上げ事業に着手し、文化的景観や城趾の保護に努めて参ります。

久米島紬につきましては、保護、継承、拡充に向け、久米島紬保持団体、久米島紬事業協同組合と連携して取り組んで参ります。

久米島自然文かセンターでは、常設展示用の充実を図りながら、体験教室や各種展示会、企画展等を開催します。また、久米島の伝統的な生活様式を屋外展示できるよう積極的な会館運営に努めて参ります。

学校給食センターにつきましては、調理場の衛生面、安全面から施設の改修、改善を計画的に取り組み、児童生徒へ「安全・安心・美味しい給食」の提供に努めます。

また、地産地消の拡大に向け、関係機関との連携を図って参ります。

#### 5. 社会福祉の充実

町民福祉の充実につきましては、急激な少子高齢化の進展に伴い福祉ニーズが複雑多様化する中、保険、医療、福祉サービスの連携による地域福祉の充実を図り、全ての町民が安心して健やかに暮らせる福祉のまちづくりに積極的に取り組んで参ります。

高齢者福祉につきましては、病気を予防し、

健康で安心した生活が送れるよう、前年度に引き続き季節性インフルエンザ、肺炎球菌のワクチン接種について助成をしております。

また、地域生活支援事業による配食サービスやふれあい交流事業を活用して、独り暮らしの高齢者世帯の安否の確認を行い、高齢者の安心、安全の確保に努めて参ります。

障害者福祉につきましては、現在、沖縄県精神障害者福祉会に業務を委託している地域活動支援センターあけぼのを今年度から久米島町社会福祉協議会に業務を委託し、居場所づくり、就労移行支援の場として機能強化に努めて参ります。

母子及び児童福祉につきましては、助産師による巡回相談を継続し、妊産婦、乳幼児の健康管理に努めながら、今年度も出産助成金を支給し、妊産家庭への経済的負担の軽減を図って参ります。

また、ますます多様化、複雑化してくる保育ニーズに迅速的確に対応していくためには、保育所の民営化は最善の選択肢であると考えますので、国の幼保一元政策の動向を注視しながら保育所の民営化に向けて取り組んで参ります。

介護事業につきましては、沖縄県介護保険広域連合の第4期事業計画により、本町において小規模特養施設と小規模多機能施設が整備されることになりましたので、その早期整備を促進して参ります。

また、高齢化の進展に伴い、特養待機者は今後も増えることが予想されますので、引き続き関係機関に対し特養の増床について要請して参ります。

町民の健康づくりにつきましては、本町の

平成20年度の特定健診受診率は35.2%で、県平均の27.5%を上回っておりますが、特定保健指導実施率が13.7%と県平均の32.7%を大きく下回っておりますので、本年度は看護師1名を動員し、特定保健指導の強化を図り、町民の健康意識を高め、個人個人の生活習慣の見直しや地域の健康づくりを推進して参ります。

また、儀間嘉手苅地先にパークゴルフ場を整備し、町民の健康増進に寄与し、観光客との交流の場を提供し、島の活性化につながるよう取り組んで参ります。

国民健康保険事業につきましては、健康づくり事業とタイアップし、町民の健康づくりを推進すると共にレセプト点検を強化し、医療費の抑制に努めて参ります。

また、保険料の収納率向上に努め、国民健康保険事業の安定的な運営に努めて参ります。

国民年金事業につきましては、国民年金への加入促進を図ると共に、保険料の納付が困難な町民に対し、申請免除の指導を積極的に行い、将来の年金受給権の確保に努めて参ります。

## 6. 基盤整備

居住環境、産業振興の基盤となる道路整備については、現在継続中である県道路整備事業を始めとし、町道整備事業においても工事進捗の促進を図り事業効果の早期実現に努めて参ります。

本町の町道整備については、ある一定の整備率に達しているもののまだまだ整備が必要な箇所があり、新規事業の導入に向けて努力して参ります。

農村地域関連整備事業については、農業後

継者不足対策の為に比屋定・大岳地区においては、現在実施中の中山間地域総合整備事業を継続的に進めて参ります。

施設の維持補修事業として老朽化している南部土地改良管轄の畑地灌漑排水施設の改修工事として「地域農業水利施設ストックマネジメント事業」を導入し灌漑施設の適正管理に努めて参ります。

漁港関係の整備として、漁村再生交付金事業により鳥島漁港及び儀間漁港において漁業従事者の安全確保及び舟路環境の改善を図るためインフラ整備を行います。

また、強い水産業づくり交付金事業で地元住民と観光客と交流促進及び観光振興のため、泊フィッシャリーナの浮き桟橋の増設工事を行います。

県営事業の支援として、圃場や農作物の水害解消、農家所得の向上と農業経営の安定確保を目的とした県営かんがい排水事業（銭田地区・カンジン第3期）の採択及び工事進捗の促進に向けて鋭意取り組んで参ります。

## 7. 消防・防災行政

消防・防災行政については、地域における総合的な防災力の強化を図るため、老朽化した水槽付消防ポンプ自動車1台を最新鋭の水槽付消防ポンプ自動車に更新します。

また、津波警報等を衛星を経由して防災行政無線に瞬時に町民に伝達することができるよう、Jアラートを整備します。

消防と医療の連携による救急救命態勢の充実を図るため、救急救命士の病院研修やメディカルコントロール態勢の強化を図ります。

防火対象物の是正指導及び危険物施設の保安態勢の強化をはかるため、旅館、ホテルや危険物施設への指導を充実させます。

消防団・自主防災組織の強化を図るため、各字ごとの自主防災組織の結成を推進します。

消防態勢については現在、沖縄県において全県をひとつの消防本部とすることが検討されており、久米島町としても沖縄県消防広域化協議会に職員を派遣すると共に庁内に消防広域化検討委員会を設置して検討をして参ります。

よって、平成22年度予算案の総額は次のとおりであります。

一 般 会 計	6,702,350千円
国民健康保険特別会計	1,299,014千円
老人保健特別会計	5,553千円
下水道事業特別会計	259,369千円
後期高齢者医療特別会計	78,278千円
水道事業会計	333,643千円
合 計	8,683,287千円

以上、平成22年度の町政運営にあたり、私の所信や予算案などについて、述べてまいりました。

私は「子どもに愛を、若ものに夢を、お年よりに安心を」をモットーに久米島町の発展と町民の幸せのために頑張って参ります。今後とも町民の皆さま並びに議員各位のご理解とご協力をお願い申し上げ、私の施政方針といたします。

平成22年3月10日

久米島町長 平良朝幸

（平良朝幸町長降壇）

## ○ 議長 山里昌輝

これで町長の施政方針を終わります。

日程第5 平成21年度久米島町一般会計補正予算（第7号）について

○ 議長 山里昌輝

日程第5、議案第7号、平成21年度久米島町一般会計補正予算（第7号）について議題とします。

本案について、提案理由の説明を求めます。  
大田治雄副町長。

（大田治雄副町長登壇）

○ 副町長 大田治雄

おはようございます。議案第7号、久米島町一般会計補正予算（第7号）の予算概要についてご説明申し上げます。

予算書の1ページをお開き下さい。久米島町一般会計補正予算（第7号）は、歳入歳出それぞれ1億4千939万9千円を増額し、歳入歳出をそれぞれ73億7千126万3千円と定めます。

補正予算（第7号）におきましては、増額補正となるもの、地域活性化きめ細かな臨時交付金事業2億500万円を計上したことにより増額しております。

7号補正が平成21年度の最終補正予算となることから、各事業とも事業費の確定に伴う減額や決算見込みによる減額が主になっております。

予算書の10ページ目をお開きください。歳入については、事業ごとに精査したことから、各款とも決算見込みの数値により、減額が多く見られます。町税におきましてはたばこ税がマイナス528万円、地方譲与税関係については自動車重量贈与税、地方道路譲与税及び航空機燃料譲与税においても減額となる見込みです。

予算書の12ページになりますが、国庫支出金においては、事業廃止により子育て応援特別手当交付金マイナス1千141万円、増額分については国の補正予算に伴う臨時交付金の第

四弾にあたります地域活性化きめ細かな臨時交付金として1億9千981万9千円を新たに計上しております。

予算書の13ページからなりますが、県支出金においても強い農業づくり交付金マイナス1千785万円や、村づくり交付金（久米島地区）マイナス1千194万5千円、農産漁村活性化プロジェクト支援基金、これはスハラ地区であります。マイナス1千499万8千円は共に事業完了による減額となります。

地方債については各事業費の確定に伴い総額マイナス5千420万円の大幅な減額となります。

続きまして、予算書の17ページをお開き下さい。歳出についても歳入と同様に支出状況等を精査したことにより、ほとんどの支出項目により減額補正となっておりますが、総務費の2億4千912万2千円の増額については、地域活性化きめ細かな臨時交付金事業2億500万円の増額や、財政調整基金積立金3千670万3千円の計上が主な要因となります。

農林水産業マイナス4千962万1千円は建設課及び農林水産課の事業費確定に伴う減額となります。

その他の費目については、事業精査や節減の影響により減額補正となります。

性質別にみますと、人件費がマイナス830万4千円の減、物件費についてはそのほとんどが減額となっており、需用費マイナス527万7千円や役務費マイナス38万4千円となっております。扶助費においてもマイナス1千562万2千円の減額となっております。こちらについては歳入でも説明しました子育て応援特別手当交付金の事業廃止によるものが影響しております。



普通建設事業費においては2億1千34万2千円の増額となり、先ほども説明しましたが、地域活性化きめ細かな臨時交付金事業の新規事業によるものとなっております。

予算書の20ページをお開き下さい。事業内容については、公民館修繕事業に500万円、バーデハウス久米島太陽光発電整備事業に2千700万円、農道整備事業6千500万円や集落内道路整備事業に3千500万円を計上しました。町立小中学校施設修繕事業に1千800万円を計上しております。積立金についてはマイナス1千303万8千円の減額となり、地域振興基金積立金の減額分となります。また、繰出金についてはマイナス453万2千円の減額補正となり、各特別会計の減額補正の伴うものとなっております。

以上が平成21年度久米島町一般会計補正予算（第7号）の概要となっております。

平成22年3月10日提出

久米島町長 平良朝幸

ご審議よろしく申し上げます。

（大田治雄副町長降壇）

○ 議長 山里昌輝

これで、提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

8番幸地良雄議員。

○ 8番 幸地良雄議員

18ページ、改善センター管理費の中で、工事費が180万円減額になって、原材料が150万円増になっていますが、次のページ20ページにまた改善センター整備費1千600万円組まれています。なぜ改善センター管理費の中に入れないで、プロジェクト推進に組まれているのか、その説明と、同じく18ページの地域活

性化事業の中で公民館改修費が1千万円組まれています。そこはどこの公民館なのか説明を求めます。

それと、39ページの体育保健施設の修繕費が224万1千円組まれています。保健体育施設につきましては、これまで補正3号、4号、6号と組まれてきていますが、かなりの補正増がされています。これにはありませんが、補正3号の方で仲里村グランドゴルフ整備ということで500万円組んでいます。説明の中ではグラウンドの土の入れ替えということで説明を受けました。ところが全然なされておりません。4号でもウエイトトレーニング費ということで5千100万円組まれています。そして6号にも野球対応費ということで3千30万円組まれています。その中身がどうかたちで運用、利用されたか見えてこない。

以上、説明求めます。

○ 議長 山里昌輝

山城保雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 山城保雄

予算項目、改善センター費とプロジェクト推進費に計上されている件ですが、当初予算で改善センターを結婚式にも対応できるようにということでプロジェクト推進費に当初予算で組んだ関係で、両方に改善センターの整備費というかたちになっております。

それと、経済対策交付金の予算計上においてもプロジェクト推進費に組んだ関係でそこに組まれているということでもあります。

○ 議長 山里昌輝

田端智環境保全課長。

○ 環境保全課長 田端智

仲里総合グラウンドの土の入れ替えについてご説明いたします。当初8月からの実施の予

定でありましたが、10月の町民運動会に支障が出るんじゃないかということで先延ばししました。その後、また楽天のキャンプでも使用することになりますので、そのへん時期的な問題があって実施を見送っております。それで、繰り越しをしまして4月から工事に入る予定であります。

○ 議長 山里昌輝

平田光一商工観光課長。

○ 商工観光課長 平田光一

ウエイトトレーニング器具につきましては、楽天の今回のキャンプ等もありまして、最初にその期間は久米アイランドのホテルの方に設置をして、楽天のキャンプが終わっておりますので今はホテルドームの方に設置してあります。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

公民館の改修につきましては、具体的に決まっているのは久間地の公民館を予定しております。久間地につきましてはセメン瓦の屋根なんですけど雨漏りがひどくて天井張りまでシミが付いているということで、そのモチの塗り直しと天井張りの取り替え、それから小さな倉庫の設置を予定しております。予算は余裕をもって確保してありますので、その他の部落の公民館についても改修が必要な部分については予算の範囲内で改修を対応していきたいと考えております。

○ 議長 山里昌輝

8番幸地良雄議員。

○ 8番 幸地良雄議員

改善センターの改修費ですが、これはプロジェクトの予算に組まないと運用できないと

いうことですか。

それと、総合グラウンド、向こうはかなり整備が整っていないくて、雨降った場合は水が溜まるんです。予算が500万円もとっているんですからかなり整備されるなど期待しておりましたが全然されていなくて、今我々はよく利用しますが、水が溜まって自発的に水はけをしてやっているわけです。これは今度やるわけですか。この繰り越しでやるということですか。

公民館、これは今ある公民館は町の所有で指定管理というかたちになっているわけですね。これは各字の公民館においても老朽化、あるいは修繕を必要とした場合は町がやってあげるということですか。

○ 議長 山里昌輝

山城保雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 山城保雄

プロジェクト推進費に組まないといけないとかということではなくて、当初予算でそこに組んだ関係があって、それで継続してそこに組んでいるということです。最初から改善センター費に組めばそれでよかったんですけど、プロジェクト推進費に当初予算組んだ関係でそのまま継続して、そこに組んであるということです。

○ 議長 山里昌輝

田端智環境保全課長。

○ 環境保全課長 田端智

グラウンドの改修につきましては、今回予定しておりますのは土の入れ替えだけの予定であります。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

公民館につきましては町の所有のものとそうでないものがございます、基本的には町の所有のものを改修していくということになりますが、必ずしも今回の予算の範囲内ということではありますが、その区長会の要望を聞いて、その中身を見て判断していきたいと思えます。予算も1千万円ということがございますので、そんなにたくさんできるわけではございませんが、実際その公民館の使用の不都合の部分を出してもらって、区長から出してもらって、修繕すべき事項ですね、その中身を見て判断したいと思えます。必ずしもそれ以外のものは全くできないということではないと思えますので、そのあたり中身を見て判断したいと思っております。

○ 議長 山里昌輝

8番幸地良雄議員。

○ 8番 幸地良雄議員

それは分かりました。

ウエイトトレーニングの件、これは既に納入されているわけですね。設置してあるのはホタルドームだと思いますが、以前からホタルドームにはたくさんあったわけです。かなり高額ですから新しいのが入ったと思いますが、今全部そこに収まっているのかどうかお聞きします。

○ 議長 山里昌輝

田端智環境保全課長。

○ 環境保全課長 田端智

器具につきましては、ホタルドームから一部は仲里総合グラウンドの管理棟の方に移動しております。管理棟の方で使用不可能なものも入っているということで一部入れ替えはされております。

○ 議長 山里昌輝

8番幸地議員の本件に関する質疑は既に3回になりましたが、会議規則第55条但し書きの規定によって発言を許します。

○ 8番 幸地良雄議員

いつも言っているんですが、仲里総合グラウンドの管理棟には移されたのは2、3あるんですが、持ち帰って入れられたのがあって、あまり使われないものがあるわけです。当初、予算を補正したときに、向こうは多いから仲里のグラウンドにもってきて利用させなさいと言いましたが、入っているんですが使えないのが入っているんです。やはり使えるものを配置して利用できるようにしないとイケないんじゃないかと思えますが、現地へ行ってみて下さい。

○ 議長 山里昌輝

他に質疑ありませんか。

4番宇江原総清議員。

○ 4番 宇江原総清議員

20ページの節15工事請負費の、これはバーデハウスの件、観光施設太陽光発電施設整備事業に2千500万円となっております。合計して2千700万円ですか。そういうようなことで投入しておりますが、前からの議員全員連絡協議会においてもそのバーデハウス、株式会社オーランドの経営の状況はどうなっているのか。稼働している人たち、これが果たして今の人員が適正なのか、こういうような事業実態も知らせてくれと、改善されたかどうかということも含めていろいろと幾人かの議員からも申し上げていますが、まだそういったものの改善をどうしたのかと、態勢をどうしたのかということはまだ明らかになっておりません。その結果ですよ。そして、そういうような費用を町が投入しても費用対効果があ

るのか、これをお答え願います。

2点目は、24ページの保育所運営費、これが補正で1千368万8千円ということになっておりますが、マイナスですね、それはどのような内容なのかということで2点伺います。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

ただいまの宇江原議員からご質問のあったバーデハウスの経営状況について簡単にご説明をいたします。現在、久米島町の第3セクター等経営評価委員会を立ち上げてその審査の途中であります。中間報告として、皆さまのお手元に資料をお配りいたしました。株式会社オーランドの決算の推移と平成22年度予算というのがお配りになっているかと思いますが、グラフをご覧になってお分かりになるとおり、コストを下げるという方向で次第に成果が出てきております。コストについては平成16年で約1億6千800万円かかっていたのが3千万円ほど下がってきて、平成21年度の決算予測で1億3千573万9千880円の見込みで約3千万円ぐらい下がっているということと、あと売り上げの方については逆に平成16年の9千600万円余りから1億2千200万円ぐらいまで次第に、その結果が上がってきているということで、21年度については経済危機と新型インフルエンザの影響で当初予測よりはかなり落ち込みました。これについては久米島の観光関連施設全てでございます。約10%入城客が落ちていますので売り上げについては15、6%から多いところは20%落ち込んでいるところもありますが、バーデハウスの方もその影響を多く受けておりますが、1億2千

200万円余りぐらいの売り上げを予測しております。

結果として、平成20年度の赤字4千235万4千272円から今年度は1千337万9千880円まで改善する見込みで、黒字まであと一息というような状況になってきております。

それから、今ご質問のあった費用対効果でございますが、このバーデハウスの当初の設置目的である観光振興と町民の健康の面に関して簡単に申し上げますと、今、久米島に来る約10万人の観光客のうち3万人、約3人に1人はバーデハウスに来られているということと、あと、これについては、はての浜が約3万人から4万人と言われております。正確な統計数字はないんですが約3万から4万と言われておりますので、はての浜と並んで久米島の大きな観光の目玉になっているということです。これは非常に大きな効果だと思います。今バーデハウスが無くなると久米島観光にとって非常に大きな打撃となると考えております。

それから、経済効果、費用対効果なんですが、今朝お手元にお配りしたバーデハウス久米島に対する補助金等の経済波及効果の分析結果についてということで、琉球大学の副学長大城先生に分析をお願いいたしました。これについては町が今現在1千500万円の補助金を投入していますが、その1千500万円の補助金がどのような経済効果をもたらすか、波及効果をもたらすかという分析結果でございます。その結果、総合効果が1千500万円の補助金の投入に対して9千336万円の波及効果が生じてくるという結果も出ております。

それから、町民の健康増進についてでございますが、お手元の資料にもあるとおり4名

ぐらいの方々のアンケートを載っけてありますが、非常に利用者からは評判がいいと。やっぱり2万人余りの町民が利用しているということは、それだけの利用価値、効果があるから利用しているんだらうと考えております。

なお、参考まで、今朝お配りした資料の中に入っておりますが、今、本町の公共施設、公の施設、例えば総合運動公園は具志川のホタルドーム、多目的グラウンド、野球場、そして仲里の野球場、仲里のグラウンド併せたものですが、そのトータルの年間の利用者が3万8千50人なんです。そして文化センターが4千314人、ホタル館の数字が間違っています。7千人余りです。それから改善センターが9千320人というかたちで、他の公共施設と比べてもかなり利用されているという実態がございます。

ですから、それだけ費用はかけていますが、その費用対効果というのはそれなりの効果はあるのではないかと考えております。

○ 議長 山里昌輝

日高清有福祉課長。

○ 福祉課長 日高清有

保育所運営費が大幅に減額補正になっている要因は何かというご質問ですが、これにつきましては19節の負担金補助及び交付金のところの法人保育園運営費補助金が大幅に減になったのが保育所運営費の大幅減額になっている要因であります。

○ 議長 山里昌輝

4番宇江原総清議員。

○ 4番 宇江原総清議員

バーデハウスの件ですが、確かに琉大の大城教授がそういう分析結果を発表しております

すが、バーデハウスを設立するとき、確か新聞で23億円の広報効果があるということで発表されております。そしていろいろと国、県でもダムあるいは河川、こういったものも効果というのは素晴らしいということで政官業学、費用対効果が非常に高いということで造らせて、結果いろいろな問題が出てきた。そういうこともよく精査してやらないと、特に第3セクターというのは非常に今厳しい。厳しい中で民営化というのを打ち立てながら、純然たる民営化にする方法はないのか。町が持ち出し持ち出しして、第3セクターは町長が社長になっておりますが、そういうようなかたちで持ち出し持ち出しした場合には、他の事業関係の足も引っ張るんじゃないかと。確かにこの報告書でも累計で約2億5千万円赤字累積を出しているわけです。そういうようなものを見てみると、ハテナということも考えているわけです。

○ 議長 山里昌輝

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

宇江原議員がおっしゃるとおり、第3セクターということがいま非常に国内で問題になっていますが、第3セクターを造るということは、例えば儲かれば民間がやります。これは利益を求めるということではなくて、その自治体に協力しようということで第3セクターがだいたい造られているわけです、どこでも。例えばこの自治体が第3セクターを造って運営するということは住民サービス、あるいは産業に寄与するという部分で考えて、利益についてというのは、当初造るときには利益が出るようにその計画はつくられたと思うんですが、その利益についてどうなるかとい

うことはあとは費用対効果、あるいは住民サービス、あるいは島の産業に資する部分で評価するというのが第3セクターじゃないかと考えております。

いろんな部分で全国に第3セクターがありますが、第3セクターで儲かっているのはほんの一部です。これについては第3セクターをつくるまえのところに非常に問題がありまして、もう儲からないと分かっているながら結局住民サービス、あるいは産業に寄与するというので、やらなくちゃいけないという状況もあるということをぜひご理解いただきたいと思います。

○ 議長 山里昌輝

4番宇江原総清議員。

○ 4番 宇江原総清議員

夕張の例をとりますが、向こうも今、住民サービスということを名目にしてだぶ造ってきて、しかも執行機関、議会とも実態を地域住民に知らせないままに抑えてきた。こういう経緯でとうとう破綻したと、こういうような結果を見ているわけです。ですから、我々も今そういったものを一つひとつ精査して、果たしてこれからやっていけるのか、思い切った措置をとらなければ久米島も夕張の結果を見るというようなことで懸念しているわけです。これに関しては以上で質問終わります。

○ 議長 山里昌輝

他に。

6番仲村昌慧議員。

○ 6番 仲村昌慧議員

20ページの15節工事請負費の中で町立小学校施設修繕事業に1千800万円の予算が計上されておりますが、それぞれの修繕の内容、箇

所についてお伺いします。

その下のBGのプールの整備事業に今回29万4千円が計上されてはいますが、これまで財政が厳しいからできませんと言っていた。

臨時交付金でしたか、これを利用してこれを整備していくという方針が変わってきました。確かに予算が計上されてそれが進もうと思われていたのですが、かなり遅れている状態じゃないでしょうか。総額としてこの改修にどれだけの予算がかかるのか。そして現在の進捗状況についてお伺いします。

それから、次のページの19節の結婚披露宴助成金、当初予算で500万円計上されましたが、220万円の減額となっております。21年度この条例が制定されてから今までの件数と助成の額についてお伺いします。

以上、3件お願いします。

○ 議長 山里昌輝

佐久田等教育課長。

○ 教育課長 佐久田等

ただいま仲村議員の小中学校の施設の修繕費につきましては、毎年、学校への予算の説明会におきまして、いろいろな修繕の要望がございますが、教育委員会における修繕費ではどうしても対応できない部分がありますので、今回このきめ細かな臨時交付金で修繕したいと思っております。例を挙げますと、大岳小学校のバックネットの取り替え等、西中学校の運動場のフェンスの取り替え等、そしてのり面のコンクリートによる補修等も考えております。22年度の予算の説明会におきまして各学校から修繕費等の要望が上がってきますので、今後これをつかってできるだけ要望に応じていきたいと思っております。

下のBGプールの整備事業におきまして

は、現在プールの濾過器等の修繕は行っておりますが、どうしても以前ありました鉄骨の日よけが予算計上できておりませんでしたので、今回グラウンドにありましたバッティングゲージの残った鉄骨を利用しまして、日よけを設置しないと夏場の暑い太陽の中では利用できないということで、今回はこのプールの整備事業は鉄骨での日よけの整備となります。

○ 議長 山里昌輝

盛本實建設課長。

○ 建設課長 盛本實

現在の工事の進捗状況ですが、BGの件ですが、契約としては今月中ということでの契約にはなっておりまして、進捗率が約7割8割ぐらいです。完成が今月の20日から25日までは完成するという方向で進めております。

○ 議長 山里昌輝

大道幸子町民課長。

○ 町民課長 大道幸子

現在50万円が3件、30万円が1件、180万円支出済です。

○ 議長 山里昌輝

6番仲村昌慧議員。

○ 6番 仲村昌慧議員

学校の修繕費に関してであります。統廃合検討委員会の中では危険校舎への対応をこれまでやってきたと思っておりますが、その対応は今後十分なのか、今のところ。再度この危険校舎については何件ぐらい、どの程度あるのかお聞かせ願いたいと思っております。

それから、BGの整備事業についてであります。22年度の使用は十分間に合うのかどうか。

それから、さっき質問したんですが、総額として修繕費にいくらかかったのかということをお聞きします。

それから、結婚披露宴助成金については、500万円から補正で減にされたのか以前に。180万円ですよ、されていたのか、それだけが調べてありませんので、されているかどうか。500万円から220万円ですよ、いま減額。実際180万円の支出をしていますよね。それが今あわないですよ。それが前に減額されたのかどうかということです。以上、3点。

○ 議長 山里昌輝

佐久田等教育課長。

○ 教育課長 佐久田等

町内の小中学校の危険校舎におきましては、統廃合検討委員会の資料にもあるとおり多くの学校が昭和50年代に建築されまして、築25年以上経過しているのが多くの学校で見受けられます。今回はその危険校舎の改築への予算対応ではなく、あくまでもコンクリートの剥離がある部分の補修とか、学校から要望が出てくる分を予算の対応できる範囲内というふうに考えております。

○ 議長 山里昌輝

盛本實建設課長。

○ 建設課長 盛本實

BGに関する全体的な工事費ですが、実は先週、一部の壁を取っ払ったところ、柱のH鋼が腐ってしまっていました。上辺だけやっても長く持たないということで、その分の補修も必要だということで、現在、設計屋さん調整をしていくらかかるんだということで調整をしているところなんです。確定するのが今週中か、来週の頭ぐらい。今、想定しているのは、総額でも2千100万円ぐらいには

なると。2千100万円を若干超すと思いますが、その金額になるだろうと想定しています。

○ 議長 山里昌輝

大道幸子町民課長。

○ 町民課長 大道幸子

2件分は残してあるんですが、2週間以内に、例えば申請して2週間以内に支払いしないといけないということで、一応2件分は残してあります。

○ 議長 山里昌輝

6番仲村昌慧議員。

○ 6番 仲村昌慧議員

BGについては約2千100万円ぐらいかかるだろうということでの答弁でしたが、平成22年度のこのBGの使用ができるのがいつ頃になるのかということです。

○ 議長 山里昌輝

盛本實建設課長。

○ 建設課長 盛本實

工事としては今月中には完成しますので、4月以降であれば使用は可能になります。

○ 議長 山里昌輝

暫時休憩します。(午前11時11分)

○ 議長 山里昌輝

再開します。(午前11時20分)

他に質疑ありませんか。

5番山城宗太郎議員。

○ 5番 山城宗太郎議員

8ページの繰越明許費のところ久米島紬品質向上対策事業で300万円余りの繰り越しとなっております。それと29ページの商工費でまた122万円の予算が付いていますが、その事業の内容をお願いします。

○ 議長 山里昌輝

平田光一商工観光課長。

○ 商工観光課長 平田光一

21年度の事業でその品質向上について180万円ぐらいですか、今事業を進めているところですが、明許繰越には29ページの122万円の増と併せた額が明許繰越になっています。今、21年度の事業を進めていて、その残りが確定した繰り越しになっていきますが、またこれについては繰越計算書、それで額は決定していきたいと思いますが、21年度につきましては染色の講習会とか、絵図講習会とか、着付け講習会とか、そういうものが進められております。22年度においても新しく開発した反物とか、そういうものも併せて品質向上に継続して努めていくということで、22年度においても21年度と同じ内容のもので品質向上を図っていこうということの内容です。

○ 議長 山里昌輝

他に質疑ありませんか。

3番饒平名智弘議員。

○ 3番 饒平名智弘議員

15ページの堆肥センターの販売事業が340万円ぐらいマイナスになっていますね、それはなぜかということと、堆肥センターは当初は黒字になるという予算を組んであったんです。今年補正でも700万円ぐらいの補正予算が入って、トータル900万円ぐらいのマイナスなんです。この340万円は、堆肥センターには在庫がないという話ですが、なぜ少ないのか、マイナスになっているのか。

また、20ページの太陽光の2千500万円ほどのぐらいの電気料か、内容を説明してください。これを入れたお陰で電気の代金がどのぐらい軽減されるか。

また、ウミガメ館の改修事業の内容をお願いします。



○ 議長 山里昌輝

平良朝幸農林水産課長。

○ 農林水産課長 平良朝幸

堆肥センターの収入の部で販売事業が342万円減になっていますが、当初、袋詰機ですね、12月までには整備して1月からは袋詰機も稼働させるということで予定していたんですが、現在、袋詰機は設置されているんですが、200ボルト電圧でキューピクルの整備がまた必要ということになりまして、3月いっぱいには製造が無理だということが分かりまして、その分袋詰めの販売の予定のものの342万円を減にしたということです。

製品についてはフル稼働でやっているんですが、なかなか当初計画したようには製造が追いつかない、注文と製造が追いつかないという状況であります。

収入の状況からすると人件費と電気料金と製糖工場から運搬する原料の運搬代が高んだということで、それで支出の方も当初予定したよりはかなり出たということで、収支が今現在では900万円の差が出ております。22年度に向けては1年間稼働させるとだいたい400万円の赤字にはなります。そうするとバラたい肥農家販売で5千円を出しているんですが、今の運営状況ですとだいたい8千円にしないと運営が難しいという状況が数字上出ておりますので、今後の対策として考えていきたいと思っております。

○ 議長 山里昌輝

平田光一商工観光課長。

○ 商工観光課長 平田光一

バーデハウス久米島の太陽光発電の件ですが、今回の予算規模で1時間20kwぐらいの発電機能を考えております。バーデの使用1時

間当たりの平均として160kwぐらいいっています。その約15%ぐらいがその発電によって削減が見込まれるのかなということで、バーデは年間電気料として2千670万円ぐらいいっていますので、その15%減でだいたい400万円ぐらい減が見込まれるのかなということで積算をしております。

それから、ウミガメ館の改修の内容ですが、ウミガメ館については今後、指定管理等も念頭におきながらということで、その収入を上げるためにはもっと内容を充実させて、入場料を上げないという状況の下に、今回、熱帯魚等も含めてそこでの展示とか、島の海岸をイメージした展示とか、そういうことも含めて展示内容を充実させるというようなものの改修であります。

○ 議長 山里昌輝

3番 饒平名智弘議員。

○ 3番 饒平名智弘議員

よく分かりました。堆肥センター、平成22年度の予算でもプラマイ0に組んでありますよね、収入と歳出が、計画もそうなっていますが、来年はそのような計画でいくんですか。

○ 議長 山里昌輝

平良朝幸農林水産課長。

○ 農林水産課長 平良朝幸

そうですね、予算にはそういうふうには計上してありますが、全体の運営の状況を分析して、やっぱり400万円の赤字は今の状態では数字上で出ています。それを修正していくためには、バラたい肥、さっき申し上げたとおり7千円から8千円に設定してやらないと運営が厳しいということになりますので、これは22年度で、そこらへんの対応策も考えていきたいと思っております。

○ 議長 山里昌輝

3番饒平名智弘議員。

○ 3番 饒平名智弘議員

今、そうとう箱物で経営が苦しいということで町民もそれに目を向けているんです。だからどうしてもそういう意味で、経営をちゃんと黒字になるように頑張ってください。

○ 議長 山里昌輝

他に質疑ありませんか。

10番安村達明議員。

○ 10番 安村達明議員

20ページの工事請負費の中の町営バス車庫整備事業とあるんですが、この事業には僕がいつも商工観光課長に要望していることが含まれているのか、そのことを説明願いたいんですが、お願いします。

○ 議長 山里昌輝

平田光一商工観光課長。

○ 商工観光課長 平田光一

町営バスの車庫の整備内容としては、今現在のバスを駐車しているところに楽天が使ったバッテリーゲージ、その鉄骨を使って上はトタンでやって、三方、前は明きになりますが、後ろと横の2カ所はブロック積みとかそういうものの対応を今考えています。

○ 議長 山里昌輝

10番安村達明議員。

○ 10番 安村達明議員

今現在、会社と会社の間にはフェンスがありますよね、囲いが。そこは何かに変えるということですか。今の現状のままでいくということですか。バス、うちの会社と境になっているでしょう。そこにフェンスが前のバスの車検場の人が持ってきて吹き飛ばして、うちの会社に突っ込んで、起こしたりなんかや

ったもの、もう今これ大変なんですよ。最近バスも新車買ってるし、あのバス軽くひっくり返るだけでそこに停まってるバスにも接触するようなかたちになっているんですよ。僕は前にあなたに話した時に、どこが直すのか、町が直すのか、あなたが直すと言ったんですよ。それ早く何とかしてもらわないと、今度うちの教習所にもちょっと危険性があるわけですよ。そのバス事業にそれが含まれているのかなと思っていますが、いかがですか。

○ 議長 山里昌輝

平田光一商工観光課長。

○ 商工観光課長 平田光一

僕が直すと答えた覚えはないんですが、事業実施において隣接する事業所の方とも調整をしてやっていきたいと思えます。

○ 議長 山里昌輝

10番安村達明議員。

○ 10番 安村達明議員

こういうのは早めにやって下さいよ。何かあってからはまずいので、今は内側からちょっと補強すれば固定できると思えますので、そういうことをきちんとやっていただければと思えますので、よろしくをお願いします。

○ 議長 山里昌輝

他に質疑ありませんか。

9番上里総功議員。

○ 9番 上里総功議員

27ページの農業振興費の雑草のヤブガラシ対策ということで、金額はマイナスになっているんですが、久米島でどの程度ヤブガラシが広がっているのか。農家に聞いたらほとんどその雑草が分からないんです。これだけ深刻に行政でも取り上げているんだったらこれ

は大変な雑草だと思うんです。来年度の予算には10万円乗っているんですが、これは農家自体がやるのか行政が音頭を取ってやるのかそれを聞きたい。

○ 議長 山里昌輝

平良朝幸農林水産課長。

○ 農林水産課長 平良朝幸

ヤブガラシが生えているところを調査した段階では10カ所にあります。それを農林水産課の担当職員が2カ月に1回除草剤で枯らして、それを繰り返している状況です。また畑の主にも除草剤を渡して、これで駆除して下さいということで、だいたい2カ月するとまた元に戻るようなことで枯らすことができない本当にやっかいな植物ですので、そういった対策を今やっておりますが、今回4万円減になったのは、薬剤がこれだけ余ったということで減になっております。これからやっぱり啓蒙に力を入れて、農家の皆さんにそういった対策も含めてお願いしながら啓蒙をはかっていきたいと考えております。

○ 議長 山里昌輝

9番上里総功議員。

○ 9番 上里総功議員

各地区で講習会とかできたら一番いいんですが、ほとんどの農家は知らないんです。例えば区長会でもって実物を見せて講習会をやるとか、そういう対策も必要じゃないかと。それで一番いい例がヤハタなんです。ヤハタは今までは特定の所にしかなかったんですが、今は久米島全体に広がっているんじゃないですか。そうならないように行政の方で率先して対策する必要があると思います。

○ 議長 山里昌輝

他に質疑ありませんか。

12番翁長学議員。

○ 12番 翁長学議員

27ページの畜産業費について、19節の農業共済掛金運営、農業共済組合家畜診療所運営助成金と繁殖牛の助成金が減になっていますが、その理由をお願いいたします。

○ 議長 山里昌輝

平良朝幸農林水産課長。

○ 農林水産課長 平良朝幸

農業共済組合家畜診療所運営助成金、これについては獣医師が町に配置されていないときの運営負担分で計上していたんですが、今、獣医師が久米島に共済から派遣されていますので、その分は別で負担しているということでその分は助成金としては要らないということで減にしております。繁殖牛共済掛金の助成金については、当初計画で今までは伸び率が1.1倍の伸びできていましたので、それに併せて計上しましたら、実績で100万円減になった分を今回減になっております。

○ 議長 山里昌輝

他に質疑ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

討論なしと認めます。

これから議案第7号、平成21年度久米島町一般会計補正予算（第7号）についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

（全員挙手）

○ 議長 山里昌輝

全員挙手です。従って、議案第7号、平成21年度久米島町一般会計補正予算（第7号）については、原案のとおり可決されました。

**日程第6 平成21年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について**

○ **議長 山里昌輝**

日程第6、議案第8号、平成21年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）についてを議題といたします。

本案について提案理由の説明を求めます。

○ **副町長 大田治雄**

大田治雄副町長。

（大田治雄副町長登壇）

○ **副町長 大田治雄**

議案第8号、平成21年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）の概要についてご説明申し上げます。

予算書の1ページをお開き下さい。

平成21年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）は、歳入歳出の予算額にそれぞれ72万円を減額し、歳入歳出の総額を13億3千185万1千円と定めます。

予算書の6ページをお開き下さい。

歳入におきましては、5款、国庫支出金72万円の減となっており、療養給付費等負担金の細節間で療養給付費から介護納付金並びに後期高齢者医療費支援金負担金の概算額確定による組み替え補正を行っております。

7ページ、歳出においては各事務経費の過不足の組み替えを中心に計上しており、一般被保険者療養給付費におきましては、実績ベースから算出した不足見込額を計上しております。

8ページになりますが、5款、老人保健拠出金の減額につきましては、社会保険診療報酬支払基金からの決定通知による減額となっております。

以上が平成21年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）の概要となります。

平成22年3月10日提出

久米島町長 平良朝幸

ご審議よろしくお願ひします。

（大田治雄副町長降壇）

○ **議長 山里昌輝**

これで、提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ **議長 山里昌輝**

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ **議長 山里昌輝**

討論なしと認めます。

これから議案第8号、平成21年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願ひします。

（全員挙手）

○ **議長 山里昌輝**

全員挙手です。従って、議案第8号、平成21年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）については、原案のとおり可決されました。

**日程第7 平成21年度久米島町老人保健特別会計補正予算（第2号）について**

○ 議長 山里昌輝

日程第7、議案第9号、平成21年度久米島町老人保健特別会計補正予算（第2号）についてを議題といたします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

（大田治雄副町長登壇）

○ 副町長 大田治雄

議案第9号、平成21年度久米島町老人保健特別会計補正予算（第2号）の概要についてご説明申し上げます。

予算書の1ページをお願いいたします。

平成21年度久米島町老人保健特別会計補正予算（第2号）は、歳入歳出の予算額にそれぞれ1億714万8千円を減額し、歳入歳出の総額を2千409万9千円と定めます。

今回の大幅な減額となっておりますのは、後期高齢者医療制度が開始されるまでは75歳以上の方は国民健康保険特別会計での予算対応ではなく、老人保健特別会計での予算措置でしたが、平成20年度から後期高齢者医療制度がスタートしたことによって、老人保健特別会計は過年度分の療養費の支出が対象となっております。そのため平成20年度からは当分の間は老人保健特別会計を存続することとなっております。

平成21年度の当初予算では前年度の実績ベースにより予算を確保しておりましたが、今年度の支払い見込額が大幅に下回ったため最終補正での減額に至っております。

歳入全般の減額は、歳出において医療給付費並びに医療費支給費が減額となったことによる対応財源の減となっております。

予算書の4ページ、6款、雑入では診療報酬の過誤分として還付金を計上しておりま

す。

5ページ、歳出におきまして、2款、諸支出金、一般会計繰出金774万6千円につきましては、既に一般会計からの繰入額を納付しておりますので、決算見込額の減に伴い納付済額分を繰り出す額となります。

以上が平成21年度久米島町老人保健特別会計補正予算（第2号）の概要となっております。

平成22年3月10日提出

久米島町長 平良朝幸

ご審議よろしくお願ひします。

（大田治雄副町長降壇）

○ 議長 山里昌輝

これで、提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

8番幸地良雄議員。

○ 8番 幸地良雄議員

今の提案理由の説明の中で、老人保健が後期高齢者の保険に前年のが拠出されて減額になったということではありますが、後期高齢者は20年度予算見たら6千800万円組まれているわけですよね。当初から後期高齢者はちゃんと組んであるのに、21年度は1億余り組んだということがちょっと理解できないんですが、説明をお願いします。

○ 議長 山里昌輝

休憩します。（午前11時47分）

○ 議長 山里昌輝

再開します。（午前11時48分）

日高清有福祉課長。

○ 福祉課長 日高清有

老人保健特別会計につきましては、平成19

年以前の診療報酬請求分に対しての支払いということになります。後期高齢者の診療部分につきましては、平成20年度からの支払いに対応するというようになります。

○ 議長 山里昌輝

8番幸地良雄議員。

○ 8番 幸地良雄議員

20年度の実績で21年度は組んだということで、当初は1億714万8千円組んである。そしてその分は後期高齢者の分も拠出をそれで行ったからということですよ、20年度においては。もう一度説明をお願いします。

○ 議長 山里昌輝

日高清有福祉課長。

○ 福祉課長 日高清有

20年度の支払いにつきましては、先ほども申し上げましたように19年以前の診療費の支払いということになります。

21年度の決算が、まだ決算はしていませんが、これだけ減額になったというのは19年以前の請求部分はほとんどなかったということで、当初予算は20年度に支払いした決算ベースで予算を組んで、これだけの予算額になっておりますが、実際は19年度以前の診療費の支払いがほとんどなかったということで、これだけの減額ということになっております。

○ 議長 山里昌輝

他に質疑ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

討論なしと認めます。

これから議案第9号、平成21年度久米島町

老人保健特別会計補正予算（第2号）についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

（挙手多数）

○ 議長 山里昌輝

挙手多数です。従って、議案第9号、平成21年度久米島町老人保健特別会計補正予算（第2号）については、原案のとおり可決されました。

日程第8 平成21年度久米島町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）について

○ 議長 山里昌輝

日程第8、議案第10号、平成21年度久米島後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）についてを議題といたします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

（大田治雄副町長登壇）

○ 副町長 大田治雄

議案第10号、平成21年度久米島町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）の概要についてご説明申し上げます。

平成21年度久米島町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）は、歳入歳出の予算額からそれぞれ25万8千円を減額し、歳入歳出の総額を8千560万3千円と定める。

4ページの予算書をお開き下さい。

歳入におきましては、3款、一般会計からの繰入額を減額し、歳出として国保連合会への業務委託分を減額したことによる充当財源の減となっております。

以上が平成21年度久米島町後期高齢者医療

特別会計補正予算（第3号）となります。

平成22年3月10日提出

久米島町長 平良朝幸

ご審議よろしくお願ひします。

（大田治雄副町長降壇）

○ 議長 山里昌輝

これで、提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

討論なしと認めます。

これから議案第10号、平成21年度久米島町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願ひします。

（全員挙手）

○ 議長 山里昌輝

全員挙手です。従って、議案第10号、平成21年度久米島町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）については、原案のとおり可決されました。

○ 議長 山里昌輝

休憩します。（午前11時54分）

○ 議長 山里昌輝

再開します。（午後1時30分）

日程第9 久米島町職員の給与の特例に関する条例を廃止する条例について

○ 議長 山里昌輝

日程第9、議案第17号、久米島町職員の給与の特例に関する条例を廃止する条例についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

（大田治雄副町長登壇）

○ 副町長 大田治雄

議案第17号、久米島町職員の給与の特例に関する条例を廃止する条例

上記議案を提出する。

平成22年3月10日提出

久米島町長 平良朝幸

久米島町職員の給与の特例に関する条例を廃止する条例。

久米島町職員の給与の特例に関する条例は廃止する。

附則、この条例は平成22年4月1日から施行する。

提案理由であります。

久米島町職員の給与の特例に関する条例を財政状況の好転により廃止する必要がある。

これがこの条例案を提案する理由であります。

ご審議よろしくお願ひします。

（大田治雄副町長降壇）

○ 議長 山里昌輝

これで、提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

6番仲村昌慧議員。

○ 6番 仲村昌慧議員

議案第17号について質疑いたします。提案理由では、財政状況の好転によるということですが、先ほどの施政方針の中で町長は、久米島町の財政は依然として厳しい状況であると。引き続き行政改革に取り組んでま

いたいということとすると矛盾はしないのかどうか。そして、財政状況がどのように好転してきたのか具体的にお伺いしたいと思います。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

お答えします。ただいまの提案理由の部分、舌足らずな部分がございますが、朝お配りした資料があると思います。棒グラフになった資料ですね、それをご覧になっていただきたいと思います。これについては普通交付税と特別交付税と臨時財源対策債、この3つを併せたものになっております。臨時財源対策債は本来は普通交付税で措置すべきものを国の財源がありませんので、それに代わって市町村がその分を起債を起こして、借金を起こして借り入れをします。そして自由につかうことができるというもので、本来の交付税とほぼ同じ意味で捉えていただいていたかと思えます。

このグラフからすれば、17年、18年あたりが財政上、三位一体の改革で一番苦しい時期となっております。それから右肩上がりです。少しずつ交付税が増えていっております。これはひとつの改善、好転ということになってはいますが、但し、この増えている中には補助金、国庫負担金、国庫補助金が一般財源に振り替えられたものも含まれています。代表的なものが保育所の運営負担金です。それから高齢化に伴って扶助費が当然増えてくるということ、そういった部分から内容としては非常に厳しくなってくるということです。

21年度以降、おそらく22年度まではいろんな景気対策等もあって、交付税は伸びると思

います。22年、23年度ぐらいまでですね。24年度以降は、逆に言えば17年度から18、19、20、21と改善してきたものが、逆に下がっていくと。27年度、28年度には平成17年度より更に下がる見込みというようなかたちで、内容的には財政状況というのは決して楽観視はしていけないと、厳しいものがあるということです。少なくとも22年度、23年度においては内容を引き詰めて、ある程度基金に積み立てておかないと24年度以降の交付税の算定を乗り越えることはできないということです。そういう意味において非常に財政の中身としては厳しい部分があるということでございます。

○ 議長 山里昌輝

6番仲村昌慧議員。

○ 6番 仲村昌慧議員

24年度から交付税が一本算定化されて、29年度まで約6億円の減になる見込みでもあるし、これから将来に備えても、これを廃止して元に戻すという時期ではないんじゃないか。あと1年間この条例通りやるべきじゃないかと思えますが、いかがでしょうか。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

今回、組合との交渉の中で廃止するという事で合意に達したわけですが、ただ、その交渉の中においては、今は財政状況が改善しつつあるということは間違いございませんので、一旦廃止して、更に24年度からの算定替えの中において早め早めに行財政改革に取り組んである程度蓄えて余裕をもっておく、財政状況の余裕をもっておく。それができなければまた再度お願いすることもあり得ますよ



ということは組合の方に話しております。ただそうならないように行財政改革、先ほどの町長の施政方針にあった通り、行財政改革に早め早めに取り組んで、できるだけ給与カットはやらなくて済むようなかたちで乗り越えていきたいと考えております。

○ 議長 山里昌輝

他に質疑ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

討論なしと認めます。

これから議案第17号、久米島町職員の給与の特例に関する条例を廃止する条例についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手多数)

○ 議長 山里昌輝

挙手多数です。従って、議案第17号、久米島町職員の給与の特例に関する条例を廃止する条例については、原案のとおり可決されました。

日程第10 久米島町長等の給料等の特例に関する条例の一部を改正する条例について

○ 議長 山里昌輝

日程第10、議案第18号、久米島町長等の給料等の特例に関する条例の一部を改正する条例についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第18号、久米島町長等の給料等の特例に関する条例の一部を改正する条例

上記議案を提出する。

平成22年3月10日提出

久米島町長 平良朝幸

久米島町長等の給料等の特例に関する条例の一部を改正する条例。

久米島町長等の給料等の特例に関する条例の一部を次のように改正する。

大枠の中に改正前、改正後とありますが、改正前の欄中の下線が引かれた部分に対応する改正後の欄中、下線が引かれた部分がある場合には、当該改正部分の当該改正後部分に改めることとなります。

附則、次ページをお開き下さい。

施行期日、この条例は平成22年4月1日から施行する。

提案理由

特別職の給料と一般職員の給与の権衡を図るため、久米島町長等の給料等の特例に関する条例の一部を改正する必要がある。

これがこの条例案を提出する理由であります。

ご審議よろしく申し上げます。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 山里昌輝

これで、提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

2番宮田勇議員。

○ 2番 宮田勇議員

この条例改正は19年4月1日から23年3月31日までだが、なんで1年前倒しにして改正

するのか。そのへんもう一度説明求めます。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

ただいまの質問にお答えします。先ほどの一般職の給与特例条例の廃止に伴いまして、副町長、教育長の給与の減額を15%そのまま続けていきますと、職員との間に給与の逆転現象が生ずるということがまず第1点目でございます。併せて、他の類似市町村の町長、副町長、教育長の給与のバランスを見てみても、やはり副町長と教育長の給与の方がかなり低くなっているということ、そういったことを併せて、今回、あと1年残っておりますが、副町長、教育長の給与の減額率については10%緩和して5%としたいと考えております。

なお、参考までに県内の副市長村長の市を除いた町村の平均が55万8千500円でございます。これに対して本町の副町長が50万3千200円となっております。教育長の方が、県内の町村平均が51万9千100円、本町の教育長が47万2千600円ということになっておりますので、類似市町村の比較からいっても5%にすることでほぼ平均並みの給与になるということでございます。よろしく申し上げます。

○ 議長 山里昌輝

2番宮田勇議員。

○ 2番 宮田勇議員

なんで類似市町村に併せないといけないのか。これは法的拘束、何か決まりがあるんですか。それとも職員との均衡を図るというんだが、特別職だから必ずしも多く取らなければいけないということもないんじゃないの。名古屋市長をみてごらん下さいよ。自ら半分

にカットしているでしょう。そういった面からみても、別にそれなりの生活給はあると思いますよ。それを来年の3月31日までなのに1年前倒した理由を言いなさいと僕は言っているのに、ただ類似市町村と併せるからと言っているんだが、財政が好転すると先ほども説明あったんだが、また将来的に条例改正してこうこうやるという約束もしていると言うんだが、そんなのやる必要ないよ、ちゃんと好転するまでは突っ走ればいいと思いますが、どう思いますか。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

ただいまたいへん厳しいご指摘もございませぬが、やはり給与制度には給与制度のひとつの考え方というのがございませぬ。これについては職務の責任の度合いに応じて給与体系というものはあるべきだという基本的な考え方がございませぬので、そういった考え方に基ついでぜひご理解をお願いしたいと思います。

○ 議長 山里昌輝

2番宮田勇議員。

○ 2番 宮田勇議員

給料が少ないと責任はじゃあ取れないということですか。責任が重いから給料が多い。じゃあ少ない人は責任はないという意味ですか。そういった言い方はちょっとよくないと思いますね。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

必ずしもそう申し上げているわけではございませぬで、これは一般的な給与の考え方ということで申し上げている次第でございます

ので、よろしくお願ひいたします。

○ 議長 山里昌輝

休憩します。(午後1時45分)

○ 議長 山里昌輝

再開します。(午後1時45分)

他に質疑ありませんか。

4番宇江原総清議員。

○ 4番 宇江原総清議員

町三役というものと現場職員というものは給与においても、場合によっては現場が高くなくてもいいんじゃないかというようなことの理論をもっております。35年間公務員生活もやってきました。その中で三役というのは必ずしも他職員と均衡じゃなくてもいいんじゃないかと。かえって現場職員の方に手当をするという方がいい。むしろまたそのことによって町民がより財政を町民の税をいい方向に運用するという面からいって、私も三役の18号議案は賛成できないと思っております。

○ 議長 山里昌輝

他に質疑ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

討論なしと認めます。

これから議案第18号、久米島町長等の給料等の特例に関する条例の一部を改正する条例についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手多数)

○ 議長 山里昌輝

挙手多数です。従って、議案第18号、久米

島町長等の給料等の特例に関する条例の一部を改正する条例については、原案のとおり可決されました。

#### 日程第11 久米島町産業振興基金条例について

○ 議長 山里昌輝

日程第11、議案第19号、久米島町産業振興基金条例についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第19号、久米島町産業振興基金条例上記議案を提出する。

平成22年3月10日提出

久米島町長 平良朝幸

久米島町産業振興基金条例

(設置)

第1条

産業の振興を図るため事業に必要とする資金(以下「資金」という)の貸し付けを円滑かつ効率的に行うため、久米島町産業振興基金を設置する。

(基金の額)

第2条

基金の額は1億4千600万円とする。

(貸付対象)

第3条

資金は産業の振興を図るため事業を実施する産業関係団体に貸し付けるものとする。

(貸付の条件)

第4条

資金の貸付条件は次に定めるところによる。

- (1) 貸付利率 無利子。  
(2) 貸付期間 10年以内。  
(3) 償還方法 据え置き期間後、元金均等償還  
(4) 据え置き期間 3年以内

2 町長は前項の規定にかかわらず、特に必要がある場合は貸付利率、貸付期間、償還方法または償還期間を変更することができる。

(繰上償還)

#### 第5条

町長は資金の貸し付けを受けた産業関係団体が資金の貸し付けの目的外に使用したとき、または貸付条件に従わなかったときは、資金の全部または一部を繰上償還させることができる。

2 資金の貸し付けを受けた産業関係団体は資金の全部または一部を繰上償還することができる。

(管理)

#### 第6条

基金に属する現金は金融機関への預金、その他最も確実かつ有利な方法により保管しなければならない。

2 基金に属する現金は必要に応じ、最も確実で有利な有価証券に変えることができる。

次ページをお開き下さい。

(運用益基金の処理)

#### 第7条

基金の運用から生じる利益は一般会計の歳入歳出予算に計上して整理する。

(委任)

#### 第8条

この条例に定めるもののほか、基金の管理に管理に関し必要な事項は規則で定める。

附則

(施行期日)

1 この条例は公布の日から施行する。

(条例の廃止)

2 久米島町まちづくり基金条例及び久米島町中山間ふるさと農村活性化基金条例は廃止する。

提案理由

経営環境の厳しい土地改良組合第3セクター一等の改革を資金面から支援することにより、経営再建、健全化を推進し、町の産業振興を図る。

これがこの議案を提出する理由であります。

次ページに参考資料として産業振興基金の取り扱い規則を添付しております。ご審議よろしく申し上げます。

(大田治雄副町長降壇)

#### ○ 議長 山里昌輝

これで、提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

6番仲村昌慧議員。

#### ○ 6番 仲村昌慧議員

以前にこの条例案を提出する予定で議会に説明がありました。それが提案を見送ったその理由をお伺いします。

#### ○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

#### ○ 総務課長 仲村渠一男

当時は具体的な再建のプランと申しますか、そういった部分ができなかったことと併せて、この議会に対する説明も行われていなかったということでもあります。

前回説明したときに、議会の皆さんからご指摘事項のあった、1つの団体に流れてしまうんじゃないかといったようなご意見もあり

ましたので、そういったものについてはまた規則の中で制限を設けてあります。

○ 議長 山里昌輝

6番仲村昌慧議員。

○ 6番 仲村昌慧議員

議会の説明で議会にも十分理解されていない状況の中で、その後議会に全く説明がなく今回提案されました。この提案の仕方も非常に強引すぎるといった感じがします。

実は、産業基金振興としての非常にいい名目で、支援することはいいことだと思っています。今回のこの団体にこれまで支援してきております。まず、バーデハウスに経営再建の対策補助金として1千万円これまでできています。22年度の予算にも提案されておりますが、土地改良運営補助金としても土地改良組合に2千万円毎年出しています。それから、観光対策推進事業費として助成金として観光協会に毎年1千万円、それから紬組合にも振興補助金として200万円、更に紬組合には貸し付けもしていま返済途中であります。

そのような団体に助成して支援してきました。更に今回これをやる必要があるのかどうかということです。

そして、今さっき申し上げた、議会に説明したその時の議会が疑問をもって納得できていない状況の中で、どうして今回説明をしなかったのかお伺いします。

それから、今回その中に漁業組合も入っています。前回は入っておりませんでした。漁業組合の運営状況はどうなっていますか。そこもお伺いします。

そして、土地改良区、産業としての位置付けをするのかどうか。土地改良区は土地改良の事業費として組合員からその負担金を徴収

してそれで事業費を返済する、そういうところに産業として位置付けして産業支援に充てるのは適正であるのかどうか、お伺いします。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

まず、議会の説明は2月の全協でやる予定でしたが。2月の全協が那覇での研修会でやったということでそのタイミングを失って、なかなか全員に集まっていたく機会はなかったということでございます。その大まかな中身については、前回のその前の全協で説明もしてありました。また、議会の皆さんが危惧していることもある程度聞いておりましたので、その対策として規則である程度定めて、それを今回再度提案いたしております。

それから、私が答えるところだけ先に答えさせていただきます。土地改良組合が産業振興団体かということですが、当然、産業振興のために、農業の振興のために土地改良組合もあるものと考えております。農業の振興を図る上で土地改良の基盤整備というのは重要でありますし、農業振興を支える大きな基礎になると考えております。

基本的には、仲村議員がおっしゃるとおり土地改良組合というのは負担金でもって運営されるべきものであるということ、これはおっしゃるとおりでございます。がしかし、今、土地改良の経営状況というのはたいへん厳しい状況であるという中において、約6億円余りの借入金がございます。土地改良組合全体でそれを町が全て全額損失補償をしているという現状がございます。最終的には損害が発生した場合は町が損失を補償するということ

になっているわけですし、当然、行政としてその土地改良組合を指導する立場にあるということで現在職員を派遣して徴収態勢の強化を図るといったかたちで取り組んでいるわけでございます。

この産業振興基金も最初から貸し出しありきではなくて、一生懸命徴収の強化に取り組んで、それでもなおかつ納期限に間に合わなかったとかいう場合には一時的に立て替えて、更に徴収努力をするといったような運用のやり方を考えております。そっくりそのままその貸付金で赤字を補填するとか、そういった運用は考えておりませんのでご理解をお願いしたいと思います。

それから、町はいろんな産業団体やあるいは産業団体以外の教育団体という団体に対しても補助金を交付いたしております。それはそういった関連団体の育成を支援することが町全体にいろんな文化、教育、産業、福祉、そういった団体を育成する政策遂行のために交付しているわけございまして、これは地方財政法に定められた町のひとつの権限となっております。

それから、町にはいろんな公の施設がございます。バーデハウスも公の施設です。ホテルドームも公の施設です。文化センターも公の施設、あとウミガメ館とか改善センター、これも公の施設です。全て使用料だけではまかなうことはできない。それができれば最初から民間でやっているわけございまして、その全ての施設それぞれ税金を投入しております。これが朝皆さんにお配りした横の棒グラフの入ったものでございまして、それぞれの施設に対する一般財源の投入額はいくらであるとか、1人当たりの使用に対するコスト

はいくらであるとか、そういったものが比較できるようになっております。

漁協については、具体的に貸し付ける予定はございませんが、経営状況が非常に厳しいということを知っています。それはエビの値段が従来の約半額ぐらいまで暴落してきているということで非常に厳しいということを知っております。基金を設置して貸し付けにあたっては、やはり貸し付けの審査を銀行並みに厳しくして、その経営再建の中身を判断して貸し付けるということをしないと、貸し付けで焦げ付きということにもなりかねませんので、そういったところまで判断して実際の貸し付けを行う場合はやる必要があると考えております。

○ 議長 山里昌輝

6番仲村昌慧議員。

○ 6番 仲村昌慧議員

基金というものは一定の目的のために積み立てるものですよね。今回2つの基金を廃止して産業振興基金を設置するということですが、この2つの基金も将来の、今現在動いていないからこれを廃止しようという考え方は非常におかしいと思います。将来ために今積み立てていきます。これは廃止すべきものではないと思います。財源からもってこれないからこれを廃止してこれをやるということはちょっとまずいなという考え方をもっています。

町長は前にバーデ対策の再建対策の補助金1千万円を提案しまして、その本会議で議論しました。討論の中で反対討論も出ました。私は、その時に町長がちゃんとした再建計画を立ててそれを見守る必要があるということで賛成しました。町長はもしそれが改善され

なければ23年度には町職員を派遣するという  
ことも述べておられました。今日朝の総務課  
長の説明の中では、黒字まであと一息という  
ことも言うておりましたので相当改善されて  
きていると思います。前に補助金を出してい  
ますので、それで改善されてきている様子を  
まず見守る必要があると思います。

そういう状況の中で今あえてこれを2つの  
基金を廃止してこの基金を設置するというこ  
とは疑問に感じますが、いかがですか。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

お答えします。現在、先ほども申し上げま  
したが第3セクターと経営評価委員会でその  
経営審査をやっているところであります。今  
途中で、本議会の会期中にあと1回開催を予  
定していますが、その審査委員会の中での指  
摘事項を受けて、これは明日説明する予定な  
んですが、この再建計画ですね、その中身を  
作成しております。指摘事項をクリアする  
ためにやっております。その指摘事項の中で、  
現在の借入額がございまして。この提案の一番  
最後の下のところにそれぞれ載っております  
が、約1億2千万円の借り入れがあるわけで  
ございまして。それを一気に返すということは、  
1億円の売り上げの中で非常に負担が大きい  
ということとございまして。これは専門家を  
交えてのものですから、まず、今回3千万円の  
2件を一旦町の貸付金に借り換えをして、そ  
のうち3千万円の1件は3年後に銀行を借り  
入れに変えて一括で返してもらおうというこ  
とで考えております。残りの3千万円は10年  
間で返してもらおうと。

それから、銀行の琉銀の貸し付けについて

も、1年間は元金を繰り延べするというかた  
ちで、それぞれ債務の返済計画も細かくつく  
って、それで売り上げに対してこれで資金が  
回るという細かい計画をつくった上で、今回  
この産業振興基金を活用して、町の支援策と  
してぜひお願いしたいと考えております。

基本的にはこの再建にあたっては、これ以  
上負債を増やさないということを前提に考え  
て取り組んでおります。そういうことを再建  
計画に基づいて、産業基金を活用していくと  
いうことで考えております。

詳しいことについては明日じっくり時間を  
いただいて細かい説明はしたいと思ってお  
ります。

○ 議長 山里昌輝

6番仲村議員の本件に関する質疑は既に3  
回になりましたが、会議規則第55条但し書き  
によって発言を許します。

○ 6番 仲村昌慧議員

先ほど土地改良の問題も出ましたが、十数  
年前に土地改良の監査状況を見ましたが、結  
構大口な土地改良の負担金の滞納が多かった  
です。本当に真面目に負担金を払ってる人か  
らみれば、こういうところに支援をするとい  
うことじたい、真面目な人からみればばかば  
かしいことだと思います。これをするこ  
とによってよけい滞納者が増えてくるのでは  
ないかと思えます。今、土地改良に徴収委員  
も派遣して土地改良の負担金の向上を目指  
しておりますが、いろんな手当をしてきて、  
またこれをやることによってよけい逆効果  
になってくるのではないかと、そこも危惧  
されます。そこのところどうお考えなのか。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

ただいまの土地改良の件に関しては、例えば財政の立場として公的資金を投入して貸し付け等をするならば、やはりそれなりのことは土地改良にもやってもらわないといけないと考えております。例えば、高額な滞納者についても土地の差押えをやるぐらいのですね、やはりそれなりの努力はやってもらわないといけないと考えております。

○ 議長 山里昌輝

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

この産業振興基金条例に関しましては、私が就任したときに全て問題あると感じたと思います。土地改良、バーデハウス、紬組合、観光協会、将来的には漁協、あらゆることをこの4年間でやってきました。土地改良にしても職員を派遣して何とか経営の方針、あるいは将来に向けて統合することに関してもこれもいま努力しております。

バーデハウスについても、これまで努力してやっと先行きが見えたという状態になっております。それから、観光協会もそうですが、紬組合もこれまで非常に経営が厳しくて、何とか一歩踏み出さないといけないということでこれまでいろいろな事業を導入したり、あるいは様々なイベントをうったり、あるいはバイヤーとの交渉をしたりとこれまでやってきました。

全く何もやらないでこういうことをパッと持って行かれたらこれは反対されるのは当たり前だと思います。しかしながら我々は、細目に書かれている第3セクターと産業に関する土地改良、あるいはオーランド、あるいは事業組合、あるいは観光協会、そういうもの

が本当に存続できなかった場合、さうとう産業がダメージを受けるという判断でこれをつくりたいということを申しました。これについては、例えば資金繰りが悪くなったときに投入してそれで返してもらおうという考え方がいいと思います。ですから、土地改良にしてもオーランドにしても借入金の利子で経営を圧迫しているという部分もございます。ぜひこのへんもご理解をいただきたいと思いません。

○ 議長 山里昌輝

9番上里総功議員。

○ 9番 上里総功議員

この新条例の件ですが、今まで議会でもさんざん3月の予算委員会、9月の決算委員会でもずっと指摘してきたわけなんです。それで一生懸命やりますと言いながら全然やられていない。その結果が条例をつくらなきゃならないという状態に来ている。果たして本当に一生懸命やったんですか。バーデハウスの件に関しても最初の支配人がものすごい借金をしましたよね。ああいうのに関しても道義的責任も全然取らされていない。そういうのも今まで追及してきたのに、一生懸命やったからそういうのは訴えることはできませんとか、今まで弱腰弱腰で全部やってきた。そういう状態でまた議会にこれだけいろんな意見を出しても、全然信用しないですよ。

それで、最終的には責任取らされるのは議会なんですよね。今まで行政は誰も責任取ってない。それぐらいの覚悟で本当にやれるかということなんでしょ。今、全国市町村で言われているのは、誰が責任を取るかと。全国どこを見ても誰も責任を取っていない。それで最終的に負担がくるのは町民だと、そうい



う結果になっているんですよ。

久米島町に関してもそういう可能性がなきにしもあらず。バーデハウスの件で皆さん方も認めているじゃないですか。2ページを開けて下さい。累積赤字は2億5千万円まで拡大し、これ以上の借り入れや増資等も無理な状態で、実際の再建は無理な状態ですと。皆さん方も認めているじゃないですか。そういうところに基金をつかって、また議会の承認を得て、投資して下さいと言ってもできませんよ。

自分たちも認めながらこういうばかなことをやろうとしている。これ絶対に求めるわけにはいきませんよ。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

たいへん厳しいお言葉なんですけど、今ここでこのバーデハウスを投げることができるかということなんです。この再建計画書にも書いてあるとおり、やはり法的整理も視野に入れて今回は取り組む必要があると考えております。具体的には平成22年度に黒字を出すことができなければ即法的整理に移行するという心構えで今回はやっております。

先ほど述べたとおり、今、バーデハウスが久米島の観光に果たす役割、はての浜かバーデハウスと、大きな2つの目玉になっているわけです。それがなくなって、じゃあ久米島の観光にどういった影響を及ぼすのか。あるいは健康増進の面でも2万人余りの町民が利用している。これだけ利用している施設が他にはほとんどないです。運動公園が3万いくらか利用しているぐらいで。あれはいくつもの施設を併せての人数ですから。実際これだけ町民に利用されているわけです。産業に役立

っているわけです。行政としてはそれを進めてきて、今ここで投げ出すのは簡単です。しかし我々はそれを再生させないといけないという立場でございますので、ぜひ議員の皆さんのご理解をいただいて、来年度までひとつチャンスを与えていただきたいと思います。よろしく申し上げます。

○ 議長 山里昌輝

9番上里総功議員。

○ 9番 上里総功議員

皆さん方は再建計画と言ってるんだけど、それであればどうしても必要であれば、島民にも痛み分けさせなきゃならないですよ。それだけ大事な施設だったら。そこまで考えてやるんだったらいいですよそりゃあ。500円で維持しながら、それで観光客には優待券を発行しながら、それで果たして再建できますか。私はできないと思います。

今、経済情勢も、去年まではインフルエンザとかリーマンショック、そういうのでやっているんですけど、全体的な外部環境を見た場合には、観光というのは当てにならないところまできているんですよ。今まで久米島町の場合は箱物いっぱい造ったんだけど、観光客誘客ということで、観光客来ていますか。そういういろんな条件を勘案して皆さん方は計画しているかと、それが見えてこないということです。

○ 議長 山里昌輝

大田治雄副町長。

○ 大田治雄副町長

ただいま上里議員から強いご指摘がありますが、観光団が来ていますかということでは、観光協会の立場からすると来ております。何の策も立てなければおそらく来ませんでしょ

う、半分しか来ないでしょう。いろんなかたちで上期、下期のキャンペーンも我々は各エージェント周りを120社、それぞれのホテルの皆さん、支配人を連れて、JTAの協力も得ながら行っております。そこでもいろんなかたちでプレゼンの中で久米島のこのバーデハウス、はての浜とかいろんな施設がありますよという条件を提案しながらやってきております。これを全くやらないとなるとおそらく半分以下しか来ないと思います。

いろんなかたちで施設があつて各ホテルが維持できることによって雇用が生まれ、島の経済に波及効果が生じて、例えばホテルでも固定資産税いろんなのが町に納めてきます。その見返りのようなかたちで出てきております。これは決して無駄な施設にはならないと思っております。ぜひそのへんのご理解を得ながら、いろんなかたちで我々も努力しておりますので、そのへんの皆さんからのご指摘も謙虚に受け止めながら、今後も頑張っていきたいと思っております。よろしく申し上げます。

○ 議長 山里昌輝

9番上里総功議員。

○ 9番 上里総功議員

来ているというのは9万5千人前後でしょう。皆さん方の目標はいくらでしたか。目標に向かって今までやらなきゃならない状態だったんだけど、全然それがなされてないというのはどういうことなのかということなんです。確かに9万5千人台は来ていますよ、それは私も認めます。だけど目標は10万、15万人という目標を立てて、いろんな箱物を造ったと思うんですよ。それにもかかわらず観光が伸びない。

もう1点、一般質問で出しているんですが、

観光振興といいながら、久米島町の観光案内所はどこにありますか。観光案内所、場所はどこにあるか手を挙げて下さい。課長の皆さん方。ほとんど知らないでしょう。それで観光振興とよく言ってるもんですね。

○ 議長 山里昌輝

大田治雄副町長。

○ 大田治雄副町長

観光案内所はどこにありますかと、当然空港の中にあります。観光協会の施設があります。そしてホームページの中でも久米島観光協会、町のホームページも含めて発信しております。これもお金がかかる話で、空港のあれだけのスペースを借りるのも月2万5千円払っております。当然、補助金の範囲内でいろんなかたちの運営をしなければいけないものですから、単独の協会の予算だけでは限界があります。皆さんの思いとずれが生じているのも当然であります。そしていろんなかたちで我々はいま取り組みやっております。例えば高速船の導入についても、安永観光さんの高速船を渡名喜経由のものにできないかとか、今進めている観光バスも新たな会社が認可を受けました。これも近々修学旅行が全て年間バッティング対応できるような仕組みもできます。いろんなかたちで努力しております。そのへんぜひご理解していただきたいと思っております。

○ 議長 山里昌輝

4番宇江原総清議員。

○ 4番 宇江原総清議員

重複のところもありますが、約2億5千万円の累積赤字もあると。今回、太陽発電として2千500万円を投入するというので、町の予算を常に持ち出してやっている。もちろん株

式会社の代表取締役は町長になっておりますが、そういうようなものをいつも投入してくると、こういうかたちではいつまで経っても自立できないということ。

それから、いいことばかり言っていますが、やはり国の政策においても、先ほど八ツ場ダムはじめ、今度は静岡空港とか、あるいは茨城空港など採算が取れるということであれだけのたくさん空港を造ったら、国民が全部これを負担しなきゃいけないと、税金を負担しなきゃいけないというようなことになっている。これは特に第3セクターというのは、町のですね、オランダも健康保持のためというかたちであるんですが、しかしこれは株式会社になっている。そのためには儲けがないといけない。儲けを出さないといけない。普通の一般の研究施設とか、あるいは健康増進センターとは違うんです。そういうようなかたちでみると、やはり今もってもう一つ精査すべきだということ。

それと、皆さん方の手法というのがおかしいと。今、会議規則の中に、株式会社オランダというかたちで入れているんですが、私から見ればそのための各種団体も入れているんじゃないかと勘ぐりをせざるを得ないということです。そして、議案の提出の仕方、資料も今日持ってきてある、今日の午前中。全員連絡協議会でもないし、議員が集まる時間帯を見計らって直前にこういった資料も持っている。僕は一応目を通しましたが、そういった手法というのはいかがなものかと。再三指摘しておりますが、議会は事後承認機関じゃありませんと。あるいは皆さん機関の使い走りじゃありませんと前々から言ってきたわけですが、そういったものも配慮しないで直前に

資料をハイッと出す。ということはいま私が言ったような追認機関、議会は執行機関に対する追認機関かと、あるいは使い走りかと、こういうようなことを言わざるを得ない。そういうことをよく考案してこれから対応させていただきたい。

結論としては、今こういう計画には、条例には私は反対の立場であります。

○ 議長 山里昌輝

他に質疑ありませんか。

8番幸地良雄議員。

○ 8番 幸地良雄議員

先ほど総務課長の説明で、運用する場合には審査して貸し付けするということですが、規則の中にも審査機関というのは入っていないんですが、前の説明の中には設置して審査すると言っていました、どうなっていますか。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

ただいまの審査機関ですが、規則の中には特に規定はしておりません。外郭団体は基本的には再建を支援する団体が経営危機に陥った場合、外郭団体ですから、基本的には補助金を流している団体については第3セクター等経営評価委員会の評価の対象になってきますので、まずはその団体で、第3セクター等経営評価委員会とその補助金を流している団体の経営審査をまず基本的にはやります。経営状況をですね。やった上で再建計画を出してもらおう。それが的確かどうか見た上で、また内部の審査機関というのは特に今メンバーは決めておりませんが、内部でしっかりと審査をして決定するというような段取りにな

ります。

○ 議長 山里昌輝

8番幸地良雄議員。

○ 8番 幸地良雄議員

審査機関というのが今問われているんですが、内部だけの審査機関でいいのか、それと外部から入れての審査機関じゃないんですか。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

基本的には二段構えで考えておまして、定義の中に第3セクターとは何かという部分に、要は町から補助金を交付している団体が対象になりますということになりますので、その経営危機に陥った場合はそういった団体の経営再建計画を出してもらって、その経営の内容を第3セクター等経営評価委員会で評価します。その段階で経営の中身については問題点を洗い出すことができると考えております。その第3セクターと経営評価委員会で貸付資金の決定をするわけではないんですが、その評価結果を踏まえて町は内部で貸すか貸さないかの判断をするというかたちで考えております。

メンバーについては、特に規則で定めておりませんが、当然財政と主管課、その団体を主管する課、それからプロジェクト、町全体の経営を企画する立場にありますのでプロジェクトといったようなところがメンバーになると考えております。

○ 議長 山里昌輝

他に質疑ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

まず、原案に反対者の発言を許します。

9番上里総功議員。

○ 9番 上里総功議員

今までもずっと指摘してきたように、今までもできないことをこれはやろうとしている。それで基金をつくれれば基金に安易に頼る可能性がありますので、この条例には絶対反対であります。

○ 議長 山里昌輝

次に、原案に賛成者の発言を許します。

7番喜久里猛議員。

○ 7番 喜久里猛議員

今までいろいろと質問もありましたし、また執行部の方も真剣に考えて回答しておりますが、まず、久米島町が持っている、私なりに実は負の資産と呼んでいます。いわゆる利益はないけれど町費をつかって応援してあげないといけない財産、あるいは組織、これは私なりの言葉ですが負の資産と呼んでいるわけですが、今、この久米島が何の方向性をもってきているかということが問われていると思います。

私は久米島は当然、第一基幹産業として農業なしでは久米島は生きていけないと思います。それからみましても土地改良は当然、子孫に残す大事な国土であり農土であるということで今までずっとやってきたわけですが、その中におきましてもやはりそれは助成していかないといけない。

それと、今盛んに言われているオーランドバーディとか、あるいは組織としては違うんですが総合グラウンドとか、楽天が使っています野球場とか、これも当然町が支出をやりながらも運営して、楽天も来てくれているので、

観光客も皆さんは一生懸命増員しようと頑張っています。その受け入れる態勢がなければ、当然観光客も来ないわけです。それから、農業後継者も育たないわけです。

先ほど副町長がおっしゃっていましたが、あれはバスの関係だったか、団体を受け入れる態勢にもっていくんだと。これも私はこの基金は、皆さんの久米島町をどうするんだということ、観光客をどう増やすんだということの表れの結果だと思います。

従いまして、この基金をまず設定していただいて、先ほどから規則にはないけれども審査員があるからそこで厳重に審査したらいいんじゃないかという話ですので、私はそれに期待してこの案に賛成します。

○ 議長 山里昌輝

他に討論ありませんか。

6番仲村昌慧議員。

○ 6番 仲村昌慧議員

本案に反対の立場で討論します。いったいどこまで支援すればいいのでしょうか。これまで久米島町バーデハウスには経営再建対策補助金として1千万円も補助してきました。紬基金振興費として200万円毎年やっています。それで貸し付けもやっております。土地改良運営補助金も毎年2千万円、それから観光協会にも1千万円補助してきました。これまで支援を講じてきて改善されなければ、今後これを貸し付けして、本当にこれが償還されるのかどうか。そういうところが一番危惧されます。10年返済となっておりますが、おそらく10年こっちに残っている人はわずかな人数だと思います。責任は誰が取りますか。2つの将来の目的をもった基金を廃止して、この新たな基金を設置することに反対しま

す。

○ 議長 山里昌輝

8番幸地良雄議員。

○ 8番 幸地良雄議員

本案に賛成する者として討論いたします。基金の運用につきましては、審査機関を設置して十分審査して貸し付けするということになっていきますので、産業及び産業振興を支援するのは行政の役目だと思います。そして育成するのも行政の役目であり、特に第3セクター事業につきましては、他の事業振興を誘導する、そして地域町民の健康増進にもつながっていくということをございまして、まだある程度の支援、あるいは財政負担は財政需要額とみていいんじゃないかと思います。但し、基金運用にあたっては厳しく審査し、よっては経営改善計画の提出を求め、十分精査して対応するよう強く要望して賛成します。

○ 議長 山里昌輝

他に反対討論ございますか。

4番宇江原総清議員。

○ 4番 宇江原総清議員

やはり2億5千万円の累積赤字と、今度しようとしている2千500万円の太陽発電の予算についても、これからずっとそのままいくとずっと支出があるんじゃないかということで予想しております。そしてもう1つは、取扱規則の4条をみても、基金の貸し付けは1億4千600万円の2分の1以内ということですが、つまり同一団体に貸し付ける額は基金総額の2分の1、約7千万円、一団体に貸しますよと。こういうことからすると、やはり2条に掲げる産業団体関係、株式会社オーランドに対する支援ということを想定に入れているんじゃないかというようなこと。

それから、3点目に、今まで十分に指摘してきた議会とは何ぞやと、資料も議会のその日になって持ってきた。議会軽視も甚だしいという立場で、やはり反対をいたします。

○ 議長 山里昌輝

他に討論ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

これで討論を終わります。

これから議案第19号、久米島町産業振興基金条例についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手少数)

○ 議長 山里昌輝

挙手少数です。従って、議案第19号、久米島町産業振興基金条例については、否決されました。

日程第12 平成21年度久米島町下水道事業特別会計補正予算(第3号)について

○ 議長 山里昌輝

日程第12、議案第20号、平成21年度久米島町下水道事業特別会計補正予算(第3号)についてを議題といたします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第20号、平成21年度久米島町下水道事業特別会計補正予算(第3号)の概要についてご説明申し上げます。

予算書の1ページ目。

平成21年度久米島町下水道事業特別会計補正予算(第3号)予算概要は、歳入歳出それ

ぞれ28万7千円を増額し、総額2億6千38万6千円と定める。

平成22年3月10日提出

久米島町長 平良朝幸

ご審議よろしく願います。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 山里昌輝

これで、提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

討論なしと認めます。

これから議案第20号、平成21年度久米島町下水道事業特別会計補正予算(第3号)についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 山里昌輝

全員挙手です。従って、議案第20号、平成21年度久米島町下水道事業特別会計補正予算(第3号)については、原案のとおり可決されました。

日程第13 町道の変更について

○ 議長 山里昌輝

日程第13、議案第21号、町道の変更についてを議題といたします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第21号、町道の変更について。

道路法第10条の規定により、次のとおり町道の路線を変更する。大枠の中に路線番号、路線名、起点、終点、経過地となっておりますが、

路線番号 7号

路線名 奥武島1号線

起 点 字宇根泊原1524番地の2

終 点 字奥武171番地の2

平成22年3月10日提出

久米島町長 平良朝幸

提案理由

町道の路線を変更するには、道路法第10条第3項の規定により議会の議決を得る必要がある。これがこの議案を提出する理由であります。

次ページに、平面図を添付しておりますので、ご審議よろしく申し上げます。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 山里昌輝

これで、提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

討論なしと認めます。

これから議案第21号、町道の変更についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 山里昌輝

全員挙手です。従って、議案第21号、町道の変更については、原案のとおり可決されました。

日程第14 あらたに生じた土地の確認について

○ 議長 山里昌輝

日程第14、議案第22号、あらたに生じた土地の確認についてを議題といたします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第22号、あらたに生じた土地の確認について。

地方自治法第9条の5第1項及び同法第260条第1項の規定により、本町の区域内にあらたに生じた次の土地を確認するため、議会の議決を求める。

1. 場所 久米島町字真我里マガイ底原413番6の地先公有水面

仲里漁港内であります。

2. 面積 492.43㎡

平成22年3月10日提出

久米島町長 平良朝幸

提案理由

公有水面埋立により本町の区域内にあらたに土地が生じたので、地方自治法第9条の5第1項及び同法第260条第1項の既定に基づき、議会の議決を得て、その趣旨を確認する必要があるため本案を提案する。

次ページ目に平面図で赤塗りされた部分が今回の対象の場所であります。ご審議よろしく申し上げます。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 山里昌輝

これで、提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

討論なしと認めます。

これから議案第22号、あらたに生じた土地の確認についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 山里昌輝

全員挙手です。従って、議案第22号、あらたに生じた土地の確認については、原案のとおり可決されました。

日程第15 専決処分の報告について（4号  
農道整備工事請負契約）

○ 議長 山里昌輝

日程第15、報告第1号、専決処分の報告についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

報告第1号、専決処分の報告について。

地方自治法第180条第1項の規定により、議会において指定されている事項について別紙のとおり専決処分したので同条第2項の規定により報告する。

平成22年3月10日提出

久米島町長 平良朝幸

次ページ目には専決処分書を添付しております。今回の1回目の専決処分の案件については、契約金額中、4千420万5千円を4千819万800円に変更したものであります。

先ほど平面図の資料も添付されているかと思いますが、よろしくご審議下さい。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 山里昌輝

これで、提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

質疑なしと認めます。

これで専決処分の報告についてを終わります。

日程第16 専決処分の報告について（4号  
農道整備工事請負契約）

○ 議長 山里昌輝

日程第16、報告第2号、専決処分の報告についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

報告第2号、専決処分の報告について。

地方自治法第180条第1項の規定により、議会において指定されている事項について別紙のとおり専決処分したので同条第2項の規定により報告する。

平成22年3月10日提出

久米島町長 平良朝幸

次ページに専決処分2号の処分書説明があ



りますが、その中で、先ほども説明しましたが、契約金額中、4千819万800円を4千844万1千750円に変更したためであります。

これについてもカラー刷りの平面図が添付されているかと思いますが、よろしくご審議下さい。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 山里昌輝

これで、提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

質疑なしと認めます。

これで専決処分の報告について（4号農道整備工事請負契約）を終わります。

日程第17 平成22年度沖縄県町村土地開発公社事業報告について

○ 議長 山里昌輝

日程第17、報告第3号、平成22年度沖縄県町村土地開発公社事業報告についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

報告第3号、平成22年度沖縄県町村土地開発公社事業報告について。

地方自治法第243条の3第2項の規定により、平成22年度沖縄県町村土地開発公社事業計画を報告します。

平成22年3月10日提出

久米島町長 平良朝幸

資料の関係する項目が、冊子の中の4ページから5ページになりますが、その上側に平

成6年から久米島多目的公園埋立地、その段の方が今回の該当する儀間嘉手苅地先の場所の内容となっております。ご審議よろしくお願ひします。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 山里昌輝

これで、提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

9番上里総功議員。

○ 9番 上里総功議員

来年度の予算の中に土地購入費というのがありますよね。あれで全部終わるわけですか、今年いっぱい。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

4ページをお開き下さい。前年度繰越額、久米島多目的公園ですね、4億1千334万3千円から今年度その公園の造成で国庫補助金を導入しまして、償還しまして、残りの分が7千780万4千円は残るといふ、これは次年度また購入ということになります。2カ年間で全部購入する予定でございます。3億いくらかになりますね。その差額の分は22年度で償還ということになります。

○ 議長 山里昌輝

他に質疑ありませんか。

これで質疑を終わります。

これで平成22年度沖縄県町村土地開発公社事業報告についてを終わります。

○ 議長 山里昌輝

暫時休憩します。(午後2時50分)

○ 議長 山里昌輝

再開します。(午後3時02分)

## 日程第18 平成22年度久米島町一般会計予算について

### ○ 議長 山里昌輝

日程第18、議案第11号、平成22年度久米島町一般会計予算についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

### ○ 副町長 大田治雄

議案第11号、平成22年度久米島町一般会計予算概要についてご説明申し上げます。

予算書と併行して進めたいと思います。まず、予算書の1ページ目から。久米島町一般会計予算は歳入歳出の総額を67億235万円と定め、対前年度6億5千816万7千円、10.9%の増額となります。

当初予算ペースから見ますと、合併後は年々縮減傾向にあり、合併初年度の平成14年度と比較すると約2分の1に縮小されております。

対前年度と比較しますと、約6億6千万円の増額となっており、主な要因としましては、新規事業であります久米島多目的公園整備事業の3億2千299万6千円を計上し、プロジェクト推進室所管の県補助金によります緊急雇用創出臨時特例交付金事業3千111万7千円、地域人材育成事業には3千915万円の計上や、平成22年度より実施いたします子ども手当等が主な要因となっております。

しかしながら、今後においては新規事業の抑制を図る観点からと、また、昨年度から実施されています国の景気対策のための臨時交付金事業等の突発的要素を除くと更に縮減傾

向が続くことが予想されています。

平成24年度からは普通交付税が段階的に縮小されていき、平成29年度の当初予算編成からは1本算定となり、現在の交付税額より6億円以上の縮減が見込まれております。

それでは、平成22年度の一般会計予算にかかります歳入歳出の主な概要についてを申し上げます。

予算書の10ページ、まずはじめに、歳入におきまして地方税では町民税2億4千627万96千円を計上しておりますが、対前年度比マイナス428万7千円の減額となり、固定資産税については3億1千229万6千円を計上し、対前年度比595万3千円の増額となっております。

11ページ目に入りますが、また、たばこ税においては5千575万8千円の計上に対して、前年度比マイナス528万5千円の減となっております、2年連続して大幅な減少が見込まれます。

町税全体でも6億3千542万3千円の予算額に対して、前年度マイナス267万9千円の減額計上としており、厳しい状況となっております。

2款地方譲与税から9款地方特例交付金につきましては、沖縄県からの提供データに基づき予算計上を行っております。

予算書の12ページ、地方交付税では34億3千129万8千円の予算計上で、対前年度2億円の増額を見込んでおり、平成21年度の確定額及び平成22年度の地方財政計画において、普通交付税が平成20年度から3年連続の増額となることを見込まれていることと、また、平成20年度から引き続き地方再生対策費が盛り込まれ、新たに今年度より雇用対策地域資源活用臨時特例債が創出されております。これについては人を大切にする施策を地域の实情に応じて実施するため、平成22年度より創設

される予定となっております。

戻りまして3ページになりますが、国庫支出金においては6億3千383万8千円で、対前年度3億3千584万2千円の増額となる一方で、県支出金については8億213万9千円の予算計上で、前年度マイナス2千145万7千円の減額となっております。国庫支出金については、新規事業となります土木費の久米島多目的公園整備事業や平成22年度4月から15歳以下を対象に支給を行われます子ども手当1億6千553万1千円が新たに計上されることが主な要因となります。

県支出金については、ハード事業の農林水産業費の村づくり交付金、久米島地区、事業及び農山村活性化プロジェクト支援交付金スハラ地区事業の完了に伴う減額となる一方で、予算書の18ページに入りますが、平成21年度に引き続き実施いたします緊急雇用創出臨時特例交付金事業に3千111万7千円、ふるさと雇用再生特別交付金事業1千757万2千円を計上しております。また、新規事業としまして、地域人材育成事業に2千951万3千円、重点分野雇用創出事業927万5千円を計上し、これらの4事業は全て県の100%補助事業となっております。

予算書の25ページ目に入ります。地方債では、対前年度5千872万9千円の増額計上となっておりますが、過疎、辺地等の地方債については減額計上となっておりますが、合併特例事業債については新規事業の久米島多目的公園整備事業導入により4千860万円の増額や臨時財政対策債については地方財政計画の方針により、対前年度2千802万9千円の増額を予定しております。また、昨年度同様に義務的経費の削減に努めるとともに、予算編成時

の枠配分方式等により、平成21年度創設しました地域雇用創出推進基金及び久米島多目的公園整備事業に充当する土地開発基金の繰入金以外は予算計上は行っておりません。そのため、自主財源が対前年度減となっておりますが、基金の取り崩しを当初予算編成から実施していないことは、今後、緊急時の補正予算編成に大きな意味合いをもつものであります。

戻りまして8ページ、続きまして、歳出予算につきましてご説明いたします。

2款総務費におきましては1千369万2千円の増となっておりますが、主な要因として参議院選挙を含め3つの選挙費が計上されたことによる増額計上となります。また、指定統計調査費におきましては、5年に一度行われます平成22年度国勢調査費を計上しており、対前年度174万1千円の増額となっております。

総務管理費の積立金については、予算書の29ページになりますが、地域振興基金1億40万円、財政調整基金8千945万円を含めて、総額1億8千992万9千円を計上しております。

公債費においては、平成21年度には補償基金免除により繰上償還制度を活用したことにより、元金償還費で対前年度マイナス8千362万円の大幅な減額となっております。

もう一度8ページに戻ります。民生費におきましては3億1千144万2千円の増となり、先ほど説明しました子ども手当の創設及び新規事業となります介護基盤緊急整備特別対策事業1億3千415万円を計上しており、こちらについては小規模特養施設及び小規模多機能施設の建設費として建設事業所に交付する事業となっております。

また、21年度実績から国民健康保険に加入している一般被保険者の療養給付費の伸びを勘案し、国保特別会計への繰出金3千173万9千円の増としております。また、老人医療制度が平成20年度から大幅に改正され、老人医療特別会計から段階的に後期高齢者医療特別会計に移行されることとなり、老人医療特別会計への繰出金が51万円となる一方で、予算書の45ページになりますが、平成20年度より創出された後期高齢者医療特別会計への繰出金は3千759万6千円となっております。また、後期高齢者医療広域連合への負担金も9千408万7千円を計上しております。少子化対策の一環としましては、久米島公立病院の産婦人科医不在により、公立病院での出産が出来ない状況にあることから、平成20年度から引き続き出産助成金900万円を計上しております。

予算書の48ページになりますが、衛生費におきましてはマイナス438万5千円の減額となり、事業内容等については、昨年度と大きく変わったものではございませんが、新規事業としましてアサ虫の防除方法の確立研究調査費用として82万円を計上しております。また、平成21年度から引き続きハブ捕獲駆除事業を実施するため、報償費80万円を計上しております。

予算書の54ページになります。農林水産業費におきましては、マイナス1億1千858万9千円の大幅減額となりますが、主な要因としまして、先ほど歳入の県支出金でも説明しました建設課主幹の水産業費の村づくり交付金久米島地区事業及び農産漁村活性化プロジェクト支援交付金スハラ地区事業が完了したことによるものでございます。

59ページに入りますが、継続事業として中

山間地域総合整備事業として2億200万円を計上し、比屋定、大岳地区、25年度までの計画で整備を行ってまいります。

昨年度より実施しています農業水利施設ストックマネジメントの事業は6千58万円の対前年度3千92万7千円の増額となっております。この事業は築15年以上経過した減圧弁の更新等を実施する予定となっております。

漁港建設費においては、漁村再生交付事業の実施で5千万円、事業内容については、儀間漁港及び鳥島漁港の整備を予定しております。強い水産業づくり交付金事業4千500万円は仲里漁港地区の浮き桟橋オーナーバースの設置工事を予定しております。また、稼働2年目を迎えます久米島堆肥センター運営費については1千549万5千円を計上しております。

予算書の63ページに入りますが、商工費におきましては4千310万9千円の増額となっておりますが、主な要因としまして、商工振興費の離島空路確保対策分担金2千667万7千円を計上しており、昨年度までは年度途中に分担金の決定を待って、補正予算により対応しておりましたが、今年度より前年度実績額を当初予算に計上することとしました。

また、新規事業として久米島観光危機突破対策補助金800万円、地域人材育成事業、県補助金100%の観光ガイド育成事業759万8千円及び重点分野雇用創出事業、県補助金100%の観光受入強化事業927万5千円を計上し、事業内容については観光入域客動態調査や観光資源調査、コース設定、観光案内板設置等を予定しております。

また、プロ野球対応費につきましては、昨年同様に経常的に予算化が必要な経費につきましては当初予算への計上としております。

予算書の72ページになりますが、土木費におきましては4億2千346万4千円の大幅な増額となり、主な要因は新規事業となります。防衛施設周辺民生安定施設整備事業3億2千299万6千円及び特定防衛施設周辺調整交付金3千50万円を計上しております。事業内容につきましては、久米島地先に新たにパークゴルフ場を整備する予定でございます。

道路橋梁費に町管理橋梁の寿命を調査する橋梁長寿修繕計画対策業務310万円を計上し、継続事業の久米島縦断道路整備事業も8千万円を計上しております。

予算書の73ページに入りますが、消防費におきましては、防衛施設周辺民生安定施設整備事業により消防ポンプ自動車1台を導入する事業費として4千316万2千円を計上しております。

77ページに入りますが、教育費においては1千235万9千円の増額となっておりますが、なかさと友好の翼交流事業や海外ホームステイ研修所生事業も昨年同様実施して参ります。また、新たに沖縄県へき地教育研究大会久米島大会が実施されることから、補助金として100万円を計上しております。また、保健体育費、総務費においては今年5月からオープン予定のB G海洋センタープールの対応費として788万1千円を増額計上しております。ホテル館費については、沖縄県緊急雇用創出事業を活用した棚田再生事業474万円を計上しております。

以上が平成22年度久米島町一般会計予算概要となっております。

平成22年3月10日提出

久米島町長 平良朝幸

ご審議よろしく申し上げます。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 山里昌輝

これで提案理由の説明を終わります。

本案については後日予定されております予算審査特別委員会において細部にわたって質疑ができますので、この場においては大綱的な質疑に留めていただくようお願いいたします。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

質疑なしと認めます。

#### 日程第19 平成22年度久米島町国民健康保険特別会計予算について

○ 議長 山里昌輝

日程第19、議案第12号、平成22年度久米島町国民健康保険特別会計予算についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第12号、平成22年度久米島町国民健康保険特別会計予算概要についてご説明申し上げます。

平成22年度久米島町国民健康保険特別会計は、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ12億9千909万4千円と定める。歳入歳出とも前年度と比較すると1億1千718万9千円、9.9%の増額で、療養給付費の決算額が前年度と比較すると千万単位で増額しており、年度途中の補正予算で追加していることから、各年度の伸びを考慮して予算計上しているため増額に繋がっております。

予算書の7ページ目、歳入の主な概要につきましてご説明申し上げます。まず、5ページ目から、1款国民健康保険税は対前年度マイナス317万8千円、1.7%の減で、直近の調定額を基に算出しており、新年度の7月本算定後に調整してまいります。

8ページ目、5款国庫支出金では療養給付費で6千564万6千円、29.3%の増となり、歳出において一般被保険者療養給付費の伸びによる充当財源として増額しております。

6款療養給付費等交付金は、退職者被保険者等にかかる保険給付費を基に社会保険診療報酬支払基金から交付されますが、一般被保険者同様に退職医療給付費においても伸びている傾向から、充当財源として510万3千円、24.2%を増額しております。

予算書の9ページになります。10款共同事業交付金の増額につきましては、沖縄県国民健康保険連合会からの共同事業拠出金を基に算出し、489万2千円、2%の増。

12款繰入金については、療養給付費の増額に伴う充当財源として4千173万9千円、29.2%を増が組み込んでおります。

予算書の12ページに入ります。歳出につきましては、2款保険給付費において8千886万円、17%の増で、一般被保険者療養給付費8千728万3千円、17.8%の伸びとなり、過去3カ年から比較すると約1億3千万円の増と年々増えている状況にあります。

医療費の増高は、医療制度改革による退職被保険者の年齢引き下げによる一般被保険者増員などの要因もありますが、全体的に医療が伸びてきている状況にあり、療養給付費の増に伴い高額療養費におきましても1千747万5千円、24.8%の増額計上としております。

2款保険給付費、出産育児一時金は平成21年10月1日から一時金額38万円から42万円へ増額されており、出産件数見込額から540万円、47.4%の増としております。

以上が平成22年度久米島町国民健康保険特別会計予算の概要となっております。

平成22年3月10日提出

久米島町長 平良朝幸

ご審議よろしく申し上げます。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 山里昌輝

これで提案理由の説明を終わります。

本案についても前案同様、後日予定されております予算審査特別委員会において、細部にわたって質疑ができますので、この場においては大綱的な質疑に留めていただくようご協力お願いいたします。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

質疑なしと認めます。

日程第20 平成22年度久米島町老人保健特別会計予算について

○ 議長 山里昌輝

日程第20、議案第13号、平成22年度久米島町老人保健特別会計予算についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第13号、平成22年度久米島町老人保健特別会計予算概要についてご説明申し上げます。

予算書の1ページに入ります。平成22年度久米島町老人保健特別会計予算は、歳出歳予算の総額をそれぞれ555万3千円と定め、対前年度マイナス1億1千798万4千円、マイナス95.5%の大幅な減となりました。老人保健特別会計の予算につきましては、平成20年4月に後期高齢者医療制度が実施され、平成20年度現年度分より後期高齢者広域連合からの給付となり、老人保健特別会計に計上されておりますのが、平成19年度以前にかかる現物給付費及び現金給付分を計上することとされ、給付完了が見込まれる4年ないし5年間は存続することとされておりますが、過年度分の清算が前年度決算見込額から大幅に減少したことにより、平成22年度当初予算額が大幅に減額となった要因となっております。

4ページ目に入ります。歳入におきましては歳出予算額に計上されている医療諸費にかかる公費負担分で、医療諸費にかかる2分の1を1款支払基金交付金が、3割を2款国庫負担、1割を3款県負担金、残りの1割を4款一般会計からの繰入金で対応しておりますが、各予算ごとに減額しており、冒頭で申し上げましたとおり歳出の現物給付費並びに現金給付費の縮小となっております。

予算書の5ページ目になりますが、歳出では1款医療諸費が主で、1目現物給付費、2目現金給付費、共に平成21年度の決算見込みベースが大幅に縮小したことにより、実績を見込み計上したため減額となっております。

以上が平成22年度久米島町老人保険特別会計予算の概要となります。

平成22年3月10日提出

久米島町町長 平良朝幸。

ご審議よろしく申し上げます。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 山里昌輝

これで提案理由の説明を終わります。

本案についても、後日予定されております予算審査特別委員会において細部にわたって質疑ができますので、この場においては大綱的な質疑に留めていただくよう、ご協力お願いいたします。

これから質疑を行ないます。

質疑ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

質疑なしと認めます。

#### 日程第21 平成22年度久米島町後期高齢者医療特別会計予算について

○ 議長 山里昌輝

日程第21、議案第14号、平成22年度久米島町後期高齢者医療特別会計予算についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第14号、平成22年度久米島町後期高齢者医療特別会計予算概要についてご説明申し上げます。

平成22年度久米島町後期高齢者医療特別会計予算は、歳入歳出予算の総額をそれぞれ7千827万8千円と定め、対前年度マイナス192万9千円、2.4%の減となりました。

予算書の4ページ目に入ります。1款後期高齢者医療保険料におきましては、年度末の調停額を基に8割強を特別徴収、1割弱を普通徴収として算定し、対前年度マイナス61万5千円、1.5%の減を見込んでおります。

3款繰入金では、保険基盤安定繰入金として保険料の軽減分を受けた被保険者分を国・県・町が支援するもので、特別財源分を一般会計の県負担金として収入後、町負担分を含め、後期特別会計へ繰り出す予算となっております。負担割合としては国・県が4分の3、町が4分の1負担となります。

予算書5ページ目にになりますが、歳出におきましては後期広域連合で保険料を決定後に町で徴収した保険料を後期連合へ納付する額及び保険基盤安定として国・県分に町分を合算した繰入額を、2款後期高齢者広域連合負担金として予算計上しております。

以上が平成22年度久米島町後期高齢者医療特別会計予算概要となります。

平成22年3月10日提出

久米島町長 平良朝幸

ご審議よろしく申し上げます。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 山里昌輝

これで提案理由の説明を終わります。

本案についても後日予定されております予算審査特別委員会において細部にわたって質疑ができますので、この場においては大綱的な質疑に留めていただくよう、ご協力お願いいたします。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

質疑なしと認めます。

日程第22 平成22年度久米島町水道事業会計予算について

○ 議長 山里昌輝

日程第22、議案第15号、平成22年度久米島

町水道事業会計予算についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

平良朝幸町長。

(平良朝幸町長登壇)

○ 町長 平良朝幸

議案第15号、平成22年度久米島町水道事業会計予算概要を説明いたします。

1ページをお開き下さい。平成22年度久米島町水道事業会計予算案の概要をご説明申し上げます。

第2条、給水戸数3千818戸、年間吸水量10万5千立方メートルを予定しております。

3ページをお開き下さい。第3条、収益的収入及び支出の第1款水道事業収益は2億2千943万円を予定し、第1項営業収益は前年度の実績を基に積算して2億1千920万7千円で主に給水収益となっております。第2項営業外収益の他会計補助金は一般会計からの補助金で本年度は1千万円となっております。

4ページをご覧下さい。第1款水道事業費は2億2千925万1千円を予定し、第1項営業費用では主に修繕費、動力費、薬品費、材料費、委託料等となっております。第2項営業外費用は主に支払い利息と消費税となっております。水道事業経営におきましては、各施設の機器及び配水管等の老朽化に伴い修繕費と材料費に過大な費用を要すると見込み、予定損益計算においては17万9千円の純利益を見込んでおります。

5ページをご覧下さい。第4条の資本的収入及び支出では、当年度は資本的収入においては4千221万2千円、資本的支出は1千939万2千円を予定し、主に儀間ダム建設負担金企業債償還金となっております。



収入額が支出額に不足する額6千718万円は過年度分損益勘定保留資金と消費税資本的収支調整額をもって補填する予定です。今年度も安全で良質の水道水を安定的に供給することを最大の責務とし業務を行って参りたいと思います。よろしくお願ひします。

(平良朝幸町長降壇)

○ 議長 山里昌輝

これで提案理由の説明を終わります。

本案も後日予定されております予算審査特別委員会において細部にわたって質疑ができますので、この場においては大綱的な質疑に留めていただくよう、ご協力お願いいたします。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

質疑なしと認めます。

日程第23 平成22年度久米島町下水道事業特別会計予算について

○ 議長 山里昌輝

日程第23、議案第16号、平成22年度久米島町下水道事業特別会計予算についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第16号、平成22年度久米島町下水道事業特別会計予算概要についてご説明申し上げます。

予算書の1ページ、平成22年度久米島町下水道事業特別会計予算の総額は、歳入歳出2億5千936万9千円と定め、対前年度502万1千

円の増額予算となっており、主な要因としましては、下水道建設費の増額によるものであります。

予算書の4ページ目になります。平成22年度歳入については、1款使用量及び手数料1千406万6千円。2款国庫支出金4千200万円。3款繰入金1億7千530万2千円。6款町債2千800万円となっております。

詳細につきましては、これから歳入予算をはじめ平成22年度予算の内容についてご説明いたします。

予算書の4ページ目、1款使用料及び手数料におきましては1千406万6千円で、内訳として下水道現年度分が93%見込みで1千339万2千円。農業集落排水事業分が34万8千円、滞納分の6割の32万6千円を過年度分として算定しております。

2款国庫支出金では平成22年度下水道建設費7千万円の10分の6の補助率で4千200万円となっております。

3款繰入金は1億7千530万2千円となっております。

6款調査費は増減なしの2千800万円となっております。

以上が歳入の主な内容となっております。

続きまして、歳出予算内容についてご説明申し上げます。予算書の7ページ目になります。歳出につきましては、1款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費1千633万円。2目下水道維持費3千69万6千円。3目下水道建設費7千205万4千円。5目農業集落排水事業費208万2千円。

2款公債費1億3千720万7千円となっております。1目一般管理費では102万5千円増の1千633万円となっております。2目下水道維

持費は147万9千円の増の3千69万6千円となっております。3目下水道建設費は417万円増の7千205万4千円で、平成22年度工事に美崎地区、宇真謝地内管渠敷設工事延長900mの工事及び実施測量設計500mを予定しております。

2款公債費は1億3千720万7千円を計上しております。

平成22年3月10日提出

久米島町長 平良朝幸

ご審議よろしくお祈りいたします。

○ 議長 山里昌輝

これで提案理由の説明を終わります。

本案についても後日予定されております予算審査特別委員会において細部にわたって質疑ができますので、この場においては大綱的な質疑に留めていただくよう、ご協力お願いいたします。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

質疑なしと認めます。

お諮りします。

議案第11号、平成22年度久米島町一般会計予算について。議案第12号、平成22年度久米島町国民健康保険特別会計予算について。議案第13号、平成22年度久米島町老人保険特別会計予算について。議案第14号、平成22年度久米島町後期高齢者医療特別会計予算について。議案第15号、平成22年度久米島町水道事業会計予算について。議案第16号、平成22年度久米島町下水道事業特別会計予算については、議長を除く13人の議員で構成する予算審査特別委員会を設置し、これに付託して審査をすることにしたいと思います。

ご異議ありませんか

(多数の「異議なし」の声あり)

○ 議長 山里昌輝

異議なしと認めます。従って、本案については、議長を除く13人の議員で構成する予算審査特別委員会を設置し、これに付託して審査することに決定しました。

○ 議長 山里昌輝

以上で、全会計の予算の大綱的な質疑は終了いたしました。

お諮りします。

12日から16日までの日程で行われる予算審査特別委員会委員長に総務・文教・民生委員長の宮田勇委員に、副委員長に建設・経済委員長の山城宗太郎委員を選出したいと思います。

ご異議ありませんか。

(多数の「異議なし」の声あり)

○ 議長 山里昌輝

異議なしと認めます。従って、予算審査特別委員会委員長に宮田勇委員、副委員長に山城宗太郎委員を選出することに決定しました。

以上で、本日の議事日程は全て終了しました。

本日はこれで散会します。

お疲れさまでした。

(散会 午後3時42分)

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

久米島町議会議長 山里昌輝

署名議員（議席番号11番） 宫里洋一

署名議員（議席番号12番） 翁長 学

平成22年（2010年）

第2回久米島町議会定例会

2日目

3月11日

平成22年第2回久米島町議会定例会

会議録 第2号

招集年月日	平成22年3月11日 (木曜日)			
招集の場所	久米島町議会議事堂			
開散会日時 及び宣言	開会	3月11日 午前10時00分	議長	山里昌輝
	散会	3月11日 午後2時54分	議長	山里昌輝
応招議員 出席議員  出席14名 欠席名	議席番号	氏名	議席番号	氏名
	1番	崎村正明	8番	幸地良雄
	2番	宮田勇	9番	上里総功
	3番	饒平名智弘	10番	安村達明
	4番	宇江原総清	11番	宮里洋一
	5番	山城宗太郎	12番	翁長学
	6番	仲村昌慧	13番	平良義徳
	7番	喜久里猛	14番	山里昌輝
(不応招) 欠席議員				
会議途中退席議員	番		番	
開議後出席議員	番		番	
公務欠席議員	番		番	
	番			
会議録署名議員	13番	平良義徳	1番	崎村正明
職務のため会議に 出席した者	職名	氏名	職名	氏名
	事務局長	桃原秀雄		
	係長	安田栄		
地方自治法第121条により説明のため議場に出席した者の職氏名				
職名	氏名	職名	氏名	
町長	平良朝幸	教育課長	佐久田等	
副町長	大田治雄	商工観光課長	平田光一	
教育長	比嘉隆	環境保全課長	田端智	
総務課長	仲村渠一男	建設課長	盛本實	
町民課長	大道幸子	農林水産課長兼 農業委員会事務局長	平良朝幸	
プロジェクト推進室長	山城保雄			
税務課長	平田明	上下水道課長	又吉敏雄	
福祉課長	日高清有	消防長	山城英明	
会計管理者	仲地泰	空港管理事務所長	平良進	

平成22年 第2回久米島町議会定例会

議事日程 [第2号]  
平成20年3月11日(木)  
午前10時00分 開会

日程	議案番号	件名	頁
第1		会議録署名議員の指名	79p
第2		一般質問	79p
		散会	117p

○ 議長 山里昌輝

会議を開く前に報告します。本日は数名の皆さんから議会傍聴の申し入れがありました。まだ、来ておりませんが、来次第許可します。

これより本日の会議を開きます。

本日の議事日程はあらかじめ手元に配布したとおりであります。

日程第1 会議録署名議員の指名

○ 議長 山里昌輝

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第120条の規定によって、13番平良義徳議員、1番崎村正明議員を指名します。

日程第2 一般質問

○ 議長 山里昌輝

日程第2、ただいまから一般質問を行います。

一般質問の時間は、会議規則第56条第1項の規定によって30分以内とします。なお、質問は質問席から一括質問、総括質問のあと、一問一答方式で行います。

それでは、順次発言を許します。

9番上里総功議員。

(上里総功議員登壇)

○ 9番 上里総功議員

9番上里であります。1点ほど質問したいと思っております。観光産業の振興について、本町においては今まで観光客誘客のために島の学校、バーディーハウス、久米島野球場、ホテルドーム等の施設整備がなされ、受け入れ態勢は強化されてきたが、結果として、観光客

は9万5千人台である。また、1月6日には観光客、入域客数減少に歯止めをかけようと久米島観光危機突破決起大会が開かれ、300人の関係者が参加をし、危機突破を誓ったということであります。

そこで、観光客入域の低迷の原因は経済不況も考えられるが、観光協会の態勢に問題がないか伺いたい。

○ 議長 山里昌輝

平良朝幸町長。

(平良朝幸町長登壇)

○ 町長 平良朝幸

9番上里総功議員の質問にお答えいたします。観光産業の振興について、現在観光協会では、毎月の定例理事会の開催、また、総務企画部、誘客宣伝部、受入促進部、青年部、各種委員会が機能し、現状分析や事業計画実施など、活発な事業運営を務めており、効果は徐々に出てきていると思っております。しかし、まだ改善するところはあると思っておりますので、協力して取り組んでまいります。

(平良朝幸町長降壇)

○ 議長 山里昌輝

9番上里総功議員。

○ 9番 上里総功議員

今の答弁によると、各種委員会が機能し、現状分析や事業計画実施など活発な事業運営に努めておりますとなっておりますが、観光振興を重点目標に掲げながら、観光客の生の声を聞く場所、久米島空港内の観光案内所が無人になっているのはどういうことなのか。また毎年、観光キャラバン隊を組織して、観光の売り込みや特産品の販売を行い、たいへん好評だったという話はよく聞いているが、その後、特産品の取引についての話が聞こえ

てこない。その原因は。

○ 議長 山里昌輝

大田治雄副町長。

○ 副町長 大田治雄

観光関係に携わっているものとして、答弁したいと思います。あらゆるかたちでキャラバン含め、昨日も申し上げましたが、それぞれのリゾートホテルさんのGMとか、各民宿の理事の皆さんとか、キャンペーン等においても120社余りの下期、上期のキャラバンで回っております。そういうかたちでいろんなかたちで取り組んでおりまして、数字上は今、伸び悩んでおるんですが、これはそれに他の地域においても同じ結果が出ておりまして、特に航空関係の業界においても危機的な状況において、県はじめ国も官公庁一体となって、いろんな取組みをやっているところであります。

現時点では、横ばいの状況ではありますが、今後、それに対応できるようなかたちで、昨日も申し上げましたが、その冬場の修学旅行の対応の問題とか、足の問題がありますので、そのへんの改善も含めて、我々としても取り組んでいるところであります。

いろんな物産展においても、先月、琉球ジャスコさんの社長も久米島に来島されて協定も締結された中で、また、来週には南風原ジャスコ店で物産展、または観光も含めてフェアの予定もしています。町長はじめトップセールスとして、宮城県でも昨年はやってきましたし、その成果が徐々に出てくるものと思っております。いろんなかたちで伸び悩んでおるんですが、観光協会としては、可能な限り、実際今職員も正職員は、事務局長一人しかおりません。あとは臨時職員で、東京直行

便の飛んでいる期間は、空港にも臨時職員を一人配置してやっております。その他の期間においては、団体が入る場合は、そこに出向いてやっております。

あとはパンフ等については、レンタカー会社とも協力して、そこで案内も含めてさせております。いろんなかたちで取り組んでおりますので、ぜひ、そのへんの理事の皆さんも頑張っていますので、ご理解をよろしく願います。

○ 議長 山里昌輝

平田光一商工観光課長。

○ 商工観光課長 平田光一

人員態勢については、町長からもありましたが、平成22年度において久米島空港の案内所の活用をして、雇用対策事業で観光入域の動態調査とか、そういうことを今予定しております。それも含めて空港を主体として案内も含めて22年度においては対策も含めての事業を計画しております。

○ 議長 山里昌輝

9番上里総功議員。

○ 9番 上里総功議員

今まで観光振興、振興といいながら、一番の観光案内は窓口ですよ。観光客の生の声を聞く、窓口なんですよ。そこは要するに人がいないということはおかしいんじゃないですか。

今まで何十年間も空港ができてから、そういう状態じゃないですか。私はそれを何で言うかといいますと、私はそこにお客さんを迎えに言って、2、3回、カウンターの方で観光客が一所懸命呼びかけしています。何度呼びかけしても、カウンターにはスタンプがあって、前の方にはパンフレット、タウンガイ



ドとか、そういうのを置いてあるんですが、お客さんが久米島のことについて聞きたいということで一所懸命声を掛けていますが、そういう場にも立ち会ったことがあるんですよ。そういうお客さんは二度と久米島に来ないはずですよ。案内所は人が常時待機していないと、いくら観光振興、振興と言っても絶対に後につながらないと思う。

22年度の振興対策でやるということですがもっと足下の方に目を向けたらどうですか。

それと、観光キャラバン隊とって今までずっとそれをやってきました、それで今までいろんな団体が行っている。その後の特産品の取引が続かないというのは、窓口が一本化されてないからじゃないですか。大きいところは、農協とか漁協とか、工場とかに注文できるんですが、一般のお客さんとか、そういう人たちは、今はネットとか、ファックスとか、そういうのを利用してものを買おとしているお客さん、結構いるんですよ。そういう面はどうなっているか。

そういう観光協会というところはそういう窓口になるのが観光協会じゃないですか。

そういうのが今までぜんぜんなされていないような気がするんですが。

それと、観光協会のネットでも発信しているということで、副町長は会長でもありますし、言っていたんですよ。こういう貧弱で、これで果たしていいんですか。特産品の写真も載ってないですよ。

それでこの前イオンとの説明会のときいっぱいありましたよね。そういうのもぜんぜん、深層水と菓子店のしまぶくと久米仙しかない。こういう状態です。

だからもっと足下の方の充実というのが、

もっと前から危機感をもって、やれなかったかなど。観光入域の危機的状態はずっと前から続いているんですよ。今しゃべったことに対して意見を聞きたいと思います。

○ 議長 山里昌輝

大田治雄副町長。

○ 副町長 大田治雄

ただいまの質問の中で物産と観光、リンクはしていますが、これを担う協会が、観光協会が物産を担うべきなのかということが、ちょっと今…。

商工会と観光協会の、本来でしたら商工会なんですよ、物産については。これを我々のキャンペーンで物産の宣伝までということは、現実としてはやっておりませんでした。

いろんなキャンペーンで、フェアとかは一緒になって協力してやっていますが、これについてはどうかなということなんです。今後に対しては当然やる必要はありますが、イオンとの物産展においては商工会も含めて久米島の物産公社も一緒に、それは連携してやっております。

そして先ほどの空港の無人化についてなんです。これも以前は観光協会は空港に入っております。ただし、これも高価な家賃が出ますので、事業費の範囲内では非常に厳しいということで、情報プラザに移転した経緯もあります。

今も昨日も申し上げたとおり、月々2万5千円フロアの使用料が出ます。また、新たに今回1店舗が抜けるものですから、そこに移り替えを予定しておりますが、5万ぐらいの家賃でしたら何とか予算の範囲内でやれるんじゃないかということで打診しておりますが、そこの方が観光案内についてはもっと場

所的にはいいかなという思いであります。

いろんな限られた予算の範囲内で人件費も勿論かかりますし、家賃もちろん出ますし、今の協会の財源の中では、非常に厳しい運営になっているかと思っています。

今後については今の物産の拡大についても商工会も含めて、久米島物産公社も連携して観光協会としても一緒になってピーアール活動には努めていきたいと思えます。

○ 議長 山里昌輝

9番上里総功議員。

○ 9番 上里総功議員

物産に関しては商工会だといいますが、どっちにしろ、もっと一本化をして、やらなければ久米島は宣伝できないと思うんですよ。一つの例を申しましょう。

これは、北海道のニセコ町の例なんです、あそこは観光協会が農産物の物産販売までやっており、それで観光協会も株式会社方式でやっています。

ニセコの玉手箱ということで農産物なんです、1箱10キロで3千500円で農産物をセットにして発信しているんですよ。久米島でもいろんな特産物をセットにして販売する方法とか、やることいっぱいあると思うんですよ。これからの観光というのはニセコ町でも言っているんですが、一次産業が元気がないところは観光産業もだめだということも言われています。あそこは年間145万人以上、観光客が来ております。そういう発信するというそれが一番これからは大事じゃないかなと。そして今度は久米島に行きたいなという、お客さんにターゲットした方が観光としては定着するんじゃないかという気がするんですが。

○ 議長 山里昌輝

平田光一商工観光課長。

○ 商工観光課長 平田光一

ご指摘のことについても今回の観光低迷とか、そういう中において、今後の取り組みとしてあげております。大きな物産展とか、そういうときには今度の3月19日から開催されますジャスコの南風原店においてもそうですが、島を売るものについては、久米島物産と観光フェアということで、二つセットということで久米島全体を紹介していくというようなことで、大きく紹介できるようなことだと思います。

今後についても単独で物産展だけに参加しているとかいう部分も物産公社を中心としてありますので、そういうものも含めて、物産と観光展ということでのセットで、また物産も売る観光も売るというかたちでの取組を22年度においては、それを強化していきたいと思えます。

○ 議長 山里昌輝

9番上里総功議員。

○ 9番 上里総功議員

ぜひ、観光案内所の常勤と今後の観光協会の体制について期待して私の質問を終わりたいと思えます。

(上里総功議員降壇)

○ 議長 山里昌輝

これで9番の上里総功議員の一般質問を終わります。

次に6番仲村昌慧議員。

(仲村昌慧議員登壇)

○ 6番 仲村昌慧議員

6番仲村でございます。2点質問をさせていただきます。学校統廃合については1月29日、第3回検討委員会で、中学校の統廃合を

先にし、2校案で検討することが話し合われました。これまでは統廃合につきましては、教育長の見解を伺ってきましたが、統廃合については、町長と教育長の強いリーダーシップがなければ大変厳しいものと思われま

す。町長は姿勢方針で学校統廃合を推進し、老朽危険校舎の改築事業を推進していくと述べていますが、現在の久米島町の財政状況と生徒数からすると島の幼・小・中・学校の望ましい学校数は、それぞれ何校と考えるか。統廃合の組み合わせ形態はどう考えているのか。統廃合について町長の見解をお伺いします。

次に農業振興地域見直しについて、平成15年12月定例会において、当時の同僚議員が「旧仲里地区の農業振興地域の見直しが相当年数なされていないが、その理由、経緯とそのスケジュールを示してもらいたい」との質問に対して「総合見直しができなかった理由は、ゴルフ場建設関係との問題があつてできなかった平成16年10月頃に総合見直しができる予定である」と答弁しているが、16年度に総合見直しができただのかお伺いします。

その後、総合見直しができたとはい本人所有の土地を宅地転用申請したが、書類不備という理由で対応しています。それは適切な対応であったのか。また今後の総合見直しについてお伺いします。

○ 議長 山里昌輝

平良朝幸町長。

(平良朝幸町長登壇)

○ 町長 平良朝幸

6番仲村昌慧議員の質問にお答えいたします。学校統廃合について、幼稚園・小学校・中学校の望ましい学校数については久米島町

立、幼・小・中学校統廃合検討委員会の答申を受けて判断したいと思います。中学校は第3回統廃合委員会の中で2校の案で話し合われております。統廃合の組み合わせ形態については、基本的には統廃合検討委員会の方針を尊重したいと考えております。

農業振興地域見直しについて、農業振興地域整備計画については、平成16年度に総合見直し作業を進めておりましたが、ゴルフ場等の開発計画が具体的に進展しなかったため農振見直し作業は一時中断している状況にあります。

宅地転用申請についてはご質問の方と平成16年度当時の担当者との意見の食い違いがありますが、申請者に誤解を与えるようなことがあったことは、不適切な対応であったと思います。

現在、国土利用計画と農振の総合見直し作業を同時並行で進めておりますので、平成22年度においては、地元での調整作業を終わらせて平成23年度中には県との事務手続きを完了させたいと考えております。

(平良朝幸町長降壇)

○ 議長 山里昌輝

6番仲村昌慧議員。

○ 6番 仲村昌慧議員

学校統廃合について、再質問させていただきます。町長は財政状況が依然として厳しい、行政改革に今後とも取り組んでいきたいとっておりますが、この答弁の中で町長の考えが全く示されていない。全て検討委員会に丸投げしている状態で、検討委員会でもこの問題が白紙状態から今取りかかっている状況であります。以前に前回の統廃合の問題においては、16年度にこの研究委員会を立ち上げて

十分に調査し、いろんな計画を綿密に立ててやっていて、報告書が出されています。その中で中学校を先にとすることで進めていきましたが、仲里、久米島の統廃合が凍結した状態になっております。今回、幼稚園の方から先にしようとしたんですが、中学校から先にすべきだということで、事務局の案も全くないうままで最初の検討委員会を始めました。事務局案を出していただきたいということで、3案が示されましたが、やっぱり3案検討している中で、前回の仲里、久米島の案ですべきだという2校の案で、仲里、久米島の案で進めていこうという検討委員会の方針であります。中学校においてはそういう方針でほしい方針は決まりましたが、小学校・幼稚園において町長の考えというのを私は示していただきたいなど、ちょっと検討委員会の考えを尊重するといっていますが、逆に僕は町長の考えリーダーとしての考えを参考にし尊重すべきところは、尊重していけたらと思っていますので、そこは、はっきり示していただきたいなと思います。特に今年は町長選挙の年でありますので、町長の思いというものを、公約として私は久米島の教育環境はどうあるべきかということ、はっきりと示していただきたいなと思います。

今、一番、町の財政状況、非常に厳しい状況は感じております。久米島の中学校は方針は決まっていますので、幼稚園・小学校はどうあるべきかということも町長の考え方を示していただきたいなど、そして生徒数からして必要であるということも示していただきたいなと思っています。町長いかがでしょうか。

○ 議長 山里昌輝

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

統廃合については、非常に難しい問題があります。これについては、地域が絡むということで以前に、うるま市が統廃合を執行部案でやろうとして失敗した例がございます。私としても個人的な考えはございますが、やはりその地域の皆さんの話し合いで、それで一番いい案があれば、これを尊重したいと考えております。もちろん個人的な考えですが、段階をおって統合をしようという考えであります。これについては、小学校仲里側2校、具志川側2校というような案はもってあります。これはあくまでも個人的な考えですが、あと統廃合委員会の中で、どういう案がでるか分かりませんが、そこらへんの中でいろいろ意見をお聞きしたいと、それで答申を受けて決定したいというふうに思います。

○ 議長 山里昌輝

6番仲村昌慧議員。

○ 6番 仲村昌慧議員

実は、うるま市の問題は、うるま市が12月に急にこの話が出ていました。伊計島、平安座島、宮城、浜比嘉の、それぞれの小学校・中学校一つの島々の学校を一つにまとめようと、小学校も中学校も一気にしようとして、それが地域の反発で、総決起大会を島ごとにもとうとして、それで町長はそれを見送ったという経緯があります。

今帰仁でしたか、今帰仁が成功した例は中学校から先にしてやったから、向こうは成功しました。久米島も中学校から先にとすることで、比屋定と具志川中学校の統廃合が非常に結果として、良かったという評価もありますので、その中で今回また久米島と仲里の再度、凍結していたものを再度また統廃合に向

けて走らそうとしていますが、聞くところによりますと、那覇の郷友会の方で反対的な話があると伺いましたが、そのような情報はいかがでしょうか。あったでしょうか。

○ 議長 山里昌輝

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

郷友会の皆さんは、それぞれの地域に思いがありまして、自分たちの学校は、そこに残したいという話でございます。実際我々久米島に住んでいる人たちが、それは考えるべきことであって郷友会の意見に左右されるということはあるというふうには考えております。

○ 議長 山里昌輝

6番仲村昌慧議員。

○ 6番 仲村昌慧議員

郷友会がそういった反対といった話があったかどうかということですね。

○ 議長 山里昌輝

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

これは先だって、ある地域の郷友会があったということで、私の知り合いの方からあったということなんです、やはり地域の方に対して、ぜひ自分たちの思いがあるということがありまして、学校というのは地域の文化があるということを踏まえて、郷友会の方でそういった話があったというのは、私の方に情報として入ってきております。

また今月の28日に久米島の郷友会の総会がありますので私も、ぜひ参加をお願いいたしまして、その席でまた久米島町の現状また統廃合のことについても説明をしてまいりたいと思っております。

○ 議長 山里昌輝

6番仲村昌慧議員。

○ 6番 仲村昌慧議員

学校統廃合については、学校がなくなるということは、やむを得ないことだと思っています。地域のエゴ、しがらみがあって統廃合はできないものと思っております。久米島の財政状況、久米島の生徒数からするとどのような形態をとり、そしてどのような学校が望ましいかということ、これから真剣に考えていくべきだと思っています。

今、那覇市の方で鏡原小・中学校が、小中一貫校を目指しております。実は町長にこの久米島の小学校は何が望ましいかということ、を質問しましたが、明確には統廃合の意見を尊重したいということでもありますので、明確な答弁はしておりませんが、私個人的にも将来的には中学校2校、小中一貫校も視野に入れて、この統廃合を考えるべきではないかと意見を申し上げました。

久米島にも小中一貫校いわゆる、小学校2校、中学校2校というかたちでございます。そういう意見を出すことによって意見をたたき台として議論できますので、町長の意見というのは本当にこうしたいということを明確に述べていただきたいなと思っておりますが、小学校・幼稚園何校かということ、を先ほど2校とおっしゃいましたが。

○ 議長 山里昌輝

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

先ほど段階をおってといたしましたが、将来的に理想的な形というのは中学校が1校、小学校が2校だというふうに私自身は考えております。

○ 議長 山里昌輝

6番仲村昌慧議員。

○ 6番 仲村昌慧議員

教育長お願いします。1月29日の第3回検討委員会、中学校の2校案で仲里と久米島の統合について、地域説明会をこれから持つという話がありましたが、この地域説明会をもったのかどうか、もっていなければいつ頃もつ予定なのか、これをお伺いします。

○ 議長 山里昌輝

佐久田等教育課長。

○ 教育課長 佐久田等

地域説明会におきましては、嘉手苧の区長さん、儀間の区長さん、山城の区長さんともご相談申し上げて、どうしても製糖期の期間は外してやってくださいというお話もありましたので、4月以降に各校区ごとに開催していきたいと調整しております。

○ 議長 山里昌輝

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

学校統廃合につきましては4月以降ということで第3回の検討委員会の方でもご説明申し上げたかと思いますが、そういったかたちでまずは嘉儀山校区これは小学校校区の方から久米島全小学校校区を回ってこれからの中学校の統廃合そして将来的には小学校の統廃合もありうるというお話の説明をぜひさせていただきたいと思っております。

○ 議長 山里昌輝

6番仲村昌慧議員。

○ 6番 仲村昌慧議員

前回、実は16年から調査し、17年からこの検討委員会が立ち上げられましたが、19年を目標にして非常に時期尚早ではないかという

ことの反対もありました。しかしもう既に5年が過ぎようとしています。その中でこれから、何時この統廃合をやるかという目標をちゃんと設定してスケジュールをちゃんと設定して進めなければ、何時頃できるかということもまだ今の状態では不可能だと思っています。

準備期間が約2カ年間かかっていますので統廃合ということを決めて、決定を先にし危険校舎の改築を前もって進めていく方法もあると思います。この危険校舎の改築は急がなければいけないと思っています。だから早めに統廃合を何時何時、来年やりますじゃなくて、2カ年、3カ年後にやりますという決定をしておいて、先に進めるという方法もあるのではないかと思います。というのも考えていただきたいです。

最後に統廃合について、青森県に学校のものをご紹介します。青森県では18年度19年度に中学校、小学校が一つに統合して小中一貫校スタートさせています。当初は統合に不安をもってた親、子どもたちがいたようですが良い意味での競争心が芽生え、生き生きとしているということで新聞に書いています。そこでは個人に応じた指導を徹底するために25人の少人数学級を導入し村費で教師、教員、講師18人を採用し手厚い体制を強いているということを書かれています。

そして交通事情や経済事情のために塾へ通えない子供たちのために公営塾を持っていると、一番大切なところでは、村の子供は村が責任を持って育てますという教育委員の考えでやってきていると、これが教育あって地域発展を目指す村の覚悟が伝えているということ。

これを述べて久米島の教育についても本当

に行政が責任をもってやっていく。そして今後、検討委員会で話し合ったことを町長、教育長が責任をもって、地域に説明をし統廃合に向けて進めていただきたいということで統廃合についての質問を終わります。

次に、農業振興地域見直しについてですが、平成16年に総合見直しができる予定ですと、15年の12月の定例会でそれを述べているんですが、理由としてゴルフ場計画が具体的に進展しなかったために一時中断したということ、何かおかしいような感じがします。言い訳じゃないかなという感じもします。できなければできなかったで一時中断していますよということで、ちゃんと説明すべきではなかったのか。

町長は役場は住民に対する最高のサービス産業であると言っています。その中で総合見直しができたものと思い、宅地転用を担当課の窓口に行って申請した。しかしそれがちゃんとした書類が出されていなかったとか、申請者は出したとか、口頭でしたとか、口頭でしたからという言い訳してはいけないと思います。口頭でできるできないという問題があると思います。同じような問題で口頭でしたらちゃんとした書類を出してくれということは、担当で対応すべきではなかったのか。

その対応の仕方について担当課の方から、その状況についてご説明をお願いしたいと思います。

○ 議長 山里昌輝

平良朝幸農林水産課長。

○ 農林水産課長 平良朝幸

今の件について当時の担当者と申請人との意見の食い違いがありました。そのやりとりを一緒になってどういうことで、食い違いが

出たのか、話し合いを30分程やりましたが、やっぱり内容が最後の最後まで平行線で話しがずっと食い違いで、その当時の資料も無い状態では判断ができないということで、その場はそこで終わりました。そういったことで誤解を与えたというのは大変不適切な対応であったということで、当時の担当者ともいろんな状況を聞き取りしているところです。

○ 議長 山里昌輝

6番仲村昌慧議員。

○ 6番 仲村昌慧議員

話の食い違いというのが、そこが対応の仕方の問題と思っています。最大のサービス産業と言うのであれば、誠意をもって謙虚な気持ちで対応すべきだと思っています。この申請ができなかったために、今年になって新築をしようとしたんだけどできなかった。それが今農地法がまた厳しくなって一時転用、一時見直しができなくなった。できない状況になっています。

平成16年、17年、18年、20年ですか、毎年一時見直しができなかった時期がありました。国の食料自給率を高めるために農地の一部見直しが非常に厳しくなってきて、今それができない状態になっています。

今年、宅地転用をしようとしたんだけどできない。農家やその人達にとって非常に不利益を与えています。そういうことがあってはならないと思います。今後そういった面でもしっかりと対応していただきたいと思っています。

今度の見直しについてお伺いしたんですが、22年度見直しすべきものが作業が遅れて23年度になると作業が遅れた事態がおかしんです。16年度にできなかったものをそれから

進めておけばそれはできたんですよ。5年に1回なんですよ総合見直しというのは5年に1回。4、5年前からやればできたんですよ。それも言い逃れですよ。職員の怠慢と言わざるを得ないんです。町長いかがお考えですか。

○ 議長 山里昌輝

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

この見直しについて、平成16年当時の件は細部までは承知はしておりませんが、実際5年に1回の計画、農振地域の見直しというのを的確にやっていなかったというのはおっしゃるとおり、これは職員の怠慢だと感じております。私どもはこの申請が上がった時にフォローしてやっていれば、そういうことにはならなかったとは思いますが、これについても住民の満足度を上げるというのが職員の仕事であるというふうに思っておりますので、これからこのようなことがないように気をつけて教育をしていきたいというふうに考えております。

○ 議長 山里昌輝

6番仲村昌慧議員。

○ 6番 仲村昌慧議員

最後に全ての担当課の課長の皆様をお願いしておきます。住民からのこの要望に答えるために本当に誠意をもって謙虚な気持ちで住民サービスに努めていただきたいということをお願いして私の一般質問を終わります。

(仲村昌慧議員降壇)

○ 議長 山里昌輝

これで6番仲村昌慧議員の一般質問を終わります。

次に10番安村達明議員。

(安村達明議員登壇)

○ 10番 安村達明議員

10番安村です。2点ほどお伺いいたします。

1点目は外灯施設について、謝名堂2号線はイーフ、比嘉、謝名堂を結ぶ住民の生活道路であり、大変交通量が多く、日頃から夕方以降は大変危険な状況が見受けられる。町長は、常に住民の発展と幸せのために、愛と夢と安心をモットーにされております。この道路に外灯を設置しスポーツ少年や住民の生命安全を守ったら如何なものか。町長の見解を伺いたい。

2点目は謝名堂川の修復について、謝名堂川の間知ブロックが崩落し、農道まで崩れかけ大変心配との意見が多数あるが、早めの修復作業が望まれる。崩壊の箇所が小さい時期ほど負担は少なく済むと思うが、いかがなものか。町長の見解を伺いたい。

○ 議長 山里昌輝

平良朝幸町長。

(平良朝幸町長登壇)

○ 町長 平良朝幸

10番安村達明議員の質問にお答えします。外灯の設置について、外灯設置につきまして、数年前から各字の区長から要請等があり、平成21年度、地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業により、工事実施をしたところがあります。希望箇所については全て対処したつもりであります。安村議員の質問にあります箇所については、その地域の区長及び住民の意見及び当該事業の有無等も確認しながら対処いたします。

謝名堂川修復について、同河川につきましては、2級河川に指定されており、現在管理は沖縄県となっております。後日現場を確認し対処いたします。



(平良朝幸町長降壇)

○ 議長 山里昌輝

10番安村達明議員。

○ 10番 安村達明議員

私の提言みたいなものでしてね。これは地域の危険な回避と、その箇所除去ということで僕はお話しておこうと思うのですが、この道路は謝名堂の入口のスクールゾーン的な要素がありまして、地域住民の皆さんが結構利用されています。特に町のバス等も走るわけですよ。特に夕方になると、車の量が多く、外灯は無いし、少年野球やグラウンド帰りの子どもたちもよく通るし、その中で何度も私たちが見ていて危険だと感じ、事故もありました。何で今まで外灯も無くそのまま放置されているのかなと、ものすごく僕は疑問を持っています。そのついでといたら失礼ですが、運動公園に入る入口の所も、前は外灯がついていたと思いますが、最近その外灯が無いんです。子どもたちがここを通る時に、歩道で結構、人間と自転車との接触事故がよく起こっています。それで、自分の会社の後ろ側も一つの外灯を付けたりと、ある程度はやっているのですが、グラウンドの横から浜に抜ける道は昔からよくハブの通る道でもありますし、自分の会社の倉庫にも1度乗っていることがあったんですよ。ハブが。

危険の除去というのは外灯を付けてなんとか子どもたちの安全を図らないといけないんじゃないかと思うんです。それを僕は話しているんですが、検討して外灯設置をしたいという気持ちが本当にあるのかどうか。

本当に早急にできるのかどうか。そしてガードレールを入れて小中学校生や幼稚園生、こういう子どもたちの安全を確保する気持ちが

あるのかどうか、あくまでも僕は提言ですので、答えられたらお答えして欲しいんですが。

○ 議長 山里昌輝

盛本實建設課長。

○ 建設課長 盛本實

地域の件は、地域に住んでいる区長さんとかその地域の住民がよくご存じだと思います。今、安村議員がおっしゃっている危険性の問題も含めて、昨年、半年ぐらいで調査を入れたんですよ。毎月の区長会の中でそういう危険性がないのかということで、外灯が必要な箇所を上げてくれと3、4回ぐらい区長会の中で言って、最終的に去年末ぐらいに箇所を決定して、それで外灯の工事発注をしたところであります。

今月で、ほぼ要望箇所に関しては工事終わりますが、たまたま臨時交付金というのが、国庫補助があったものですから対応をしたんですが、そういうことで我々としても始終通っているわけじゃないし、当然地域からの要望でしかできなかったということで対処しています。

今後に関しては、そういうことも議会で出ておりますし、今後とも地域の意見を聞きながら単費になるのか、国庫補助でできるのかも含めて検討していきたいと思います。

○ 議長 山里昌輝

10番安村達明議員。

○ 10番 安村達明議員

こういう子どもたちは国の宝であります。子どもたちの安全を与えられるということが、大変大事なことだと思います。住民が安心して安全な生活を送れるということも大変大事なことだと思いますので、ぜひよろしくお願ひしたいと思います。

それから二点目ですが、謝名堂川の修復についてですが、これは現場を確認したとあるんですが、確認はされましたか。

○ 議長 山里昌輝

盛本實建設課長。

○ 建設課長 盛本實

先だって現場を確認しております。確かに間知ブロックが崩落して、道路の決壊にもつながるような状況にはなっております。県の河川課の方にその旨の報告はしております。

○ 議長 山里昌輝

10番安村達明議員。

○ 10番 安村達明議員

現場を確認し早めに対応ということですので、現場をただ見て提言しても、なんにもならないと思ひまして、自分で車を持ち込んでそこを通過してみました。小学校の方から入って、そうすると車は左通行ですから安全です。逆から進入していくと左側は土手側になるわけですから、ものすごく危険を感じます。というのは崩落している場所が間知ブロックの上の方はきちんと残っているんです。草が生えていてその草が崩落しているところに覆い被さっているものだからものすごく死角になっている。あそこで知らない方が、車をうかつに運転してしまうと大変生命の危険を感じるような形になると思うんです。そういうこともあるわけですから、執行部の方々も一所懸命やるということでございますので、僕の質問を終わらせていただきたいと思います。ありがとうございました。終わります。

○ 議長 山里昌輝

これで10番安村達明議員の一般質問を終わります。

(安村達明議員降壇)

暫時休憩します。(午前 10時56分)

○ 議長 山里昌輝

再開します。(午前 11時08分)

次に4番宇江原総清議員。

(宇江原総清議員登壇)

○ 4番 宇江原総清議員

4番宇江原総清であります。3点質問をいたします。第1は鳥島射爆撃場の早期返還についてであります。本年2月21日の沖縄タイムスに20日の仲井真県知事との会談で、平野博文官房長官は普天間飛行場移設問題について、「常にベストを求めていくが、やっぱりベターになるかもしれない。これも政治。理解いただいた上で判断を頂かなければならない」と県内移設を示唆したといひます。また沖縄県以外を視察するののかに対して「ノーコメント。私がみんな基地だと思ひて引っ付いてくる」こういうこともいひられています。

又、この人、辺野古移設反対を公約した名護市長誕生の際、「選挙結果を斟酌しなければならない理由はない」との放言もあつたのです。私はこの人は生意気な人だと思ひます。深く気を用ひない非民主的で独善的な人だと思ひております。策士然として、地ならしのつもりでいると思ひます。

米兵によるひき逃げ死亡事件に関わる地位協定で沖縄県民がいかにかに人権を蹂躪され隷属的な扱ひをされているか、意に解してひない。民主党もこのような人が増えることによつて、戦前の日本に回帰することを危惧しております。

以上の事から、次の事項について町長に伺ひます。

一つは、平野発言についてどう思ひているか。

二つは、鳥島射爆撃場の再契約はないと公言しておりますが、平野発言にめげずにその決意を貫徹していくかどうか。

三つ目は、鳥島射爆撃場早期返還町民総決起大会の開催について具体的な案があれば示して欲しい。

第2は、コンクリート護岸の撤去とこれに伴う潮害防備保安林等の植栽についてであります。河川も含みます。

平成22年度の施政方針について、ラムサール条約湿地への登録、日本の里百選への選定については、農業、漁業及び林業等の一次産業へと繋がり高く評価しております。

なぜなら一次産業を基盤とするのは自然だと観光産業を支えるのは一次産業であると考えております。

しかし、コンクリート護岸は潮害、塩害を発生させ、農作物や木々を枯らし、海をも枯らす。私は真泊の一字、畳石の階段式護岸とシンリ浜護岸のいずれか一つを元の自然に戻したらどうかと提案したい。

河川についても昔の自然に戻したらどうかと提案したい。河川についても昔の自然の川に戻すモデルケースを造ったらいかがなものか。伺います。

第3は、久米島3中学校の統廃合についてであります。平成22年度の施政方針について教育環境の充実、人材育成の推進については大方評価しますが、具体的な事項として、学校統廃合の推進には反対であります。この件は1月24日の新聞にも「久米島3中学校統合3案に絞る。町教育委員会に29日に検討委員会に提案」との報道がなされております。この件は町民はよくのみ込んでいないと思う。部落単位、校区単位に十分な説明をすべきと

思っております。

私は、子どもは社会の宝であり、教育は財産であり、地域を活性化させる薬であると思っております。

政府は子ども手当の支給、高校の学費無償化等少子化対策と共に教育の向上を目指しています。今一度政府の施策を見る必要があります。

また、補助事業等を含めて、十分な事業仕分けを行い、学校施設等、学校事業に充てることが先決だと考えております。

フィンランドやブータンの教育制度を見習えば良いと思いますが、どうでしょうか、伺います。

○ 議長 山里昌輝

平良朝幸町長。

(平良朝幸町長登壇)

○ 町長 平良朝幸

4番宇江原総清議員の質問にお答えいたします。鳥島射爆撃場の早期返還について、一つ目の平野官房長官の発言に対しましては、マスコミ等でいろいろ報道されてますが、マスコミ報道が長官の真意を全て伝えているとは限りませんのでコメントは、控えさせていただきます。

二つ目の鳥島射爆撃場の新たな予約については行わない方針であります。

三つ目の町民総決起大会については、関係者の意見を聞いて、効果的なタイミングで実施できるように検討いたします。

コンクリート護岸の撤去とこれに伴う潮害防備保安林等の植栽について、海岸護岸の管理者は沖縄県であり、管理者と調整を図っておりますが、護岸の必要性の部分や撤去における費用対効果の面で厳しいとの判断であり

ますが、今後とも引き続き調整を図ってまいります。また、今後、本町で整備する河川については近自然的な工法で検討いたします。

(平良朝幸町長降壇)

○ 議長 山里昌輝

比嘉隆教育長。

(比嘉隆教育長登壇)

○ 教育長 比嘉隆

統廃合についてお答えいたします。幼稚園・小学校・中学校の統廃合の町民への説明会につきましては、平成20年11月に3中学校体育館で開催、21年1月に各小学校体育館で開催をいたしました。また、4月以降につきまして、久米島校区をかわきりに地域説明会を開催予定しておりますので、多くの地域の方々の参加をお願いしたいところです。

外国の教育につきましては、一長一短あり、また国レベルの施策となりますので、コメントは控えたいと思います。

(比嘉隆教育長降壇)

○ 議長 山里昌輝

4番宇江原総清議員。

○ 4番 宇江原総清議員

再質問をいたします。まず第一の鳥島射爆撃場の早期返還についてであります。私が平野官房長官は「常にベストを求めていくが、やっぱりベターになるかもしれない」こういう日本語としては、後段の言葉がインパクトが強くなるわけです。そして「理解いただいた上で、判断をいただかなければならない」ということは、地方主権をうたう民主党が地方の長である県知事に対する言葉ですかと、これを苦言を申し上げたい。そして名護市長の稲嶺氏に対しても「選挙結果を斟酌しなければならない理由はない」と民主的手段で勝ち

取った選挙までも否定するような発言をする。このことは特に沖縄県民の意思を無視した、県民に対する深い気を用いてないということで、これが生意気だということを言いたいわけです。且つ県民蔑視の発言であるということを重ねて言いたい。

権力を持つ者は常に権力の怖さを私は念頭におくべきだと考えております。権力の上でふんぞり返ると何時かは転けてしまう。これが私の理論であります。

民主党は、今回の衆議院選挙でのいわゆる普天間基地問題では、鳩山首相は国外、最低でも県外と公約をしております。それを平野官房長官、北沢防衛長官、岡田外務大臣は米国の属国になり下がって、そういった発言を繰り返しています。彼らには政治的理念もなければ主体性もない。

しかし、最後には鳩山首相に期待するしかないというふうに思っております。この公約の実現を首相には期待をしたいと思っております。

翻って私たちの島である鳥島射爆撃場の返還問題、再契約拒否の問題についても担当閣僚等は平野官房長官のように住民を見下した高圧的な対応で継続使用を迫る、こういうことを予測しております。

そこで町長に伺います。鳥島射爆撃場の早期返還・再契約拒否問題について政府に対し、毅然とした態度で対応できるか、場合によっては喧嘩してでも早期返還、再契約拒否を求めていくか、答弁を求めます。

○ 議長 山里昌輝

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

宇江原議員の質問にお答えいたします。私

はこれまで鳥島射爆撃場については、返還を求める行動をやってまいったつもりでございます。県知事と一緒に各省庁を回ったこともそうですし、それから議会の議決も我々現にございます。それから何回も答弁しているとおおり、返還するという意思には変わりはありません。これについては議員の皆さんにも万が一のことがあれば、そういった行動も一緒にやってくださいとお願いしたつもりでございます。

○ 議長 山里昌輝

4 番宇江原総清議員。

○ 4 番 宇江原総清議員

そういう意志があれば高く評価します。そういった毅然とした態度への支えとして、次のことを紹介したいと思います。清永聡という方の著書で「気骨の判決」東条英機と戦った裁判官の中で、太平洋戦争末期に翼賛選挙の無効を言い渡した裁判長、吉田久という人がいます。彼は東条英機の圧力やいわゆる特高警察の暗躍にめげず、無効を言い渡した裁判官であります。

この吉田という方は戦後この判決を振り返って、「私は、この判決をするにもいささかの政治理念に左右はされなかった。もし判決が時の政治理念を支えてなされたとすれば、その判決は不純である。死んでいると考える」とこういうふうに記しております。私は政治行政にも通ずる話だと思います。

私は再三求めますが、この時期に米軍基地問題で県民意識がグッと盛り上がっているチャンスを逃さずに、早めに行動をし早期に総決起大会を開催する。そして国や米国に対して強烈な意思表示をする。その攻防が我々が希望する久米島町民による島の石山の復元、

緑化工事及び損害賠償等の条件闘争ができるものではないでしょうか。ということです。町長の考えがあれば伺いますし、繰り返すということであれば、それでいいわけです。要するに「案ずるよりは産むが易し」ということで早めの行動をお願いしたいなとこうふう

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

町民総決起大会の件ですが、それについては町長のご答弁があったとおおりです。関係者の意見を聞いて効果的なタイミングで実施できるようにやっていくということでございます。

それから新たな契約を結ぶということは、交渉ごとでございますので、相手方からある程度の提案が出てきたとき、そのときは議会の皆さんにそこを相談して、あるいは町民の意見を聞いて、それぞれ対応をしていきたいと考えております。今まったくその動きはございませんので、どういった内容で契約を求めてくるのかということもわかりませんので、そういった動きがあったときは、議会の皆さまをはじめ町民の意見を聞いて間違いないような対応、町民の利益になるような対応をしてみたいと考えております。

○ 議長 山里昌輝

4 番宇江原総清議員。

○ 4 番 宇江原総清議員

次に第2のコンクリート護岸の撤去等について再質問をいたします。私は平成21年9月の定例会において水中のプロといわれる渋谷正信氏がアワビの激減した島の海を復活させ、北海道では《増毛町》漁協とタイアップ

し海を再生させた。これは何かというと鉄分を含んだミネラルを海にまいた。その結果であります。

考えてみますと、この鉄分の海への流出についてはコンクリート護岸で遮断されているから流れなかったわけです。そしてそれを考えてみますと、コンクリート護岸を撤去し元の自然に戻すか。または町長がいわれる近自然工法で土中の鉄分等が自然に海に流れて行くのが費用対効果や景観上も経済の活性化にもつながっていくと私は確信しております。

私たちが少年の時代、イノーの池にはいっぱいウニがいて毎日三食、母から食べさせられてんですよ。そのぐらいウニ、あるいは、テラジャー、その時代の自然の恵みを現代に回帰することができれば費用の掛かる工法をしなくても観光客は、増えていくものと思っております。

河川について町長は、今後、本町で整備する河川については、近自然的な工法で検討いたしますという答弁をしております。一步も二歩も前進で、ぜひ実行するようお願いを申し上げます。

加えて、県所管の河川や海岸も県と渡り合いながら実現をさせていただきたい。こういうふうに思っております。今年の1月6日に久米島観光を危機突破総決起大会開催されました。満席の中で行われておりますが、町民の危機意識が高い証左だ、こういうふうに思いました。なぜ久米島観光が横ばい、または、低迷しているかということと私に言わせると、その自然が壊されてきたと、この一言につきると思います。豊かな自然を取り戻すことによって一次産業が復古し昔懐かしの久米島特産を観光客にも提供できるのではないかと考え

ております。

東村の、今回、開催されていますツツジ祭り、あるいはバラ祭りを始めとして、ヒルギ等のマングローブの川をカヌーで自然体験ツアーということも行われております。これも参考にさせていただきたいなと思っております。

そこで伺います。担当でも町長でもよろしいですが、東村の各種イベントを例に、本町の平成22年度施政方針と連動した構想があれば、これは町長にのべていただきたいと思えます。

○ 議長 山里昌輝

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

宇江原議員の質問にお答えいたします。現在は連動したイベントと申しますと、新しくは、今、環境保全課が今きれいに整備してありますアール林道あそこのサクラがものすごい、これは沖縄でも誇れるサクラじゃないかなというふうに考えております。そこをなんとかイベントでサクラ祭りかなんか、できないかなというふうに考えております。

それから日本の里百選、あるいはラムサール条約等に登録されましたが、これも将来的にイベント打つなり。あるいは観光客誘客のための施策が必要だろうというふうに考えております。

○ 議長 山里昌輝

平田光一商工観光課長。

○ 商工観光課長 平田光一

今の観光に関係するものとして、今度、自然とか資源についても資源調査ということで、予定をしております。雇用対策事業ですけど、それによって、今ある自然、すばらし

い自然をこれを見直すというか、そこを調査して、よりみんなが認識していくと、また観光においてもそこを活用していくとかですね。そういうことをはかっていたいと思います。

○ 議長 山里昌輝

4番宇江原総清議員。

○ 4番 宇江原総清議員

次に第3の久米島3中学校の統廃合について、再質問をいたします。今年1月24日の新聞では本町教育委員会は久米島3中学校の統廃合を検討委員に提案した理由として、一つは庁舎の老朽化が進むなか、財政的に全校舎の改築が困難なこと。二つは、生徒数の減少を上げております。

私は冒頭で子どもは社会宝であり、教育は財産であり、地域を活性化させる薬だと申し上げました。まずは何よりも児童生徒の教育を優先にさせるのが先決だと思っております。優先させるべきだと思っております。財政困難といいましたが、私は平成18年3月13日の学校統廃合の経過のまとめという資料を持っております。この中でいろいろ調べてみると2校案というのがありますね。その2校案は現在の4校案よりも158万円負担が少ないとされております。ところが交通通学支援については、これも記載されておりますが、町営バスまたはスクールバスを使用するところということをいっておりますが、バスの人件費等、そしてメンテナンスを考えると多額の支出が予定されます。

加えて久米島町産業振興基金条例議案の中に、株式会社オーランドの事業改善措置が明確にされないまま税金をつぎ込むというずさんなこと、それこそ事業仕分けで精査をする。

それを学校教育に充てるべきだと考えております。

また校内暴力、金銭せびり、あるいは児童虐待、DV問題はこのほとんどが財政の厳しい家庭であります。学力低下も貧しい家庭が多いといわれております。統廃合によってますますこういった格差が出てくるのではないかと心配しており、その対策のために父兄には負担が掛からないこと、学力の底辺にある児童生徒の底上げをしていく。そして生徒全体の学力向上を図るべきであると考えております。

一方私は、この2つの問題は、国家レベルで考えると4、5年では目処がつくと判断しております。その理由として一つは地方主権により一括交付金が行われること。2点目は各政党が本格的に少子化対策に取り組んでいくこと。3点目は、世界人口60億人から10年後には80億人が予想されていることで食料不足が予測され、食料不足の解決には地方にとっては非常に経済活性化が可能である。現に韓国ではウクライナで食料の買い付け契約をやっているわけです。

以上の理由から統廃合については反対であります。これについて町長または教育長コメントがあれば伺いたいと思います。

○ 議長 山里昌輝

佐久田等教育課長。

○ 教育課長 佐久田等

宇江原議員の再質問についてお答えいたします。まず最初に先の統廃合の時の生徒のスクールバス等につきましては、町の町営バスを利用してもらって、比屋定校区の子どもたちからのバス料金はいただいております。5km以上の子どもたちに対する遠距離の国か

らの補助がありますので、それを利用して島尻や比屋定校区の子どもたちは、バスに対する支援は行っておりますので、その辺の保護者の負担はございません。

そして児童生徒の虐待の問題等もありましたが、教育委員会としましては、久米島中学校におきましては、家庭支援チームを発足させまして、警察や児童民生員や地域の区長さん、私たち教育委員会も含めて西中は、家庭支援会議で、一緒に年何回か会議をもって支援しております。

そして学力に対するお話もございましたので、小学校の国語検定や中学校の英語検定、そして中学校の各種大会、文化活動の派遣等も含めて支援しておりますのでできるだけ保護者の経済的な支援も視野に入れて予算も計上しております。

○ 議長 山里昌輝

4番宇江原総清議員。

○ 4番 宇江原総清議員

私は、少年関係を専門的にやってまいりました。その児童虐待とそれからDVとの繋がりは非常に深いんです。そういうような問題はやはり経済的格差というのがある。学校から自分たちの地域から学校が遠くなればなるほど、その負担は大きいのではないかと、今、言っているように答弁にありましたようにスクールバスということですが、一つはそのスクールバスは、どのような計画で運用されるのか、二点目は耐震構造の問題については、確か今国会で二次補正というかたちで7兆3千億円の中に耐震構造対策というのが入っているはずで、それについてお伺いしたい。

○ 議長 山里昌輝

佐久田等教育課長。

○ 教育課長 佐久田等

スクールバスにつきましては、当初先の統廃合におきまして、お先ほど説明したとおりスクールバスか町営バスを子どもたちの通学支援として行いますよということで進めてきまして、PTA作業部会におきまして町のバスを利用して子どもたちの通学支援をしましょうということで、比屋定校区の区長さんやPTA会長、学校関係者の方々の理解もへて現在町バスを利用して支援を行っております。

耐震化の問題におきましては、うちの担当にも補助事業があるかどうか、確認しましたところ、県の補助事業があるということで確認を受けておりますので、優先的に2つの中学校が統廃合の今後の対象になるのであればそこから優先的にその事業でもって耐震調査は入れていきたいと思っております。

○ 議長 山里昌輝

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

国の方としましては耐震化に向けていろいろ施策を設けているわけなのですが、耐震構造をする場合にしても、例えば久米島町小学校6校、幼稚園6園、そして中学校が3校ありますが、全て耐震構造にするとしても単価的には、ほぼ2分の1の補助しかございません。あとは全て町の起債、一般財源という扱いになりまして小学校・幼稚園・中学校を含めた場合にはものすごい額の予算が伴うということで今回あえて統廃合ということがございます。

これにつきましては耐震構造につきましては、昭和57年以降が耐震化構造になっている



わけなんです、その以前の校舎もございまして、その比率は26パーセント、今年ですと約30パーセントまだ耐震化できていない校舎等がございまして、そのへんを解消するため、そして子どもたちの安全安心を確保するための今回の統廃合が大きな目的でございます。

○ 議長 山里昌輝

4 番宇江原総清議員。

○ 4 番 宇江原総清議員

廃校になった場所の再利用というのはどういふことで構想されておりますか。

○ 議長 山里昌輝

佐久田等教育課長。

○ 教育課長 佐久田等

比屋定中学校におきましては、統廃合におきまして学校が久米島西中学校にいきましたが、空き教室につきましては、小学校の方がそのまま音楽教室、技術教室に使用しておりますので、職員室のある棟が昭和50年代に造られた管理棟になりますので、できるだけそこを先に撤去して上の中学校があった部分に職員室や図書館等が移転できればということ担当は、県とその辺のやりとりを行っております。

○ 議長 山里昌輝

4 番宇江原総清議員。

○ 4 番 宇江原総清議員

廃校になった場所、これについては跡利用をどうするかということですか。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

今後ですね。学校の統廃合が決定して実行段階になった場合、丸々その学校が空いてし

まうということも当然想定されますので、これは町全体の中でどういった跡利用があるかということを含めて、それが産業振興なのか、あるいは同じ公共施設において他の面に転用するのか、あるいは福祉施設のなのか、そういったものもある程度固まった段階で並行して検討しまして、それを地域住民に示してやっていかないと、なかなか地域の理解も得られない部分もあると思いますので、それを並行して総合的な町全体の観点から考えて、その跡利用も含めて示していきたいと考えております。

○ 議長 山里昌輝

4 番宇江原総清議員。

○ 4 番 宇江原総清議員

並行してといいます、もう既に統廃合の話は進んでおりますよ。同時に廃校した跡利用についてどうするのかということも事前に描いておかないといかんじゃないかということでもあります。

時間がございませんので次に進みます。私は、久米島を豊かにし多くの若者が定住するためには、自然を回帰させることだと確信をしております。

8年前に私はセブ島とかバリ島を視察に行つてまいりました。自然が本当に素晴らしい。向こうの島の人たちは自然に対する畏敬の念というのが非常に強く持っています。そういうことで見てきましたらやはり中国、オーストラリアの人たちが2カ月も3カ月も長期滞在型の方として活用をしておりました。

私は久米島の観光を含む経済活性化を図るためには、まず一点目は久米島の自然が現在どうなっているか、例えば前からいいましたように、コンクリート護岸とか河川の問題を

言いましたが、阿嘉から真謝にかけての高架道路、北側、前三重県知事に言わせたら、見たら嫌気がさすというぐらいの代物なんですよ。そういったものをやめて久米島の一周線を歩道を広く取って、自転車通行可能な道路を造る。そうしたら自転車利活用が十分にできる。そういうことは政府の主張するエコ対策にもなるわけです。予算も取りやすいと考えております。そういうようなことをまず再考していただきたい。

そしてもう一つは中国に目を向けるということで飛行機便も考えた方が良さだろうと。非常に国の問題とか、県も問題いろいろありますが、なぜそういう事をいうかといいますかというのと、久米島は中国との結びつきが少なくとも3つある。考えたら。

まず真謝の天后宮、ヒーターテ石、それからキクザトサワヘビであります。真謝の天后宮は数百年前に中国の人たちを200名、遭難救助しております。ヒーターテ石は、現在、宇江城と宇根にあります。こういったものは中国との取引に活用をして、そしてキクザトサワヘビは、ラムサール条約登録の登録要因にもなったことではありますが、中国のサワヘビとは兄弟分ということもわかっています。これらをラムサール条約等を結びつけることによって中国との取引が活性化され、ひいては久米島が中国やアジアの長期滞在型の保養地と久米島特産物の使者にもなるものだろうというふうに信じております。

とにかく自然を回復させる。これが長期滞在型の保養地となるということで、ぜひ考えていただきたい。こういうふうに思っております。

後は町長が言われた近自然工法というもの

をブログで出させてもらいました。素晴らしいことは書いてありますが、ただそこを施行するためには、地域の特に年寄りの方々に昔どうだったかということの説明をいただきながら対応すべきだなどというふうに考えておりますが、最後に町長この件に関して。これは前に言った統括ですよ。

○ 議長 山里昌輝

休憩します。(午前 11時49分)

○ 議長 山里昌輝

再開します。(午前 11時50分)

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

政策の中にもありますとおり、自然を守るということは、これからもやっていきたいと思っております。また私自身他の離島市町村よりも我々の久米島というのは自然に恵まれていると思っております。感じております。それをいろいろ生かして先ほどいいました観光とかそういうものに生かしていきたいと思っております。これからは勿論ラムサール条約に登録したのも自然を守るために登録したので、日本の里百選この佇まいをなんとか将来の子どもや孫たちに引き継ぐために、そういうのを登録したのであって、ぜひそういうのをご理解いただきたいと思っております。

(宇江原総清議員降壇)

○ 議長 山里昌輝

これで4番宇江原総清議員の一般質問を終わります。

休憩します。(午前 11時51分)

○ 議長 山里昌輝

再開します。(午後 1時28分)

8番幸地良雄議員。

(幸地良雄議員登壇)

○ 8番 幸地良雄議員

8番幸地良雄です。私の方から一点ばかり質問いたします。久米島紬の振興について、去った2月5日、6日に久米島紬特別企画展において「久米島紬未来への想い」というタイトルで久米島紬の新作絵図並びに新作着物発表が行われ内容が素晴らしくたいへん感動いたしました。今まで久米島紬の図柄は幾つかの絵図を組み合わせ、それをワンパターンで織っているものだと思っていましたが、伝統的染め織物として素晴らしさに理解をしているつもりだったが、しかし今回の新作発表、特に新作紬ファッションショーを見て久米島紬の素晴らしさを改めて再認識させられた思いである。

そしてこれを契機に久米島紬を益々振興発展させるということで、町長は2月6日を「久米島紬の日」として制定すると宣言した。

以上のことから、次の3点について伺いたい。

1点、久米島紬の生産拡大及び販売促進はどう図っていくか。

2点目に2月6日の「久米島紬の日」をどうに定着させていくか。

3点目、現在実施している織子養成修了者の定着状況はどうなっているか。お伺いいたします。

○ 議長 山里昌輝

平良朝幸町長。

(平良朝幸町長登壇)

○ 町長 平良朝幸

8番幸地良雄議員の質問にお答えいたします。久米島紬事業共同組合と連携し、次の事について推進してまいります。

久米島紬の生産拡大及び販路推進について

は、取引先との連携強化と新たな取引先の開拓、島民や郷友会を含む県内消費者への販売促進、現在のニーズに応える商品製作等を推進します。

「久米島紬の日」の定着については愛用運動の記念日として愛用する事業等を開催し定着を図ります。

織子養成修了者の定着状況は70パーセント程度で今後とも織子養成事業を支援してまいります。

○ 議長 山里昌輝

8番幸地良雄議員。

○ 8番 幸地良雄議員

再質問します。生産拡大及び販売促進については取引先の連携強化と新たな取引先の開拓をしていくことであれば、どのようにして取引先と連携し取引先の開拓をしていくのか。具体的な計画もしくは構想がありましたらお願いします。

○ 議長 山里昌輝

平田光一商工観光課長。

○ 商工観光課長 平田光一

具体的なものについては、紬組合を中心として進めていきますが、現在においてもこれまでの取引業者の他にも、その紬を販売している問屋とかそこについても取引を始めているところです。それから今回事業で島内でファッションショーも行いましたが、その事業23年度も継続ということで、それから帯への紬生産活用とか、それから計画として東京でのファッションショーも含めて問屋とも連携して各問屋も、そこへ招聘をしたりして、その問屋と一緒にして拡大を図っていこうということで今計画をしているところです。

○ 議長 山里昌輝

8番幸地良雄議員。

○ 8番 幸地良雄議員

販路拡大、キャンペーン等あたりでやっているんですが、やはりこういった事業のある時は問屋さんも呼んで一緒にした方が良かったんじゃないかなと思います。去った2月5日、6日の特別展においては、冒頭おっしゃるとおり大好評ではあったが、特に新作着物ファッションショーを見て久米島紬についていろいろ変わったんじやにいかと思います。みんな同じことを言って感激していたところでした。

特に久米島の図柄の良さは勿論、着けたファッションのモデルさんたち、演出、すばらしくプロ並だととても好評でありました。私も大変感心しました。ところがですね、肝心な問屋さんがあるようではなかったんですね。いたか、私はよくわかりませんが、私はいるような状況ではなかったわけです。何かあって招待しなかったのか、わかりませんが、こういった素晴らしい物については、やはり品物を売ってくれる人を、商品造ってくれる人とのふれあい、そして織っている人が自分の作品を誇りを持ち自信を持って発表している。ああいう姿を肌で感じさせることで織る人の気持ちになって、もっともったいい値段で売ってあげようかという心情を誘うのではないのでしょうか。

消費地に行って推進キャンペーンもするのも良いのですが、売ってあげる人に産地に呼んでこういった行事の場で触れ合いを持たせるのも大切だと思います。今後もこれからやっていくということですが、今回呼ばなかった理由があったのかお聞きします。

○ 議長 山里昌輝

平田光一商工観光課長。

○ 商工観光課長 平田光一

今回の提示、自然文化センターの展示会とか、それからファッションショーにおいても問屋の皆さんにも招待はして呼んでではありません。そして4、5社ぐらいいは見えて、そしてファッションショーの時にもちゃんとした席を作って、そこで参加してもらいました。

そしてシンポジウム、フォーラムにも参加をして、そこでもお話をしてもらってご意見を伺ったりもしております。そのようによりそういう機会を問屋も一緒にしての機会がとても大事ですので島でもしかり、また島外に持って行ってもしかり連携を取っていきたいと思っています。

○ 議長 山里昌輝

8番幸地良雄議員。

○ 8番 幸地良雄議員

私は、交流会は参加しましたが、問屋らしい方がいなかったものだから、いたと思ったら行って話をしよったんですが、残念ながらそれをする事ができませんでした。

次に島民や郷友会を含む県消費者への賛同促進ニーズに応える新作柄の推進をしていくということも大事ではありますが、やはりそこで県内消費はまず島に住んでいる人たち、お互いから着用してもらい。その良さをアピールすることによって外への販路拡大されていくのではないのでしょうか。県内産愛用ということで沖縄県でも毎年県産品愛用月間とか、大きく取り上げ利用促進、各市町村回りしてやっているわけです。特に皆さんと関わりのある「かりゆしウェア」ですかそれを県民あげて着用、推進していくため、現在では、かりゆしウェアを着用していない県民はほと

んどいないというほどですよね。県知事は夏冬関係なく、かりゆしウェア着けていますが、冬はどうかと思います。今では全国的に普及し、国会でも大臣あたりが着けるような状態になっているわけです。

久米島紬もまず地元から着用するということが大事だと思います。まずはじめに私たち自ら着用しなければならぬと思います。私がかつて役場にいたとき商工観光係を担当しておりまして、その当時は久米島紬の生産量は確かな数字はわかりませんが、約3千反ぐらいあったと覚えています。そのときも製品がだいぶだぶついて大変でした。そこで消費拡大ということで、今述べたような発想で、販路促進は自ら着用することが大事だということで、経済課内で話し合い、役場職員から着用し消費拡大は図るべきではないかと当時の村長に進言しまして役場職員ほとんど作っていました。勿論、議員の方々も、みんなジャケットや着物をほとんど作っていました。

そして新年、懇親会にはみんな着物持っている人は着物着けてジャケット持っている人はジャケット着けましょうと、ということでほとんど実行してありました。そのなごりが現在新年会で婦人会や町三役あるいは議員の何名か着けておりますが、最近では非常に減ってまいりまして寂しい思いがします。そういうことでやはり身近なところから、まず着けていって、外部に発信していくというのが大事じゃないかなと思います。その当時の役場職員で現在の管理職になっている皆さん、みんな持っていますよね、ジャケットとか、みなさん持っていますよ。着けないだけのことであって、今は紬のかりゆしウェアも作れ

るし、ジャケットより簡単で、簡単というのは安く手に入れられるし、誰もができるということで、ぜひ着物じゃなくても、ジャケットでなくても、かりゆしウェアを着けるように、やればあの当時のブームに戻ると思いません。やはり島の人から着けることによって、ああ上等だな、それを着けて那覇に行く、郷友会にも繋がっていくと思うんですよね。ぜひそういったかたちでやらないと、いきなり、はい、上等ですよといったって、売る人が着けなければ島の人たちが着けなければ、その良さはわかりません。そういうふうにするべきではないかと思いますが、どう思いますか。

○ 議長 山里昌輝

平田光一商工観光課長。

○ 商工観光課長 平田光一

いろいろな産業振興もしかり、いろいろなものを観光もそうなんです。島の人たちがいくらかそれを認識して好きになって、そしてみんなに広げていくかということが本当の基本だと思います。そういうことも含めて、いきなり島の人たちに、はい着けなさい、何々しなさいといっても、それは直ぐにできるような話ではなく、そういうような啓蒙も含めて好きになってもらうということも含めて、今回久米島紬の日というものを制定してイベントを開催するなり、またあらゆるときにそれを奨励していくの努力をしていこうと雰囲気づくりをしていくということで、紬の日の制定にもなっています。そういうことも含めてみんなが着けると、着きたいと、そして宣伝したいと、というような気持ちになるように、紬組合も含めて関係者も含めて取組をしていきたいと思えます。

○ 議長 山里昌輝

8番幸地良雄議員。

○ 8番 幸地良雄議員

お互いが役場も含めて前にはできたんですよ、みんな作ったんです。そういう雰囲気づくりをしていけば、やってみたいな、というような気持ちになると思うんです。その件についてですね、紬組合の理事長に話したら、皆さんがそういう気持ちになれば、我々も答えてあげますよということで、紬もある程度安く縫製するのも安くしてあげますよということもいっておりましたので、ぜひ、みんなで話し合いして、強制すると逆に反発きますからね。みんな久米島の地域振興のために活性化のためにやりましょうということで、ぜひ進めて欲しいと思います。それがお互い紬の消費拡大、販路促進に繋がると思いますので、がんばってください。

紬の日の設定、これは行事も含めるということですが、単なる1カ年の2月6日だけになるとちょっと忘れた時またやってきたということになります、そうじゃないように、やはり6日という数字にちなんで1カ月に1回とかあるいは多くすると6という数字の日に紬を着ましよう。久米島紬の日は2月6日に決まっているわけですから、そういった6にちなんで位置づけていくのも大事じゃないかなと思います。

かつてハワイのアロハシャツ、私、今から45年前ハワイの農業研修で6カ月間いました。そのときにはアロハフライデーということで毎週金曜日は必ずアロハシャツを着けます。ということでそうとう定着していたんです。女性の方はムームですか、寝間着みたいな。銀行マンでさえ着けてやっていたんですが、あれも最初は抵抗があったそうですよ。

私が行った時分からは定着してあたり前の状況になっているんですが、やっぱりかたちで、何かの日を、紬の日だけじゃなくして、何か位置づけてやれば、着けやすく何も抵抗感もなくなって、あたり前だというふうになってくると思うんです。

そういうかたちでやれば、紬の日というものも定着し、またあたり前だとみんなでやるべきだと、意識が芽生えてくると思いますが、その点については、どう思いますか。

○ 議長 山里昌輝

平田光一商工観光課長。

○ 商工観光課長 平田光一

何かを一つの手がかりとして、みんながそれを考える機会とか、それに取り組む機会とかというものは、ぜひ必要だと思います。

今、議員からおっしゃったようなこともまた紬組合にも報告をして、そういう定期的に取り組む、また年間どうして取り組むということもできないかというようなことも、一緒になって考えていきたいと思います。

○ 議長 山里昌輝

8番幸地良雄議員。

○ 8番 幸地良雄議員

考えていくとか、検討しますということじゃなくして、もう即、紬の振興ということでやってきているわけですから、継続的にやるということで早く協議して、どうしましようということを決めて欲しいと思います。

次に織子養成の定着状況は、70パーセントということですが、定員が10名とっているみたいですが、今は非常に少なくなっているそうですね。3、4名しかいないところではありますが、募集して強制してこれもできるものでもありませんし、常に考

えているのは久米島高校が今園芸科が廃止されるんじゃないかと心配される中で今年も40名の定員のうち19名しか定まっていないと追加募集を出しているのだが4名しかこないという状況のようです。いずれはこれも大きな問題となります。前にもお話ししましたが、園芸科を総合科にして工芸関係の染織科ですか。そういったかたちで組み入れ、学習においては学校で行い、実技においては現在の紬組合が実施している、織子養成事業と連携させていくかたちでいけば、希望者も増えていくのではないかと。更に織子養成事業もレベルアップすると思います。

今首里高校に染織科といるのがあってすよ。首里高校の染織科というのは、ほとんど紅型の物で、染めといっても絵の中に色を塗っていくようなもので、図画みたいな格好になるんですが、使う原材料でも化学染料とか使っています。久米島の草木染めというかたちでやっている。非常に本島あたりで興味を持っている人たくさんいるようです。久米島だけの生徒さんだけを募集するのではなくて久米島には紬の染織科もありますということであれば、本島からもそういう趣味のある子たちが来るんじゃないかと思うんですよ。

そうすることによって高校の園芸科もある程度増えてくるんじゃないかなと、増えていけば自然に人口も増えていきます。久米島紬の実習課程に入って、生産拡大を図っていくことも考えられるんだがそういった話し合いあるいは検討されたことがあるのかどうかをお伺いします。

○ 議長 山里昌輝

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

これまで久米島高校考える会という組織を久米島高校の方でやりまして、何回か意見交換会をしております。その中で今議員が指摘されたようにいろいろ久米島高校の園芸科の件もありますので、そういったかたちでの紬関係そして深層水の活用したバイオ関係、諸々のそういった総合学科もできないかという話も意見としてございます。これにつきましては、まだ意見交換の中でございますので、これからどういったかたちで進んでいくのか、また来週の17日にも久米島高校考える会がございまして、今の議員のお話も意見としてその場で提言したいと思います。

○ 議長 山里昌輝

平田光一商工観光課長。

○ 商工観光課長 平田光一

後継者育成事業で人数の件がありました。例年6名程の育成事業で行っております。20年度までは6名以上の10名近い方たちが応募している。6名という育成事業ですが、21年度だけが3名という状況でした。

○ 議長 山里昌輝

8番幸地良雄議員。

○ 8番 幸地良雄議員

今教育長が答えられた件ですね。ぜひ、これは検討の中に入れて、実現させて欲しいと思います。ということは、紬学習は学校で課程させながら染め織りの実習というのはなかなか学校ではできないと思うんですよ。そういった実習については紬組合にはありますからそういう方向に向けてやろうと思えば直ぐできるわけですね。即できるものについては早く実行すべきだと思います。学校の園芸部の廃止というのは目に見えている状況です。廃止ということではなくて、身近な問題

となっているわけですから、ぜひ頑張って欲しいと思います。

それと紬の染料の材料、ティカチは私が役場担当をしているときに造林をしております。島尻の方に、ティカチの樹種についても県の林務課行ったら笑われましてね、ティカチが何の林業の材料になるかということと言われましたが、いや、これは久米島紬の染料の材料ですからということで、これは林業に該当しないということにはならないと強く反発してきましたが、しかし、造林の名目の事業が経済林造成なんです。これは大きな久米島の経済に関わる問題だから、ぜひ造林樹種に入れてくれといったらオッケーもらったんですよ。

だから久米島だけが、沖縄県の林業の中で造林樹種に入っています。どこの市町村もないです。そういうことでお互いが道を示していけば県の方でも入れてくるわけです。採用されるわけです。今度はグール（サルトリイバラ）、これについても村からこれはいくらお願いしても木でもない、山にも植えられるものでもないとだめということで、断られました。私は諦めないで今の苗畑に生産者が染料をとったあとの根だけを集めて植えてありました。うまい具合に生えていましたが、私が消防行っている間に無くなってしまいました。担当が替わればそんなものかなと非常に悲しい思いをしましたが、やはりこれも実際栽培も可能なんです。造林はなりませんということですので、植栽、これはできるはずですから、やっておかないとこれから継続していくのか、あるいは原料がなければまた大変な問題が生じてくるわけです。あるうちにやっぱり行政は将来に向けて造成しておかな

いといけないと思います。さっき言ったティカチの造林についても、ただむちゃくちゃに取らすのではなくて、区切ってそれは採集していけない地域と区分してやらなくちゃ、また若いうちから取られてもせつかく植えた物がなくなってしまうということになりますので、グール（サルトリイバラ）、ついても早めに計画してやっておかないと、無くなってからは遅いです。

これは30年以上たたないと染料になる芋はついてこないですから、ぜひそういう、植林、植栽をやってはどうかと思いますが、どなたか答弁をお願いします。

○ 議長 山里昌輝

田端智環境保全課長。

○ 環境保全課長 田端智

今、話のありましたシャリンバイについては、毎年苗も購入したり、また今年も種を採取しまして一応準備はしております。

ただ、おっしゃる、グールですか、それについては、整備計画もされておきませんので今後の検討課題にして、増やせる方向で進めていきたいと思っています。

○ 議長 山里昌輝

8番幸地良雄議員。

○ 8番 幸地良雄議員

また検討という言葉が出ましたが、即ですね、計画してやってください。あるうちにやって、無くなってからは、また紬途絶えますよ。あるうちに計画されて実行するよう提言含めて私の質問を終わります。

(幸地良雄議員降壇)

○ 議長 山里昌輝

これで8番幸地良雄議員の一般質問を終わります。



13番平良義徳議員。

(平良義徳議員登壇)

○ 13番 平良義徳議員

13番の平良です。1点だけ質問します。観光産業の現状について、全国的な不況で本町でも観光は低迷にあり、他の産業にも大きな影響が及んでいる。これまでの観光から目的型観光に変わっているなか、当町ではいろいろな観光メニューに取り組んでいるが、それぞれの実績を具体的に示して欲しい。

また、これからの取り組み等について伺いたい。

○ 議長 山里昌輝

平良朝幸町長。

(平良朝幸町長登壇)

○ 町長 平良朝幸

13番平良義徳議員の質問にお答えいたします。観光産業の現状について、20年度の実績での観光入域者数は96,384名で前年度より2,152名増となっております。その中で目的型観光で数字に挙げられるものとしては、重複はありますが、次のとおりです。修学旅行2,748名、島の学校6,013名、食物アレルギー214名、久米島マラソン1,184名、ウォーキング318名、バーデハウス30,608名、キャンプ場930名、紬体験7,994名です。

またスポーツキャンプや少年野球スポーツ大会等でも数千人の入域があります。今後も目的型観光に力を入れ、新たな高齢者対応型観光や島の魅力ある素材や資源を活かした観光商品づくり、イベント開催を推進してまいりたいと思います。

(平良朝幸町長降壇)

○ 議長 山里昌輝

13番平良義徳議員。

○ 13番 平良義徳議員

観光客の来客シーズンは6月頃から7、8、9頃までの夏に集中しています。それ以外の月の観光誘致が課題となっているわけですが、現在観光シーズンさえ世界的不況、それから新型インフルエンザ等で低迷しているのが現状です。

町長に伺います。今年1月6日に久米島観光危機突破決起大会がありました。町長はその中で次のことを提言しています。1つ島事態に魅力はあるが、住民は知っていないのではないか。また受け入れに不備があるのではないか。2つ我々個人ができることがあるはずだと、3つエージェント任せになっていないか。4つお客を迎える態勢が必要だといっていますが、それがどういうことなのか説明願います。これからの提言については実際、地域でやっています。

○ 議長 山里昌輝

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

まず、久米島は非常に外部から見れば観光素材がいっぱいあるということを知っています。その一例が日本の里百選のツアーで観光となっているのは真謝の路地のフクギ並木を歩いて機を織っている、機の音を聞いて、それからラムサール条約の湿地を見て、それが観光のコースに入っているということです。そういうことから見れば、もしかすると私たちは島の良さというのは、あまり知らないんじゃないかということで提言をしました。それから受け入れについては、実際観光のニーズで島がどういった受け入れ態勢で欲しいかというのもこれも我々は分析しなければいけないんじゃないかということで、

つまりどういうことかといいますと、島に来る人たちは島に住んでいる人たちの交流を求めているということもございます。そういう意味で、その交流の場がなかなかないということ。

もう一つは、以前にも私言ったことがございますが、以前に、別府温泉に行って感動したのは、そこで道路工事で交通整理をしている若いお兄さんが、道を聞いても懇切丁寧に教えて、自分たちの別府の町を宣伝している。非常に良さをアピールしているということ、そして売店の年を取ったおばさんでも、物を売りながらやっぱり、あそこにいた方が良い、こっちに行った方が良い。そういう部分全体ひっくるめて、こういう提言になったんですが、我々島に住んでいる人たちが受け入れについて、もうちょっと考える必要があるのではないかというふうに感じました。ということです。

○ 議長 山里昌輝

13番平良義徳議員。

○ 13番 平良義徳議員

島の学校の実績を掲げてみます。事務局は2人ですが、メディア等を活用して今後の方向性を有しています。平成20年度には延べ6,013人それから金額にして2千万円の売り上げがあります。その中の40パーセントが島に還元されている。それから佐賀県大阪、兵庫、千葉県各県から目的観光として来ています。彼らは民宿またはホテルに宿泊して2泊3日の間で、いろいろな島の体験をします。マリン、歴史散策、貝細工、お菓子作り、ヤチムン、浮き球作り、ウッドクラフト、三味線等々更には彼らを受け入れている家庭ですね。今約15家庭ぐらいが有償ボランティアといい

ますか、そういうかたちで受け入れております。家庭に5名から8名ぐらい程度を対応しています。普段の生活、農業の手伝いとか、その家庭によっては、異なった体験をさせていると思いますが、私もその一人であります。

家庭での島料理とか作って食べたり交流体験をして、これはシーズンオフの3月、10月、11月、12月にしています。ニュアンスは違いますが、私が思うには、島の魅力とはこういった素材を島にある物を彼らに体験させてやるという。そして受け入れ態勢というのは、真心をもって彼らを受け入れて家庭でいろいろな体験をさせて都会にないものを体験させるとそういうことです。

○ 議長 山里昌輝

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

先ほど久米島の自然環境を例に取って、たまたまいを例にとって申し上げましたが、目的型観光で島の学校を中心にした体験滞在というもの、これは私たちは重点をおいて進めている部分でございます。

確かに平良議員がおっしゃった各家庭に行って、その地域の生活を体験するというのも非常に大事です。勿論その地域に住んでいる人たちとの交流、物の考え方、その食材を味わうということも、これも観光の一つとして体験滞在型の観光に必要なものだろうと思っております。

今は島の学校の中では非常に面白いものはガラス玉、浮き球を編む、それだけが商品になっているという部分もあって我々は島の中にあるあらゆる物が観光の商品として売り出せる部分がいっぱいあるんじゃないかなというふうに考えております。

○ 議長 山里昌輝

13番平良義徳議員。

○ 13番 平良義徳議員

私、前々から思うんですが、島の先輩方ですね。いろんな工芸品、手が器用で人材発掘ですか、ぜひこういった事業をやってもらいたいと思います。今浮き球づくりは、ある人が教えたり、三味線とか、貝細工もやっていますね。こういったものを特技を持っている人たちをみんな発掘して、こういった事業もぜひやってもらいたいと思います。

子どもたちが帰ってから都会に無いものを体験しましたとか、パパヤー料理おいしかったとか、また来ますとか、こういった報告があります。そのへん私は理想的な体験型旅行だと評価をしています。

次に、アレルギー対応型観光ですね。それからケアサポーターを今養成して実施している高齢者、障害者の対応型観光もスタートして実績もまだ上がっていないのに観光協会ではリゾートウエディングの準備に取りかかっているということですが、他のまねをする前に、現在実施している、メニューを大事に地域住民の声を聞きながら、そうすれば良い知恵も浮かんでくると思います。誠意をもっただけだかと思いたいと思います。その辺どういふふうに考えていますか。

○ 議長 山里昌輝

平田光一商工観光課長。

○ 商工観光課長 平田光一

今、目的型観光、久米島でしかできないということの取り組みとして代表的なものが、アレルギー対応のもので商品化もされていて、それからエージェントにも、その商品として取り上げられるように、徐々に進んでお

ります。実績としても、そんなに急に増えるわけではありませんが、100名余りの皆さんが訪れております。

それからその後に高齢者対応型ということでこれの対応もして観光ケア、サポーターの育成とか、その活用とか、それに組み込んで、そして次年度においては、その商品化を目指していこうということで取り組んでおります。

これを終えてということではなくて、関連するものも続けながら、そして沖縄全体でいま好評であるような、例えばリゾートウエディングとか、エコツーリズムとか、そういうものとかについても久米島において、そういうものが可能なのかということの調査とか、取り組みができるのかということでの検討を進めている状況であります。

○ 議長 山里昌輝

13番平良義徳議員。

○ 13番 平良義徳議員

以前は、障害者の皆さんも社協を通じて、こっちの方で対応してやっていたんです。その辺から考えれば必ずしもケアサポーター、新しいメニューかもしれませんが、社協あたりも提携して、やってもらいたいと思います。

それから町長は前々から花で活性化、花いっぱい運動と言っていました、そろそろ真剣に久米島の花のヒット商品を作る観光を目指してやって整地してもらいたいと思います。前回は同僚議員の方がサクラ並木、アーラ林道の一般質問でしていましたね。それからある県議の方の話も聞きましたが、素晴らしいサクラ並木だとなんでどんどん活用しないかと、那覇の旅行社あたりで協力してやってあげますよという話もありました。それから

今日の新聞にも載っていますが、久米サクラ本部町で咲いています。

それから楽天が来る時、ちょうど満開しますよね、そのへんとかセットしてツアー旅行とか組んで、それだけ注目されているアール林道のサクラですので来年度から、ぜひ取り組んで早くイベントをやってもらいたいと約束できますか。

○ 議長 山里昌輝

平田光一商工観光課長。

○ 商工観光課長 平田光一

高齢者対応のものについては、その協議会に社協も一緒にスタッフとして入っているいろんな面で一緒に取り組んでいるところです。

それからサクラ並木のサクラ祭りの件ですが、今度花が落ちてからの時期ではありましたが、2月20日でしたか、そこで来年の祭りを想定して、来年に向けてということで今回実施を2日間ほど、現場の方でサクラ育成という名前を付けて、みんなで育てながらということも兼ねて祭りをいたしました。

それで並木に提灯も150mほど、両サイドに点灯して非常に良い雰囲気な状況がありました。それで実証試験ということで、位置づけをして観光協会のスタッフを中心として、関係者が協力しあってやって、これはすごいものができるなということ、みんなで確信をしたところであります。

次年度については、それを楽天のキャンプ中にマスコミも沢山みえておりますので、そういう時期に、サクラ祭りというものを実現して、マスコミとかエージェントとか、その時期にサクラ祭りに、皆さんが訪れるようにというような仕掛けをしていこうと今計画をしているところです。

○ 議長 山里昌輝

13番平良義徳議員。

○ 13番 平良義徳議員

その話は聞きました。これをサクラが散ってからやっても意味がないんですよ。サクラが咲いているときにやらないと、その話は前にある人から聞いたんですが、サクラ散ってからこういうことをやるんだらうと、サクラ咲いているときキビで忙しい、農家もみんな忙しいんですが、サクラが咲いているときこういった試験的なイベントやってもらって町民にピーアールすると、そういうかたち今から作っていただきたいと思います。来年度から本格的に実施するわけですね。

○ 議長 山里昌輝

平田光一商工観光課長。

○ 商工観光課長 平田光一

今回については、来年に備えてということもありまして、散っているけど、試験的なものどうしようかなということもありましたが、しかしどのぐらいの準備が必要なのかということも含めて、試験するために散ってはいましたが試験的なものとしてやりました。それで来年については、ぜひそれを実施していこうということで今計画をしているところです。

○ 議長 山里昌輝

13番平良義徳議員。

○ 13番 平良義徳議員

そんなに僕は予算はかからないと思うんですよ。あえて道を造るとかじゃなくて車を降りて歩いてサクラを楽しむとか。そういったことで予算はそんなにかからないと思います。それは一応終わります。

最後に、新聞にも載っていましたが大東島

が昔キビ運搬やっている蒸気機関車、シュガーレインですか。これを新しく活用して村おこしをしようとしています。近隣離島でもこういった島にある素材を活用して観光を誘致していると、みんな一生懸命頑張っていますので久米島もやはり、真似をするのではなく、島にあるものを活用して観光を計画作っていくと、そういうのをぜひやってもらいたいと思います。

(平良義徳議員降壇)

○ 議長 山里昌輝

13番平良義徳議員の一般質問を終わります。

次に1番崎村正明議員。

(崎村正明議員登壇)

○ 1番 崎村正明議員

1番崎村正明です。2点ほどご質問いたします。1点目、サトウキビの運搬について今期の製糖は前半に雨が多く、ほ場にトラクターが入れないため搬出できなかつたり準備はできているが農道の崩壊とトラックが入らないため、運搬ができないのが何件かあったが生産農家の立場になって行政として何か対策はできないか。

次の2点について伺いたい。1、前の議会で同僚議員の一般質問に対しての答弁によると、クレーン廃止になったが再度導入できないか。2、各地域の農道整備を早急にできないか。

2点目ですね。PTA活動について、最近、地域、先生、親との情報交換が少なく学校現場の状況があまり把握できない。各種行事終了後の反省会等のあり方について伺いたい。

○ 議長 山里昌輝

平良朝幸町長。

(平良朝幸町長登壇)

○ 町長 平良朝幸

一番崎村正明議員の質問にお答えいたします。サトウキビ運搬について、クレーン車の件については前回答弁したとおり法律的な問題がありますので、再導入は考えておりません。

今製糖操業期間は、雨天続きにより農道の決壊が随所に見られ農家の皆様においてはサトウキビ搬出時に大変苦勞されていると聞いております。行政としては農家及び地域から対策要求については即時対応はしていますが、簡易的な補修だけであります。本格的な整備となると町単独予算では厳しいため国及び県の補助事業に頼るしかありません。今後現場を十分調査し補助事業導入による整備に向けて鋭意努力いたします。

(平良朝幸町長降壇)

○ 議長 山里昌輝

比嘉隆教育長。

(比嘉隆教育長登壇)

○ 教育長 比嘉隆

PTA活動についてお答え申し上げます。各学校意見交換会の持ち方は学校長・教頭及びPTA役員が中心となり、各保護者や地域を巻き込んで情報交換会を行って欲しいと考えます。

(比嘉隆教育長降壇)

○ 議長 山里昌輝

1番崎村正明議員。

○ 1番 崎村正明議員

クレーンの件についてなんです、今までのクレーンの件で先輩議員の質問の答弁内容によりますと、平成20年第8回定例会の12月議会ですが、町長の答弁、「町としては今

後とも搬出方法について製糖工場、農協と一緒にあって対応策を検討していきたい」という答弁を行った。平成21年第3回定例会6月議会で農水課長は「昨年からの問題については、ずっと議論した。結果として開発組合でやった場合でも製糖工場が協力できない。その後JAでできるか、ということでJA本部と調整してやる方向で進めていたんですが、その中でもやはり製糖工場が協力できないとJAとしても対応できないため、最終的にはクレーンについては、廃止をしせざるを得ないという結果まできております。これまで進めた経緯からやっぱりモデルになる製糖工場が協力して初めてこれは運営として成り立つということですので、結果としてそういうことになりました」という答弁がありました。

平成21年9月の決算において、農水課長は、「町としては継続したいけど、2月の時点から予算を組んでやろうということをやったんですが、組合長の方から、これには協力できない、金を出さないということがあって、なんとか5月の理事会でも確認し、8月だったか、どうしても協力は得られないということで、廃止ということになった」との答弁がありました。同じく農水課長です。「組合からの中で考え方、改めて協力するのであれば、もう一度、理事会に上げて検討しますかということで投げたんですが、向こうから返事次第で廃止になるか、継続検討するかということで今の状態です」との答弁がありました。それで今回の答弁、答弁内容によりますと「クレーンの件については前回、同様に法律的な問題があり再導入はできない」ということで答弁いただきました。いままでの答

弁内容によると製糖工場が協力しないからできないということですよ。

実際の真実を知りたいんです。町長。実際は久米島農業開発の理事会で決定したことではないのか。理事長は町長ですか。理事長にコメントをお願いします。

○ 議長 山里昌輝

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

クレーン車についてはこれまでに答弁したとおりですが、協力できない理由については、製糖工場とJAと役場3者で初めて協力してクレーン車は運用できるということで、開発組合も理事も関係者が入っております。その中で製糖工場から言われたのは、法律の問題があるから協力できないということでした。ということでご理解いただきたいというふうに思います。

○ 議長 山里昌輝

1 番崎村正明議員。

○ 1 番 崎村正明議員

町長、私が言いたいことは、そういうことではないです。どこで決めたか。理事会ですよ。議事録もちゃんとここに残っているんですよ。

○ 議長 山里昌輝

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

久米島農業開発組合で決定しました。

○ 議長 山里昌輝

1 番崎浜正明議員。

○ 1 番 崎浜正明議員

最後に農林水産課長、一言コメントをお願いします。

○ 議長 山里昌輝

平良朝幸農林水産課長。

○ 農林水産課長 平良朝幸

経過としては今述べていたとおりであります。理事会で決定されております。その決定されているいろいろと話を進めて行く中でそういった意見とかそういったものが議論されてきての経過をたどって、議会の中でもそういう答弁をしたということであります。

○ 議長 山里昌輝

1 番崎村正明議員。

○ 1 番 崎村正明議員

その件については、これで終了させていただきます。

続きまして、農道整備について私の一般質問通告に対して事前に調査したことがあるのか答弁をお願いします。

○ 議長 山里昌輝

盛本實建設課長。

○ 建設課長 盛本實

調査といいますと道が通れなくなった以前の調査ということなのか、いずれも道路事情に関しては我々の方でやっているのだから、道路の維持管理に対してはいろいろと調査をやっています。

○ 議長 山里昌輝

1 番崎村正明議員。

○ 1 番 崎村正明議員

課長、一般質問通告を出したらちゃんと調査すべきじゃないですか。何処がどうなっているかということを中心に私の質問を安易に考えている、見下げてものを考えているんですか。生産農家とトラック運転手の要請について私なりに調査いたしました。運搬はできるが雨天時の場合スリップ等により、かなり危険な農道が儀間地区に10カ所以上あります。

嘉手苅地区にも10カ所以上。雨天の場合は運転できない農道もありました。

上記に関しては、農道から私の横断側溝、例えばグレーチング側溝が無いために本来なら農道から私道に雨水が流れ、浸食されている私道が結構あるんですよ。これを調査するときには、どしゃ降りの時にカップ履いて雨靴履いてそれぐらい徹底しないとだめですよ。

軟弱地盤及び雨水の流出により、法面が崩壊し運搬できなかった農道もあります。アーラ浜から行く途中、アーラ林道へ通り抜けする農道ご存じですか、課長。再三一般質問しておりますが、わかると思います。この農道の件は平成21年第3回定例会6月議会、先輩議員の一般質問での答弁内容によりますと、建設課長は「農道そのものは農地の中に入っている。農道のため農業整備の補助事業をいろいろ県、国ともに調査していましたが、農道整備にしろ、要はそこにくら農地があるか。費用対効果を出し、その農道に関して受益面積がなかなか見いだせないため農業事業が難しい」との答弁やりましたね。「合併前に旧仲里時代に何度か県に申請し合併から正式な申請はしていないが事務的レベルに国の職員と県職員を現地に案内して、いろいろ調整したが、その中で出たのが費用対効果ということで難しい」今回、いいですか。よく聞いてください。「今後は普通の補助事業では無理があり、最近になって経済対策の交付金事業があり、それを含めて早急に整備できるという調整したい」との答弁があります。今回ですよ。答弁は「本格的な整備となると町の単独予算では厳しいため国及び県の補助事業に頼るしかありません。今後、現場を十分

に調査し補助事業どおりに整備に向けて鋭意努力いたします」との答弁をいただきました。では課長。そこにいくらの農地があるか、費用対効果、経済効果を出すということですが、調査したのか。答えてください。

○ 議長 山里昌輝

盛本實建設課長。

○ 建設課長 盛本實

全般的なことなんですが、基本的は補助事業を導入するためには道路に張り付いている農地、受益面積が基本となります。今言っておられる道路もこれは昨日、今日始まったものではなくて、合併以前から旧仲里村の方で要請をしてきて県、国との調整を図ってきた地区なんです。農地面積そのものはまだ把握はしておりませんが、把握というか現在資料をもっておりませんが基本的には合併以後に関しては、国、県含めて調整はした経緯はあります。その中でも受益が足りないということで費用対効果が見いだせないという分で補助事業は難しいということです。

もう一つ一番大きいのはこの道路に張り付いている個人の土地があります。個人の土地の所有権の移転がかなり難しい。相続が難しい。基本的に補助事業を入れるのであれば相続も含めて検討しないと、ただ単に工事を入れるのは難しいということも含めて、その道路の整備に関しては、現状としては難しいということです。

○ 議長 山里昌輝

1 番崎村正明議員。

○ 1 番 崎村正明議員

資料はあるんですね。

○ 議長 山里昌輝

休憩します。(午後 2 時32分)

○ 議長 山里昌輝

再開します。(午後 2 時32分)

1 番崎村正明議員。

○ 1 番 崎村正明議員

今、私なりに調査いたしました。あの近辺、面積2,624アール、予想トン数1,551、圃場件数138件、農家件数80件、経済波及効果1億3千万円あります。そういったこと本当に調査やらないから、そういうことになるんじゃないですか。やる気の問題ですよ、これは。

なぜ合併してから8年になるんですが、正式な申請をしなかったのか。

○ 議長 山里昌輝

盛本實建設課長。

○ 建設課長 盛本實

どういう計算の仕方、面積把握、そして農家数の把握したのかわかりませんが、基本はそこに道路というのは1本道じゃないんですね。いろんな所から道路網として張り付いているわけですね。そうすると1本に関する面積はいくらなのか。受益個数はいくらなのか、その一帯全てがその道路の受益としての環境ではないですね。それを含めての考え方の問題があるわけですから今、議員がおっしゃっているのは、どの程度の範囲で取られているのか。その中に道路1本なのか。含めてのことなのか、その把握の仕方はよくわからないのですが、農道というのはいくつかあって、それを分配していかないと1本の道路に対しての受益というのが計算は出てこない、それを含めての受益と投資効果の計算になるわけです。

○ 議長 山里昌輝

1 番崎村正明議員。

○ 1 番 崎村正明議員



課長これは言い訳にしか過ぎないんですよ、だからやるかやらないかです。調査をやるかやらないかお願いします。

○ 議長 山里昌輝

盛本實建設課長。

○ 建設課長 盛本實

これは、以前から調査というのはやっておられると思います。そういう話も聞いています。調査を含めてはやるつもりではあります。我々も現場行って現状を見てみるとかなり厳しい道路ではありますので、どうしても必要な道路であるという感じはしておりますが、先ほども言ったように、相続関係の問題もそこに含まれていますので、今後調査をしながら進めていきたいというふうに思います。

○ 議長 山里昌輝

1 番崎村正明議員。

○ 1 番 崎村正明議員

なぜ、合併して8年になるのに、正式な申請はしていないんですか。

○ 議長 山里昌輝

盛本實建設課長。

○ 建設課長 盛本實

正式な申請はしていないんですが、その時々において、県の職員を現場まで案内して、ということはしております。

○ 議長 山里昌輝

1 番崎村正明議員。

○ 1 番 崎村正明議員

これは県の何処の管轄ですか。

○ 議長 山里昌輝

休憩します。(午後 2時36分)

○ 議長 山里昌輝

再開します。(午後 2時36分)

盛本實建設課長。

○ 建設課長 盛本實

現在、町道でも農道でもない。道路認定されていない。基本的には農道としての取扱いになるだろうということなので農林関係になります。これまで要請しなかったというのは、いろんなところで優先順位とか、そういうものも勘案してのことで、それに該当する事業そのものが有るか、無いかの調査も必要だったのでそれでやってませんでした。

○ 議長 山里昌輝

1 番崎村正明議員。

○ 1 番 崎村正明議員

この事業では無理、経済対策の交付金があり整備するように、一生懸命努力するとしてたり、二転三転していますが、何ですか、これは。

○ 議長 山里昌輝

盛本實建設課長。

○ 建設課長 盛本實

ですから先ほど申し上げましたように、現場としては厳しい面があるので、その利用者にかんしては相当迷惑だろうと、もっと整備をして欲しいと気持ちがあるのであろうということから考えると、その道路というのは、整備をしなくちゃいけないという道路にはなるとは思うんですが、ただ補助事業という部分がかかなり厳しい、単費ではちょっと難しい面もあるということで、そのままの状況になっています。

○ 議長 山里昌輝

1 番崎村正明議員。

○ 1 番 崎村正明議員

この農道に関して本当に事前調査、縦断、測量をやったことがあるのか。法面が決壊したところわかりますね、その決壊した理由は

何ですか。もう一つその幅員、法幅、雨水はどうなっているか。

○ 議長 山里昌輝

盛本實建設課長。

○ 建設課長 盛本實

調査といっても目視の調査だけであって、測量をちゃんと入れた経緯はありません。

現場一帯そうなんです、道路そのものが決壊した理由というのは、今回の雨で決壊したわけですが、現状を見ても周囲の農地が道路ぎりぎりまで直切りしているという部分が見受けられるわけです。本来であればある程度法面勾配を持っていけば周囲の土地をやっつけていけばそういう意味では決壊はなかっただろうと、思われますが、その両サイドに関しては道路直切りをして地滑りが起こったんじゃないかというふうに考えられます。

○ 議長 山里昌輝

1 番崎村正明議員。

○ 1 番 崎村正明議員

本当に目視で確認したんですか。どういう状態ですか。下は間知が積まれているんですよ。なんで畑の主がやるんですか。考えてものを言わないと大変ですよ。幅員は2 m80cm、S Lで5 m以上、Hで4 m、大型トラックの幅はいくらですか。

○ 議長 山里昌輝

盛本實建設課長。

○ 建設課長 盛本實

大型トラックは2.5mぐらいかと思います。

○ 議長 山里昌輝

1 番崎村正明議員。

○ 1 番 崎村正明議員

両サイド側から20cmしかないんですよ。そしてダンプの重量というのはご存じですか。

空で10トン、荷を積んだらいくらになります。かなり危険な箇所ですよ。軟弱地盤や支持力低下により大型トラックの横転及び転落事故があった場合に誰が責任を取るんですか。町長、答弁願います。

○ 議長 山里昌輝

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

こういう道路が有った場合には、危険箇所として要求すべきだと、これは当然町の落ち度だというふうに思っています。

これについては、例えは行って通りながら地盤が崩れたりとか、あるいは崩れた物が有りながら通るとか、そういうものによって違うと思いますが、道路の管理が悪かったということで町の責任だとは思いますが。

○ 議長 山里昌輝

1 番崎村正明議員。

○ 1 番 崎村正明議員

町長は、その農道を視察したことがありますか。

○ 議長 山里昌輝

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

この件につきましては正直な話、今、聞いてわかっております。

○ 議長 山里昌輝

1 番崎村正明議員。

○ 1 番 崎村正明議員

最後に、久米島全体の県道、町道、農道、非常に過剰積算の数量、例えば車道が歩道より大きかったり、幅員が大きかったり歩行者がいなくてインターロッキングブロックを敷設したり維持管理もできないのに植樹帯を造ったり無駄が多すぎるんですよ。これ

は課長及び担当者のはっきり言ってコンサル任せだと私は思いますが。どう思いますか。

○ 議長 山里昌輝

盛本實建設課長。

○ 建設課長 盛本實

国、県の制度でその時期は時期なりの幅員構成という指導があったんで、コンサル任せとか、その時代には時代のやり方というのがあってそうなのであって、全てコンサル任せの道路設計にはなっていない。ただ現代に関しては国、県も歩道も植栽帯もいらないだろうという方向性はきているんですが、あの時点の整備の中では、それが妥当であったのかなというふうに思っています。

○ 議長 山里昌輝

1 番崎村正明議員。

○ 1 番 崎村正明議員

次に移らせていただきます。次はPTA活動について、今久米島教育委員会、町内は小・中学校に対しては校内飲酒の禁止を出してから学校行事後の懇親会は構内で実施できないために校外へ移すようになったが場所を移動することによって参加者が少なく、コミュニケーションがとれなくなったということをよく先生方や保護者から聞きます。

もっと学校現場や保護者の意見を聞き、再度見直しはできないか。

この校内飲酒の禁止は何時、何処で誰がどんな命令でしたか。そして施設管理者の校長の判断でやることはできなかったのか。

落成式や地域を巻き込んだ、創立記念とか、地域で執り行う行事等のときはどうするのか。

○ 議長 山里昌輝

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

確かにコミュニケーションが少ないということもございます。これは議員のご指摘のとおりなんです、これにつきましてはいろんな各学校の行事関係、例えば学校の草刈り作業そして運動会等の後に、これまでは学校内でそういったかたちでのコミュニケーションがあったということも聞いておりますが、その時までは学校内でビール、酒を一緒に交わしながらコミュニケーションをした経緯がございます。ただこれにつきましては、いろいろ沖縄県内の子どもたちの飲酒問題、そして久米島町の飲酒運転等もありまして19年に各学校の方に学校敷地内での飲酒は止めるようにということを校長の方にも伝えております。ただこれは学校の校長サイドにできないかというご指摘もあるわけなんです、これは学校の校長会の方でもいろいろ話した結果、これはぜひ教育委員会の方でまとめて、そういったことを統一してくれという要望がございました。

これは確かに学校の方に、学校の校長が現責任者、管理者となっておりますので、それは変えていいと思うんですが、それが万が一学校敷地内で飲酒をして事故があった場合に、どなたが責任を取るのか、PTA会長なのか、校長なのかその責任所在が問われます。あと一つは久米島町、これまでずっと飲酒撲滅について、それを町長始め各機関が、それをやってきたわけですが、まだ検挙されている事例もあります。

今、議員のご指摘のとおりコミュニケーションも大事なのですが、また、それを親が見本を見せて、子どもたちが飲酒問題についてもいろんな学習をしたいと思います。

現に沖縄本島においてもそういった子どもたちの夜間での飲酒多々みられます。これは沖縄全体の飲酒天国そういったこともあって今の子どもたちもあるわけなんです、久米島町においては、今後とも学校敷地内においての飲酒というのは、教育委員会は考えておりません。

○ 議長 山里昌輝

1 番崎村正明議員。

○ 1 番 崎村正明議員

落成式とか、地域を挙げた学校祝いの時にはどうされますか。

○ 議長 山里昌輝

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

これもケースバイケースということも一応ご理解お願いしたんですが、いろんな記念事業等もごございます。これにつきましては、やはり沖縄本島以外からの来賓客も、たくさん見えますので、一つはそういった場所を移しての交流というのはなかなか厳しいと思いますので、これは校長会の中においてはそういった記念事業、式典においては、これは飲酒は良いんじゃないんですかということはお話は申し上げております。

ただ通常の学校の草刈り作業、運動会、そしてPTAの会合の後についての飲酒はぜひ控えてくださいということを校長会としての統一見解を申し述べております。

○ 議長 山里昌輝

1 番崎村正明議員。

○ 1 番 崎村正明議員

管理者というのは校長になっているんですよ。管理者が責任を持つというのであれば、校内での飲酒というのはできるんですか、で

きないんですか。

○ 議長 山里昌輝

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

先ほど申し上げましたとおり、管理者は校長なんです、この校長会の意思確認としまして教育委員会の方でそれをぜひ線引きをしてくれという要望がございました。これは沖縄県各市町村ともそうでありまして、沖縄県全体もそういったかたちで学校内においての飲酒はやめましょうということでの、教育申し事項があって、久米島町でもそれを実施しております。

確かに校長が学校の管理者ではあるのですが、それを指導する私たちが教育委員会、そして県ということもごございますので、そのへんはご理解をお願いしたいと思います。

○ 議長 山里昌輝

1 番崎村正明議員。

○ 1 番 崎村正明議員

こういった問題とかは教育委員会に掛けて直ぐ即決するのではなくもっともっと保護者、現場目線で極力話を聞いてやるのであれば、納得はいくと思うんですよ。ただ直ぐパットしてパット誰でもそれには怒りますよ。

最後に、我々も保護者としても先生と親のコミュニケーションの組織なんですよ、先生と親が互いに信頼関係を結ばなければ、反目しあっては良い結果は出せないと思うんですよ、教育長、ぜひ学校内でコミュニケーションを図れるようにということで、これで私の質問を終わります。

(崎村正明議員降壇)

○ 議長 山里昌輝

比嘉隆教育長。

## ○ 教育長 比嘉隆

本当にコミュニケーションも大事です。これは私たちずっと子どもたちが学校にお世話になっていて、その都度、私はお酒はだめなんです、いろいろ当時としては、お酒を酌み交わしながら、そういったかたちでコミュニケーションを取っておりました。

ただ今時代が時代です。久米島町もこれはずっと飲酒天国ということがありまして、ずっとそれを指摘されていたわけなんです、やはり親の意識がないと変わりようがないわけですね。

ですから、まずは学校現場にいらっしゃる先生方そして子どもたちを学校に通わせている保護者の皆さんが、そういった学校での飲酒問題は、もう止めようということがあれば子どもたちも、そういったかたちでの親の背中、先生たちのこともよく理解をして飲酒も減るんじゃないかということがございますが、まだ久米島町においては、学校で飲酒をして果たして、それが100%安心なのかということはまだ私たち見極めることができません。これが例えば仮に学校の校長が判断し、そしてPTA会長の意思確認でもって私たちは絶対に学校内で飲酒をしませんということであれば、それはそれでいいと思いますが、ただ現状をみますと、例えば草刈りですと、遠くの方々が草刈り機を車に乗せて持ってきます。そのときに果たして、そこでお酒を出した場合にそれを飲まれて、また草刈り機、車ごと一緒に帰られないか、これもまた大変心配なわけです。

まずは一つひとつからクリアしていかないと、今の久米島町の飲酒問題というのも無くならない状況もございますので、崎村議員が

おっしゃるコミュニケーション、それは私たち大きな願いであります。

まずは保護者と学校の先生方が一緒になって子どもたちを支援していくというのが、まずは理想ですので、その辺を考える場合はコミュニケーションが大事なんですが、また側面としてはこういった飲酒の運転、飲酒事故が久米島町には起きる可能性もありますので、その辺も、ぜひこれからいろんなかたちで学校現場の方にコミュニケーションを取るよう指導いたしますので、ご理解の方をお願いいたします。

## ○ 議長 山里昌輝

以上で一般質問は終了しました。

本日の日程は全て終了しました。

これで散会します。

お疲れ様でした。

(散会 午後 2時54分)

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

久米島町議会議長 山里昌輝

署名議員（議席番号13番） 平良義徳

署名議員（議席番号1番） 崎村正明

平成22年（2010年）

第2回久米島町議会定例会

3日目

3月26日

平成22年第2回久米島町議会定例会

会議録 第3号

招集年月日	平成22年3月26日（金曜日）			
招集の場所	久米島町議会議事堂			
開閉会日時 及び宣言	開会	3月26日 午前10時00分	議長	山里昌輝
	閉会	3月26日 午後0時08分	議長	山里昌輝
応招議員 出席議員  出席14名 欠席名	議席番号	氏名	議席番号	氏名
	1番	崎村正明	8番	幸地良雄
	2番	宮田勇	9番	上里総功
	3番	饒平名智弘	10番	安村達明
	4番	宇江原総清	11番	宮里洋一
	5番	山城宗太郎	12番	翁長学
	6番	仲村昌慧	13番	平良義徳
	7番	喜久里猛	14番	山里昌輝
(不応招) 欠席議員				
会議途中退席議員	番		番	
開議後出席議員	番		番	
公務欠席議員	番		番	
	番			
会議録署名議員	9番	上里総功	10番	安村達明
職務のため会議に 出席した者	職名	氏名	職名	氏名
	事務局長	桃原秀雄		
	係長	安田栄		
地方自治法第121条により説明のため議場に出席した者の職氏名				
職名	氏名	職名	氏名	
町長	平良朝幸	教育課長	佐久田等	
副町長	大田治雄	商工観光課長	平田光一	
教育長	比嘉隆	環境保全課長	田端智	
総務課長	仲村渠一男	建設課長	盛本實	
町民課長	大道幸子	農林水産課長兼 農業委員会事務局長	平良朝幸	
プロジェクト推進室長	山城保雄			
税務課長	平田明	上下水道課長	又吉敏雄	
福祉課長	日高清有	消防長	山城英明	
会計管理者	仲地泰	空港管理事務所長	平良進	



## 平成22年 第2回久米島町議会定例会

議事日程 [第3号]  
平成22年3月26日(金)  
午前10時00分 開会

日程	議案番号	件名	頁
第1		会議録署名議員の指名(久米島町議会会議規則第120条)	121 p
第2	議案第23号	海洋深層水温浴施設の指定管理者の指定について	121 p
第3	議案第24号	奥武島キャンプ施設の指定管理者の指定について	129 p
第4	議案第25号	島の学校体験交流施設の指定管理者の指定について	130 p
第5	議案第11号	平成22年度久米島町一般会計予算について	131 p
第7	議案第12号	平成22年度久米島町国民健康保険特別会計予算について	131 p
第8	議案第13号	平成22年度久米島町老人保健特別会計予算について	131 p
第9	議案第14号	平成22年度久米島町後期高齢者医療特別会計予算について	131 p
第10	議案第15号	平成22年度久米島町水道事業会計予算について	131 p
第11	議案第16号	平成22年度久米島町下水道事業特別会計予算について	131 p
第12	発議第1号	保育所・児童入所施設の環境改善を求める意見書について	142 p
第13	発議第2号	子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成を求める意見書について	143 p
第14	決議第1号	「国立沖縄青少年交流の家」存続を求める要請決議について	144 p
		閉会	146 p

(午前9時57分 開議)

○ 議長 山里昌輝

おはようございます。

これより本日の会議を開きます。

本日の議事日程は予めお手元に配布しておりであります。

日程第1 会議録署名議員の指名

○ 議長 山里昌輝

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第120条の規定によって、9番上里総功議員、10番安村達明議員を指名します。

日程第2 海洋深層水温浴施設の指定管理者の指定について

○ 議長 山里昌輝

日程第2、議案第23号、海洋深層水温浴施設の指定管理者の指定についてを議題とします。本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

おはようございます。それでは追加議案として提出しています議案第23号についてご説明申し上げます。

議案第23号、海洋深層水温浴施設の指定管理者の指定について、久米島町海洋深層水温浴施設の指定管理者を次の団体に指定したいので、地方自治法第244条の2第6項の規定により議会の議決を求める。

記

1. 施設の名称及び位置

バーデハウス久米島浦島館

住所 久米島町字奥武170番地の1

久米島町字奥武170番地の2

2. 団体の名称 株式会社オーランド。

住所 久米島町字奥武170の1

代表者 代表取締役社長平良朝幸

3. 指定の期間 平成22年4月1日から平成25年3月31日まで。

平成22年3月12日提出

久米島町長 平良朝幸

提案理由

現行の指定管理者の指定の期間が平成22年3月31日で終了するため、指定管理者を再指定する必要がある。

なお、付属資料を添付しております。ご審議よろしく申し上げます。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 山里昌輝

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

9番上里総功議員。

○ 9番 上里総功議員

この再指定するという事なんですが、このバーデハウス久米島は、今まで指定管理されてきて累積で2億5千万円の赤字を出しているわけなんですよね。それでまた3年間指定管理させるわけなんです、その間にまだまだ累積の赤字が増える可能性があるわけなんです。それで、最終的には仮定の話になるかと思うんですが、破綻した場合には、誰が責任をとるのかと。それを聞きたいんですが。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

最終的にオーランドは株式会社になってお

りますので、株式会社法やあるいは民法の規定に則って、それぞれの清算をする場合は責任を負うということになります。

具体的には当然、株主については株主の責任があるということがございます。

それからあと、町についても株主として出資している範囲内での当然責任もございません。

あと、経営者は経営者としての道義的責任も含めてあると思います。

それから、法的責任以外についても町として、やはり会社を立ち上げてここまでやってきたわけですから、それなりの法的責任以外の道義的な責任もあるものと考えています。

○ 議長 山里昌輝

9番上里総功議員。

○ 9番 上里総功議員

この件に関しては、株式会社だから、代表者が責任をとるということを言っているんですが、前町長も赤字を出したら責任を取りますということをお答えしているんですよ、議会の場で。そういうのも精査されてない、今回は責任あるということで、本当に、責任とれるんですか。

それと、あとあと、議会の責任ということも多分、道義的責任で問われると思うんですよ、そこはどうなるのか聞きたい。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

議会の道義的責任については、町民から当然そういう声が上がってくるだろうということは予想されますが、私の方から、執行部の方から議会の責任どうのこうのということは申し上げる立場にはございませんので、当然、

町民からは、そういう声上がるだろうということは予想されることだと思います。

○ 議長 山里昌輝

9番上里総功議員。

○ 9番 上里総功議員

そのところはっきりしておかないと困るんですよ。私たち議会も。どんどん議会在承認してもらって、予算をつくって、そうなった場合に、町民はどうしても責任来んですよ、そこをうやむやにすると大変なことになると。全国的に問題なのはそこなんですよね。最終的には、負担は町民にかかっているんです。

だからそのところをもっとはっきりしてもらわないと、議会の責任というものも、ほんとに重要だと思うんですよ。そのところもう1回お願いします。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

この事業を立ち上げる時、会社を立ち上げるときも含めて、これは当然、執行部が提案して、いろいろと議会のご承認をいただいて来たわけですから、それぞれの立場においてそれぞれの責任は当然あるものと考えています。しかし、今後の再建に、この事業を立ち上げたその目的というのがあるわけですよ。問題はその目的が今、達成されているのかどうなのかということが一番重要じゃないかと考えています。

今後においては、今、上里議員がおっしゃるとおり、確かに今、経営は危機的状況にあるということでありますが、その問題は、この目的、事業の目的が今、達成されているのかどうかということが一番重要じゃないかと

考えているわけです。

その目的は、当然、町民の健康増進であり、あと観光産業の振興であり、その目的は100%とはいえませんが、相当な率で達成していると考えておりますので、今後、執行部としてもこれ以上の債務を増やさないようなかたちで再生を図っていこうということで取り組んでいるところでございますので、その再生計画の具体的に固まった段階で、議員の皆さんにもご説明申し上げて、ご理解をいただきたいと考えています。

○ 議長 山里昌輝

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

バーデハウスの件につきましては、いろいろご迷惑をおかけしている分がありますが、我々は事業等を導入して、公共施設として建設してきた以上、運営するという義務もあります。それで私自身、島にお客さんが来て、交流がなければ島の活性化はあり得ないと、ずっと前から言っておりますが、その中で癒しと健康、それからスポーツアイランドということを推し進めて活性化図ろうと、今やっているやさきでございます。

その中で、スポーツ交流、あるいは、今、アレルギーの対応の商品、シニア対応の商品、いろいろ出ていまして、それは核となるバーデハウスがあつてはじめて出来上がる商品です。そして将来的にゴルフ場もできる、あるいは福祉施設等も将来的にできるかもしれません。それも核となる施設があつてはじめて、将来的な観光商品と売り出せるということもでございます。

また、我々久米島町民が相当数利用しているということも踏まえて、私は将来的にも存

続させる必要があるというふうに考えております。それはそこに雇用されている30名近くの方々、ホテル、あるいはサービス産業運輸、いろいろな産業に波及している効果を考えれば、もちろんそれは健全な運営になるように努力はしていきますけれども、必要な施設だということを、ぜひとも皆さんにご理解いただきたいと思います。

○ 議長 山里昌輝

上里議員の本件に関する質疑は既に3回になりました。会議規則第55条但し書きの規定によって質疑を許します。

9番上里総功議員。

○ 9番 上里総功議員

先ほど、総務課長が健康増進と観光目的は達成されたということを行っているんですが、果たして、金額から見て、その累積赤字から見た場合には、そういうのは達成されていないんですね、15万人でしたよ。

ようするに医療費の軽減になっているなら、その数字を出せと言ったんだけど、今まで一度も出したことはない。

苦し紛れに今回の定例会には、2、3名の良くなった事例をやっているんですが、この皆さん方も果たして2億5千万円の赤字を抱えているということを知らないはずなんですよ。500円で利用できるんですが、やっぱりそういう健全なものにもっていきたいんだったら、もう少し町民にも負担させるような方法に持っていかないと、いつまでたっても町の補助だけで果たしてできるかと。

これ皆さん方できると言っているんだけど、観光というのは水物なんですよ。

そういう恐ろしさがあるんですよ。そういうのを踏まえて判断しているのか、口酸っぱ

くいつも言っているんですが、金額から判断した方がいい、赤字の、おいしい話はいいんですよ。うまくいってないんだもん、どっちみちおいしい話しても、結果ですよ、結果、赤字2億5千万円というのは大変な金額ですよ。それを維持していかないといけないということになっているんですが、その間の内部的な努力、やられているかといったら、皆さん方はやったと言っているんだけど、全然そういうのが目に見えて来ない。あんな赤字出しながら支配人の給与が42万円とは、これはとんでもない話だと思うんですよ。そういうのも踏まえて、果たしてオーランドに、それ以上指定管理させていいのかと非常に疑問を持っています。

○ 議長 山里昌輝

他に質疑ありませんか。

平田光一商工観光課長。

○ 商工観光課長 平田光一

議員から現在の支配人の給料の件ですが、現在は33万円です。そして19年時点にいました副支配人とか、チーフ、その部門が今なくなって、33万円で他については22万円とか、それぐらいからの金額となっています。副支配人も営業課長も今はいません。

○ 議長 山里昌輝

4番宇江原総清議員。

○ 4番 宇江原総清議員

本件に関して、バーデハウス関連事業ということで、これは国の地域活性化対策交付金等で、海洋深層水管の敷設整備事業で1千648万5千円、それからバーデハウス久米島トリートメント棟の増築事業で4千600万円余り、計で2つ合わせると6千200万円余り、予算を支出しております。

特に海洋深層水配管の敷設整備事業では、大まかですけれども、約7千200万円ぐらい、支出をしておるわけですから、工事費となっていますけれども、その中で起債もあるし、他の参加企業からの支出もあるし、いろんなものがやられているんですけども、その実態というのが、我々に知らされていないということ。こういうような事業で、多く、バーデハウスに導入されているということですが、この支出の実態というのを明らかにしてほしいということなんです。

○ 議長 山里昌輝

平田光一商工観光課長。

○ 商工観光課長 平田光一

事業導入にあたって、予算の説明のときには内容等についても説明をしていますが、深層水の送水管につきましては、深層水の研究所の近くまで、その送水管が出ておりますので、そこから漁協とか、モズク選別場とか、海邦企画とか、養殖場とか、バーデーまでのということで、そういう事業所が産業の振興のためにということの目的で事業を導入してやっているところです。

○ 議長 山里昌輝

4番宇江原総清議員。

○ 4番 宇江原総清議員

バーデハウスの増築事業についても皆さん方は減価償却ということも考えてやっているかと、あれは海水も含めて、使用されているために腐食が早いわけです。つまり減価償却というのが厳しくなっていく、そういったマイナス面も計算されて説明されてないわけです。一方には、例えば指定管理、6団体の方を並べて、その中でバーデハウスというのは、非常に費用対効果が高いよという説明をして

いますけれども、例えば、ホテル館、あるいは自然文化センターについては、その条例に基づいて位置づけされているわけです。

観光施設じゃないわけです。それに料金についても、これはホテル館は大人100円と子供50円、自然文化センターは一般200円、それから小中学生が100円となっているわけです。そういうようなもので定められているものと、観光施設である、しかも株式となっているバーデハウスと、これ訳が違う。

こういうようなものを比較対象として費用対効果が高いと言われても、元々疑問のある資料を持ち出して対象とすることはおかしい。これについて説明がほしい。

結論として言いたいのは、その株式会社とあるからには皆さん方、先ほど言ったようなマイナス面もプラス面も全部俎上に上げて検討させる、これが企業努力ということと、かなたラソ沖縄、これはビジターで、大人で2千500円なんです。それからバーデハウスは2千円です。しかも海洋深層水を使っているからビジターはもっと上げてもいいんじゃないか2千500円、あるいは3千円と。ただし町民については身分証明書がはっきりしておれば現行の入館料をとればいいわけです。そういったところをどう考えているのかということをお答えをお願いします。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

料金の方については商工観光課長の方から答弁していただきます。

まず、減価償却の考え方なんですけど、施設そのものは町の施設でございますので、株式会社オーランドの経営の中では、その施設そ

のものに対する減価償却というものは適用されません。やはり、町の施設、全体的、他の施設とも同じような考え方でいけば、今後、行政の会計そのものも複式簿記に移行していきますので、公会計にね、移行していきますので、そのときは減価償却という考え方も、行政の予算、決算の中でも入ってくるものと考えております。

それからいろんな公の施設のあり方から考えて、全てを施設ごとに性格が違いますので、全て同じ見方をすることはできませんが、やはり公の施設というのは、民間だけでつくって引き合わないのを、公共的目的、町民の福祉の向上、あるいは産業の活性化のために必要だということで公的な関与の下で、その施設をつくっていくわけでありますから、一概な比較はできませんが、やはり一定の税金の投入というのは必要だと考えております。

同じ産業振興施設でも、それぞれの形態が違いますので、同じ比較はできませんが、それぞれの特性を見て、運営に対する費用のかけ方については考えていく必要があると考えています。

○ 議長 山里昌輝

平田光一商工観光課長。

○ 商工観光課長 平田光一

料金の件ですが、かなたラソとの施設の規模とか、それからプログラムとか、そういうのも違って、例えばかなたラソだったらスケールとしてはバーデハウスの3倍ぐらいですか、そしてプールも25mもあって、そこの全利用で2千500円と、バーデハウスの場合はプール棟のそばにトリートメント棟があって、そこにもサウナとかあるんですけど、そこの利用については別料金で一般の方でし

たら1千円ということの利用形態になっています。

その利用料金については、かなタラソともそんなに変わりはないんじゃないかなと思っています。

○ 議長 山里昌輝

4番宇江原総清議員。

○ 4番 宇江原総清議員

減価償却の問題について、これは町の施設であるから、こういったものも明らかにまだしてないというようなことで理解していますけれども、じゃあ、なぜ、6千200万円余りのいろいろ整備事業、あるいは増築事業等に費用を、税金を打ち込むのか、こういうことです。ですから、町の施設であろうが、町もそこに株式会社として、参入しているわけですね、ですからそういうものも明らかにしないと、将来どうなっていくのかということが見えてこないわけです。

ぜひ、そこのところも減価償却、これも計算させて対応をしていただきたいと。それから料金については、これは海洋深層水をつけているわけです。かなタラソ沖縄については、一般の海水なんです。だから付加価値をつけて、高くすべきじゃないかということを知っているわけです。

これで質問は終わりますけど、総括で答弁をお願いしたいと思っています。

○ 議長 山里昌輝

平田光一商工観光課長。

○ 商工観光課長 平田光一

先ほどもかなタラソの形態という話をしましたが、あちらのスケールとか、あらゆるメニューとか、そういうものと、そしてバーデの海洋深層水という特徴ですね、そういう

ものも加味して、料金については、当初は3千円とかということの設定もありましたが、やっぱしその売り出し、経過において、その3千円では高いというようなこともあって、それで今、2千円に落ち着いているところです。

○ 議長 山里昌輝

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

料金の問題につきましては、いろいろ議論がありましたけれども、バーデハウスは開店してから終わるまで何名入ろうと同じコストがかかるということもありまして、より多くの町民に利用させたいということで、町民1千円、時期になると500円という値段に設定しております。料金につきましては、先ほども上里議員から料金を上げた方がいいんじゃないかということがありました。この部分については利用する人数、あるいは料金の金額というのが、どこで設定するのかというのが、非常に難しい部分があったということです。ただ、バーデハウスは性格上、開店して終わるまで人が入ろうが少なかりょうが同じコストがかかるということをご理解いただきたいと思います。

○ 議長 山里昌輝

6番仲村昌慧議員。

○ 6番 仲村昌慧議員

付属資料の4ページをお願いしたいと思います。収入の方で経営再建対策費の1千万円が、22年度から24年度まで、それぞれ1千万円ずつ、それから健康づくり推進費が500万円の計、1千500万円が、この3カ年間、助成されるわけですが、この計画どおり進めていくのか、これに増額する可能性があるのかど

うかについてお伺いします。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

現在、経営再建計画を細かく練っているところをごさいますて、増額をお願いすることがあるかもしれません。これは専門家のご支援もお願いいたしまして、今、ほんとに確実な再生を図っていくことができるかどうかを今、検討しております。

具体的には産業活力再生特別措置法という法律をごさいますて、その法律に基づいて、沖縄県にも中小企業再生支援協議会というのが設置されて、これは国庫補助でもって中小企業の再生を図っていくという組織なんですが、そこには中小企業診断士や、あるいは公認会計士、税理士、弁護士等が一つのチームをつくって中小企業の再生を図っていくという仕組みがございます。

今、その支援協議会の方にも、ご協力をお願いしてバーデハウスをほんとに中立の立場で診断していただくということをお願いした次第です。その診断の結果、町として再生にどういった協力が必要なのかということも当然出てくると思いますので、短期的には増額をお願いするということがあるかもしれません。これは現在のところはっきりしたことは申し上げられませんが、ただ、お願いしても皆さんのご理解をいただかなければできないことでもございますので、そこは細かい数値や専門家の助言等の結果等も、ちゃんとお知らせして、それがご理解いただけるような方向で、できれば再生を図っていきたいと考えています。

○ 議長 山里昌輝

6番仲村昌慧議員。

○ 6番 仲村昌慧議員

計画を提示して、これを提案するわけでありますから、曖昧な計画のやり方は、僕はまずいと思っています。支援計画、オーランド経営再建計画の2月11日にもらった資料においては、今までの1千万円と健康推進費の500万円にあと、500万円を増額して、これを指定管理費として、要望するというふうにこれに書いてあるんですよ。そのように計画にすればいいんですけれども、まず、今回の案に対して、この案でやるんだったら、この案で3カ年は進めるべきだと思っています。

曖昧な手法でやるから議会からも不信感を抱くわけであります。その点についていかがお考えでしょうか。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

現在、金融機関とも債務調整を行っているところです。ですからそういったものが固まらないとはっきりした数字が出せないというようなことをごさいますので、考えているのは、時間的な問題もありますので、当初予算ではそれを裏付けするような確定的な数値というのは今のところ出せないということで、当初予算は従来どおり額で計上しているところです。

そういったもの、再生計画が固まった段階で、これは必要ということになれば、その時点で細かい説明を申し上げて補正予算で対応するというような方向で考えております。

お配りした計画については会社として、こういうような支援を行政に対してやりたいということをごさいますので、それが、はいす



ぐそのとおり、当初予算に要求ということには、根拠となる細かい数字の確定の部分で、金融機関との債務の調整やあるいは専門家の指導等を受けた上で確定させて必要な部分についてはお願いしたいと考えています。

○ 議長 山里昌輝

6番仲村昌慧議員。

○ 6番 仲村昌慧議員

この3年間はこの計画どおり進めていただきたいということを述べておきます。

22年度は単年度で黒字見込みということでありますが、経営は予測できないことがあり、平成22年度の上半期経営状況を見た上で、経営利益を出す見込みがない場合は、法的整理を検討すると。法的整理は事業の継続が廃止かを含めて行うものとする。

継続する場合でも採算部門の抜本の見直しが必要であると、これは下半期の結果を見て、この法的整理の検討をされるわけですか。

先ほど議会の責任も問われました。これも当然、この時期をそろそろ議会としても、ずっと今までの公的資金を出すのに対して、これまでいろんなことが言われてきました。

どこまでこれを支援していくのか、議会としてもそろそろ考えるべきだと思っています。

その上半期の状況を見て、いつごろ検討するのか、これをはっきりと検討してほしいと思っています。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

上半期の状況を見てということですから、9月までの上半期の決算が出た頃ということになりますので、10月の下旬から11月の頭に

かけて上半期の決算が出ますので、その状況を見て、それまでは私的再生ということになります。これは関係機関の同意を得て、債権者も含めて、同意を得て私的に再生を進めていくということになりますが、法的整理ということになりますと、法的整理にも2つのパターンがあります。事業を止めるのか、事業を継続する方向でやるのかということで、ということで民事再生を適用してやっていくかということになりますが、この民事再生を適用した場合には、当然債務の切り捨て、債務カットとか、そういったことも、これは裁判所の判断で行うということになりますので、そういった手順に入っていくということになりますので、概ね、11月の頭ぐらいということになるかと思います。

○ 議長 山里昌輝

他に質疑ありませんか。

7番喜久里猛議員。

○ 7番 喜久里猛議員

1点だけ。4ページの収入の方は仲村議員からあったんですが、支出の方でその他の経費ということで4千170万5千円、22年度です。普通、その他の経費というのは、他の項目よりは少なめなのが普通なんですよ。このバーデに関しては支出がずばぬけて、その他の経費の方がずば抜けて多いんですね、今、再建計画を一度読み直してあちこち見てみたんですが、その他の経費の内訳ですね、その中に株主からの短期借入の返済を含んでいるのか、含んでないのか。そのへんだけを回答ください。

○ 議長 山里昌輝

休憩します。(午前 10時36分)

○ 議長 山里昌輝

再開します。(午前 10時36分)

平田光一商工観光課長。

○ 商工観光課長 平田光一

その他の経費については、売上原価が主です。原材料費とか、そういうものが主になっています。借入金については入っておりません。

○ 議長 山里昌輝

他に質疑ありませんか。

7番喜久里猛議員。

○ 7番 喜久里猛議員

普通、収入支出のバランスをとるときにはそういう払うべきものも計上するんじゃないのかな。借入金の返済が入ってないということとはちょっと納得できないんだけど。長期借入は入っているけれども、株主からやるのは短期借入になると思うんですよ。

○ 議長 山里昌輝

平田光一商工観光課長。

○ 商工観光課長 平田光一

これにつきましては、当初22年からの償還を計画していましたが、その資金の調整等もあって、それをちょっと伸ばしてもらおうかと、銀行借入も含めてですけど、そういうものを調整をしているところです。

○ 議長 山里昌輝

他に質疑ありませんか。

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

討論なしと認めます。

これから議案第23号、海洋深層水温浴施設の指定管理の指定についてを採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の

方は挙手願います。

(挙手多数)

○ 議長 山里昌輝

挙手多数です。従って、議案23号、海洋深層水温浴施設の指定管理については原案のとおり可決されました。

日程第3 奥武島キャンプ施設の指定管理者の指定について

○ 議長 山里昌輝

日程第3、議案第24号、奥武島キャンプ施設の指定管理者の指定についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第24号、奥武島キャンプ施設の指定管理者の指定について、奥武島キャンプ施設の指定管理者を次の団体に指定したいので、地方自治法第244条の2第6項規定により、議会の議決を求める。

記

1. 施設の名称及び位置

キャンプ場 久米島町字奥武170番地の1。

センターハウス 久米島町字奥武170番地の1。

多目的広場 久米島町字奥武170番地の2。

2. 団体の名称 株式会社オーランド。

住所 久米島町字奥武170の1。

代表者 代表取締役社長平良朝幸。

3. 指定の期間 平成22年4月1日から平成25年3月31日まで

平成22年3月12日提出

久米島町長 平良朝幸

提案理由

現行の指定管理者の指定の期間が、平成22年3月31日で終了するため、指定管理者を再指定する必要がある。

なお、付属資料を添付しております。ご審議よろしくお願ひします。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 山里昌輝

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

○ 議長 山里昌輝

討論なしと認めます。

これから議案第24号、奥武島キャンプ施設の指定管理者の指定についてを採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願ひします。

(多数挙手)

○ 議長 山里昌輝

挙手多数です。従って、議案第24号、奥武島キャンプ施設の指定管理者の指定については原案のとおり可決されました。

#### 日程第4 島の学校体験交流施設の指定管理者の指定について

○ 議長 山里昌輝

日程第4、議案第25号、島の学校体験交流施設の指定管理者の指定についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第25号、島の学校体験交流施設の指定管理者の指定について、島の学校体験交流施設の指定管理者を次の団体に指定したいので、地方自治法第244条の2第6項の規定により、議会の議決を求めます。

記

1. 施設の名称及び位置

あじま一館 久米島町字仲泊962番地の2

2. 団体の名称 NPO法人島の学校久米島

住所 久米島町字仲泊962番地の2

代表者 祖根恒夫

3. 指定の期間 平成22年4月1日から平成27年3月31日まで。

平成22年3月12日提出

久米島町長 平良朝幸

提案理由

現行の指定管理者の指定の期間が平成22年3月31日で終了するため、指定管理者を再指定する必要がある。

なお、付属資料を添付しております。ご審議よろしくお願ひします。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 山里昌輝

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

○ 議長 山里昌輝

討論なしと認めます。

これから議案第25号、島の学校体験交流施

設の指定管理者の指定についてを採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(多数挙手)

○ 議長 山里昌輝

挙手多数です。従って、議案第25号、島の学校体験交流施設の指定管理者の指定については原案のとおり可決されました。

**日程第5 平成22年度久米島町一般会計予算。平成22年度久米島町老人保健特別会計予算。平成22年度久米島町後期高齢者医療特別会計予算。平成22年度久米島町水道事業会計予算。平成22年度久米島町下水道事業特別会計予算。**

○ 議長 山里昌輝

日程第5、議案第11号、平成22年度久米島町一般会計予算。議案第13号、平成22年度久米島町老人保健特別会計予算。議案第14号、平成22年度久米島町後期高齢者医療特別会計予算。議案第15号、平成22年度久米島町水道事業会計予算。議案第16号、平成22年度久米島町下水道事業特別会計予算についてを一括議題とします。

以上の6件については、予算審査特別委員会に付託してありましたので、予算審査特別委員長の報告を行います。

宮田勇予算審査特別委員長。

(宮田勇予算審査特別委員長登壇)

○ 予算審査特別委員長 宮田勇

平成22年度予算審査特別委員会委員長報告  
予算審査特別委員会委員長の宮田勇でございます。3月10日の本会議において、予算審

査特別委員会に付託されました議案は、議案第11号、平成22年度久米島町一般会計予算。議案第12号、平成22年度久米島町国民健康保険特別会計予算。議案第13号、平成22年度久米島町老人保健特別会計予算。議案第14号、平成22年度久米島町後期高齢者医療特別会計予算。議案第15号、平成22年度久米島町水道事業会計予算。議案第16号、平成22年度久米島町下水道事業特別会計予算の6会計予算であります。

3月12日、15日、16日の3日間にわたり、各款毎に予算科目を分割して行いました。

執行部から関係職員の出席のもと慎重に審査を行いました。

予算審査特別委員会で多くの質疑がありましたが、その中から要点を抜粋して報告します。

まずはじめに、平成22年度久米島町一般会計予算の審査状況の概要について報告します。

鳥島射爆場の予約がまだまだと聞いているが契約期間はいつまでかとの質問に対し、現在の予約期間が20年の期限で、平成24年5月14日までが契約期間となりますという答弁がありました。

特別職の県外旅費が100万円余り計上されているが、外国とか行く予定があるか、その内訳はどの質疑に対し、主に東京への旅費であります。また、楽天関係や国の各省庁への要請行動も含まれておりますという答弁でした。

新たに入ってきた地域人材育成事業と重点分野雇用創出事業の内容とはという質疑に対し、地域人材育成事業は島の学校に委託し、久米島町の観光を総合的に案内する人材を育

成する事業で、3名の雇用を予定しています。また、重点分野雇用創出事業は、観光協会に委託し、観光入域客の動態調査や観光資源調査、案内板等の設置を予定し、4名の雇用を予定していますという答弁でした。

地域、人材育成事業で1年間福祉関係の仕事をやりながらヘルパーの資格がとれるということで時給810円で募集されているが、現在、2級のヘルパーの資格を持っている人が、時給800円で働いているが、矛盾が出てこないかという質疑に対し、時給の810円の設定については補助金申請等に各地域の時給を調査しての設定であり、実際矛盾するかは今のところ把握しておりませんという答弁でした。

町民税、たばこ税が前年度当初予算よりマイナスになっているが、その要因はという質疑に対し、町民税の減については、去年のインフルエンザやリーマンショック等の影響で給与所得が少なくなる見込みで、たばこ税の減に関しましては、人口割りでの配分であり、人口減により、減額での計上をしてありますという答弁でした。

不動産の鑑定があることでの固定資産評価委託料を計上していると思うが、件数と場所は、また、評価の方法は前と変わらないか、耐用年数に近づけば評価額が少なくなるのかという質疑に対し、土地の調査地点については、全体で66地点、大きい集落は5地点、最低1地点で工業地域や商業地域とかに分けて割り振りしています。また、家屋については年数に応じ減額されますが、基本的には20%まで、減額されますという答弁でした。

結婚披露宴助成金については、対象となる若い人たちにあまり浸透されてないのではな

いか、これらの周知方法はという質疑に対し、助成金のお知らせということで年度はじめにチラシや広報等での周知を予定しています。また、次年度の成人式等でもパンフレットを配布したいと思いますという答弁でした。

イーフの民宿村が貸地料が安いと思うが、買って税金を払うより貸地料を払う方がずっと安いと聞いているが本当か、去年から何件売れたか、また単価は改定したかとの質疑に対し、現在の単価では貸地料を払うのが確かに安くなります。その後、売れた区画はありません。また、単価については確定ではありませんが、約2倍ぐらいは上がる予定ですという答弁でした。

地域振興基金が10億40万円計上されているが、財政上余裕があつての積立なのかという質疑に対し、合併に伴って、10億円基金を積立することができることになっており、原資は起債を当て、積立することになります。その借入れた金の元利償還の70%については交付税の基準財政需用額に参入されるようになって、約10年間で10億円を積み立てて、その果実をいろんな地域振興に当てていくこととなりますという答弁でした。

離島における化石燃料の輸送費が、全額補助されているのに、沖縄本島と比べると離島が高い理由はという質疑に対し、久米島の場合コンビナート、保管用のタンク等にかなりの維持にコストがかかるため、その分高く推移しているとの県の説明がありましたという答弁でした。

また、燃料の価格については、県の離島振興課は特別措置により、燃料は全県同額としていることから地域によって差があるかもしれないので、再度、離島振興課と調整する必

要があるのではないかという意見もありました。

子供手当が予算計上されておるが対象者は何名で支給、何月からという質疑に対し、公務員以外の子供の対象者は1,271名で、対象月は4月からで、支給は6月からになりますという答弁でした。

保育所運営費が前年度より減となっているがその理由は。また待機児童がいると聞いているがとの質疑に対し、園児の数が少なくなっている分の減であります。また、現在、待機児童はいませんという答弁でした。

保育士の超勤手当が予算計上されているが、保育士に関して、超勤をさせない方法で振替休を与えていると説明を受けたがとの質疑に対し、保育士の時間外勤務手当については、満額支給ではなく、1人当たり約30時間までは認め、それ以上になった場合は代休処理だと思います。という答弁でした。

公営住宅使用料の滞納繰越分の額の内容はという質疑に対し、滞納額全体では575万円となっていますが、今年度の滞納額徴収状況を勘案して、予算計上してありますという答弁でした。公営住宅の滞納については家賃の請求書を配布していないために滞納額が貯まってきたということですが、納入者に対して、ちゃんと説明をして理解が得られているかという質疑に対し、現在のものは徴収しながら、過去のものについては相談しながら入居者が払えるような方法で相談をし、お願いと理解を得ているところですよという答弁でした。

新年度も臨時の保育士に住居手当は適用するか、また、他の臨時職員は支給されるかという質疑に対し、久米島町福祉専門嘱託職員の報酬及び旅費に関する規則中の住居手当の

特例を適用して支給します。

他の臨時職員には該当しませんという答弁でした。特定健診の単年度目標率は達成されているか、平成24年度の最終目標の65%は達成可能かという質疑に対し、去年、今年は目標率に近づいていますが、24年度の目標率を達成するには、厳しいところがありますが、町民の理解と、これからの取り組みが必要になりますという答弁でした。

堆肥センターの販売事業で、袋詰めはいつから販売可能か、また、一般の農家が買えない状況だということだがという質疑に対し、袋詰め販売は電気設備工事が完了する4月頃から販売可能だと思います。また、購入に関しては、予約注文であり、予約を受けてから製造が間に合わない時期があり、一般の農家がなかなか、購入できない時期もありましたという答弁でした。

畜産農家からの牛糞等の材料の確保の見通しは、また価格についてはという質疑に対し、現時点当初予定を十分達していることから、3年ぐらいは何とかクリアできると思います。価格については21年度実績を見据えて、検討していかなければならないと思います。という答弁でした。

パヤオ敷設作業船を利用し、ハテノ浜の仮設トイレにも利用できないかという質疑に対し、漁民のパヤオ部会の管理になりますので、別の目的に利用できるかパヤオ部会と相談になると思いますという答弁でした。

バーデハウス久米島再建対策補助金の1千万円は、平成21年度までと聞いているが、22年度も予算計上されているのはなぜかという質疑に対し、バーデハウス経営改善に向けてということで、去年の全体会議や決算等で経

営状況等を示して、今後も継続して欲しいということの説明してありますという答弁でした。

楽天応援の際の旅費については、自己負担はあるかという質疑に対し、担当が行くときはキャンプの調整や各関係機関への挨拶等、業務としていっていますので自己負担はありませんという答弁でした。

リゾートウェディングについて、報告書が出来上がったと聞いているが、22年度はどのような取り組みをしていくのかという質疑に対し、報告を受けて役場内において、協議議論を重ねた上でリゾートウェディングの推進をしていくかということはいろいろ協議していきたいという答弁でした。

22年度観光事業には、相当の予算を計上しているが、観光入域数はぜんぜん伸びない。観光協会の事務局態勢、職員態勢に問題があると思うが、専門的な人材を配置したらどうか、今のままで観光は伸びると思いますかという質疑に対し、専門的な人材や人数等も含めて、もっと充実させればその対策は図れると思いますので、観光協会も含めて、話し合いをしていきたいと思いますという答弁でした。

消防費に国有地、借地料が計上されているが、払い下げ申請はしなかったのか、また、この水路、元々の所有者は調査したのかという質疑に対し、購入価格と借地料を比較した場合に借地していた方がいいということで継続しています。また、元々の所有者についてはまだ調べてはいませんという答弁でした。

保育園の保育料の滞納繰越分の徴収についてどのような対策をとっているかという質疑に対し、滞納者の徴収については、夜間に電

話でお願いをしたり、戸別訪問等で徴収を行っていますという答弁でした。

給食センターの滞納繰越額が1千万円近くあったと思うが、予算には1千円しか、計上されていないというのはどういうことか、また、徴収方法はという質疑に対し、当初予算に計上すべきであるが、計上ミスによるものであり、また、2カ月以上の滞納者については、電話での催促や年3回の夜間徴収も実施しておりますという答弁でした。

22年度の海外ホームステイの研修の人数と、ホームステイ場所、その時期はという質疑に対し、3名を予定しており、派遣先はアメリカのシアトルか、カナダのバンクーバーを予定しています。実施については夏休み期間を予定していますという答弁でした。

なかさと友好の翼交流事業は次年度以降も継続していくのかという質疑に対し、十日町の市長との意見交換の中で、今後とも継続していきたいという意向でありましたという答弁でした。

各種団体に負担金補助金を出しているが、決算報告もきちんとされているのかという質疑に対し、各種団体の補助金申請の際には決算資料も添付するよう指示していますという答弁でした。

次に、平成22年度久米島町水道事業会計予算について、資金計画の中で前年度営業収入が1千600万円減になっているが、その原因はという質疑に対し、今年度の事業収益を前年度実績の収益率87%分計上したことで減となっていますという答弁でした。

22年度から徴収員の廃止になることについて、経緯と今後の徴収業務の対策はという質疑に対し、公共料金の集金途中に襲われると

ということが多々あるということで、事務研究会、いろいろ論議され廃止ということになっています。今後、未収金が多くなるのは危惧されますが、徴収方法も、これから検討していきますという答弁でした。

次に、平成22年度久米島町下水道事業特別会計予算について、平成22年度下水道工事の場所はという質疑に対し、工事場所については、美崎地区の真謝地内で距離にして約660mを予定していますという答弁でした。

下水道工事が終わって何年か後に道路が沈下しているところが多々あるが、ちゃんと指導しているかという質疑に対し、工事期間中は担当職員が現場に出向いて、ちゃんと指導しておりますが、水位や軟弱地盤の箇所が数年後には沈下している状態にあります。また、今後沈下した部分を調査し、補修をしていきたいと思えますという答弁でした。

平成22年度、久米島町国民健康保険特別会計予算について、沖縄県は保険料が高いとか、財源が不足している市町村が多いと思うが、久米島町はどうかという質疑に対し、一般会計からの繰入金や法定外の補填がなければ、厳しい状況にありますという答弁でした。

保険料が払えなくて、保険証がなく、病院に行けない子供たちもいますかという質疑に対し、現在、保険料の納付契約をして短期証を発行しているので、保険証がなく、病院に行けないということはないと思えますという答弁でした。

予備費は毎年2千万円計上しているが、国の予算が確定するまでということかという質疑に対し、医療費一番多い時期と少ない時期で約2千万円の差があることから、医療費が急増した場合に臨機応変に対応できるように

との予算計上ですという答弁でした。

次に平成22年度、久米島町老人保健特別会計予算について、去年に比べると次第に予算が減っているが、その経緯はという質疑に対し、平成20年4月から老人保健が後期高齢者医療保険に移ったことにより、20年度以降の診療費の支払いについては後期高齢者医療から支出になるため、その分、減となりますという答弁でした。

次に平成22年度、久米島町後期高齢者医療特別会計予算について、保険料の滞納があった場合、短期証を発行されているかという質疑に対し、後期高齢者医療制度は平成20年度から発足していますので、今期までは短期保証は発行されていませんという答弁でした。

その他、町税、給食費、公営住宅使用料、保育料、水道料、下水道使用料等の滞納繰越分については徴収率向上を図り、町の収入財源の確保に向けて最大限の努力をするようにと、各委員から強い要望と指摘がありました。

以上が予算審査特別委員会に付託されました一般会計、水道事業会計、特別会計について質疑の概要を述べました。

予算審査特別委員会でたくさんの質疑が出ましたが、多くの面で割愛させていただきましたことを、ご容赦ください。

質疑を終了し、討論に入りましたが、一般会計予算に関しましては反対討論がありました。続いて採決に入り、議案第11号に関しては賛成多数で議案第12号、議案第13号、議案第14号、議案第15号、議案第16号は全員をもって原案のとおり可決すべきものと決定されました。

以上で委員長報告を終わります。ご清聴ありがとうございました。



(宮田勇予算審査特別委員長降壇)

○ 議長 山里昌輝

以上で委員長の報告を終わります。

委員長報告に対する質疑を省略したいと思いますが、ご異議ありませんか。

(多数の「異議なし」の声あり)

○ 議長 山里昌輝

異議なしと認めます。従って、議長報告に対する質疑は省略することに決定しました。

休憩します。(午前 11時11分)

○ 議長 山里昌輝

再開します。(午前 11時29分)

ただいま、議案第11号、平成22年度久米島町一般会計予算について、上里総功議員他1名の議員から修正の動議が提出されました。提出者の説明を求めます。9番上里総功議員。

○ 9番 上里総功議員

修正案を提出した理由について述べたいと思います。平成22年度一般会計予算の観光費の中でバーデハウス久米島経営再建対策補助金1千万円が計上されている。経営再建対策費補助金は平成21年度までということで言っていた。また、3年以内には単年度黒字に持っていきたいと言いながらまだ達成されていない。累積赤字も2億5千万円に膨れ上がり、これ以上再建対策費補助金を投入しても町民の理解を得られないということで、修正案を提出します。

○ 議長 山里昌輝

これから修正案に対する質疑を行います。

質疑ありませんか。

8番幸地良雄議員。

○ 8番 幸地良雄議員

この修正案につきましては、バーデハウス

の再建計画補助金ということで1千万円組んであるんですが、これをなくして予備費に回しているということでございますが、バーデハウス必要だから1千万円の助成金を組んでいるわけです。しからばバーデハウス今の状況をそれをしなければなお厳しくなるんだが、その対策としてどう考えているのか。

○ 議長 山里昌輝

9番上里総功議員。

○ 9番 上里総功議員

今、対策ということでどう考えているかということでありまして、これは今、累積赤字の2億5千万円、これがあるにも関わらず何で続けていかないといけないかということも言えると思うんですね。それを僕ら議会も責任あると、そうなった場合に、経営を破棄するか民間に委託するしか方法はないと思うんですよ。行くも地獄、引くも地獄という状態になっているんですよね。そうなった場合にずっとそのまま続けていいかということ疑問感じているんですが。

○ 議長 山里昌輝

8番幸地良雄議員。

○ 8番 幸地良雄議員

どこか民間に委託するかどうかということになるんだけど、そういった案も準備しないで、そのままなくした場合に路頭に迷っていくんじゃないかと思うんですよ。

バーデハウスというのは先ほどから議論されているとおり観光産業に大きく貢献してきているわけです。当初の目的は十分達成はされていないと思うんだけど、達成されつつあるわけですよね。今、15万という観光客は入ってはいないけれども、しからばなかったらどうなったかということも考えたことがある

のかどうか。

観光産業というのは、単なる観光では、ホテルとか交通とか、そういうことで、総合産業といわれている中で、大きく貢献されていると思うんですよ。さらには、健康増進についてもやはり、私はよく行くんだけど、生の声聞くんですよ。やっぱりバーデハウスは大事だということで、なぜ、町民が少ないのかな、早く町は利用者を多く宣伝して募ってほしいなという声があるんですよ。

だけどそう言っているんだけど、なかなか来ないという実態がある。

それだけ、健康増進に繋がっていることだけれど、これは単に数字出せと言っても数字的に簡単に出来るものじゃないと思うんですよ。そういうことでほんとに再建しようという考えがあるのかどうか。

○ 議長 山里昌輝

9番上里総功議員。

○ 9番 上里総功議員

私の方に経営まで何とかということを行っているんですが、私は経営者ではありません。経営しているのは行政の方です。だけど今までの累積をどうするかと、これは最終的に町民に来るということを認識して、幸地委員は発言しているのかね。これは必ず町民に負担が来ると思いますよ。今までずっと他の市町村でもそういう事例がいっぱいあるじゃないですか。久米島もそうなるんじゃないかということで、そういう危機感でもって修正案を出しています。

○ 議長 山里昌輝

8番幸地良雄議員。

○ 8番 幸地良雄議員

累積赤字大きいというのは、確かに厳しい

状況ではありますけど、やはり当初の資金計画で、借入された金額の償還が来て非常に厳しくなっている状況で、単年度収支からするとそんなに悪くないですよ、黒字になりつつあるわけですよ。良くなりつつある中で今の状況で助成を切った場合に、ますます困難なっていくんじゃないかと思うんですよ。確かに累積赤字が2億余りということは厳しいんですけどね、これは今まで借入したものが償還に入ったから厳しくなっているんであって、払えば次第に経営はよくなっていく、払っていけば減っていくというかたちになるので、これは提案者がいうような説明は通らないと思います。

○ 議長 山里昌輝

他に質疑ありませんか。

休憩します。(午前 11時37分)

○ 議長 山里昌輝

再開します。(午前 11時37分)

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

まず原案に賛成者の発言を許します。

6番仲村昌慧議員。

○ 6番 仲村昌慧議員

平成22年度の予算について賛成の立場で討論します。

全体、部分的には、この予算審議の中で非常に疑問点がありますが、予算全体としては賛成すべきものと思います。しかしながら、この予算計上の仕方について指摘させていただきたいと思いますが、まず、観光危機突破関連の予算であります、その予算について資料を求めたところ事業項目についてのそれぞれの予算が配分されてなかったということが予算計上の仕方にとって、これが正当な予

算の請求の仕方なのかどうかということが疑われます。

その後、会合をもって、その金額を決めていくということで、今日朝、その資料をいただきましたが、それにおいても細部にわたっての配分がまだされていない。今後の事業展開において、年間の事業の中でもまた曖昧な仕方で補正で上げれば何とかできるというような要素が含まれているような感じがしてなりません。ちゃんとした計画性をもっての予算要求をしていただきたいということを指摘しておきます。

それから、楽天関係について、旅費の問題についても年4回、22年度は年4回ということでありましたが、毎年、21年度もそうでしたが、相当の楽天関連で旅費を執行しております。それが町民の目線からして、それでいいのかどうか、そういった予算執行も配慮していただきたい。まず、応援ツアーとしても町民に応援ツアーを求めていくのであれば、当然執行部としても自費で行ってもらいたい。それが町民からの目線だと思っています。

それからバーデハウス再建については、22年度黒字を見通しされていますが、先ほども申し上げましたが、22年度の上半期の状況を見て、今度法的整理をするか検討をするということですので、22年度ぜひ黒字でいけるように頑張っていたいただきたいと思います。部分的には非常に疑問がありますが、予算全体としては賛成します。

○ 議長 山里昌輝

休憩します。(午前 11時42分)

○ 議長 山里昌輝

再開します。(午前 11時42分)

次に原案及び修正案に反対者の発言を許し

ます。

○ 議長 山里昌輝

次に、原案に賛成者の発言を許します。

○ 議長 山里昌輝

8番幸地良雄議員。

○ 8番 幸地良雄議員

本案につきましては特別委員会、慎重に審査、かつ十分審議されまして、可決されたわけであります。非常に厳しい指摘もございました。そこについては、執行部も真摯に受けとめて執行すべきだと思います。

バーデハウスの経営再建対策助成金については、やむを得ない措置だというふうに考えています。バーデハウスの事業運営は久米島観光産業、そして健康増進に大きく貢献していると思います。

これは以前からずっと議論しているとおりであります。観光に貢献というのは金額に表れるようなものではございません。しかし、執行に当たっては、経営の十分なるチェックをして執行に当たってほしいと思います。

それから予算全体についてなんですけど、計画された事業そのものについて、年度内執行するように、これは年度内執行というのは当たり前のことです。よく繰越されて、これが恒常化しているような傾向があります。やはり執行は、繰越されるということは、それだけ予算の執行が遅れるということは地域経済において影響するわけですから、これは強く要望してこの本案に賛成します。

○ 議長 山里昌輝

次に、修正案に賛成者の発言を許します。

4番宇江原総清議員。

○ 4番 宇江原総清議員

私は次の理由から商工費のバーデハウス久

米島経営再建対策費補助金1千万円の支出する件の修正案については賛成であります。理由の一つとしては、株式会社オーランドが累積赤字2億5千万円となっていること、執行機関は将来黒字見込みとしていますけれども、その黒字部分でも累積赤字を埋めるには、焼け石に水だと思っています。

また、減価償却を考えればその累積赤字はますます厳しいものになってくるだろうというように推測をしています。このバーデハウス自体が塩害等を受けて、中の方も、だいぶ老朽化していると私は見ています。そういうような観点から、累積赤字というのはますます厳しいものになっていくと、こういうことで考えています。

2つ目は今年度も既にバーデハウス関連事業ですね、これは国の地域活性化交付金等で海洋深層水管の敷設整備事業に1千648万5千円、それからバーデハウス久米島トリートメント棟増設事業に4千616万1千円、計、6千264万6千円を支出しております。その他にも深層水の送水管敷設整備事業として、これだけで先ほどの国の交付金と併せて7千200万円の工事費用が出ております。そういうように非常に我々が気付かない間に、その間に相当な投資をしているわけです。町民の税金でもって3つ目は、株式会社オーランドとしての企業努力が見られない。町民の使用料金は現行でもいいとしても、その他の利用者については海洋深層水という付加価値をつけて、値上げしたらどうかということなんです。かんたんなタラソ沖縄についてはビジターで大人2千500円であるが、バーデハウスは2千円であります。そういった面での企業努力はしたか、その他にも多々あります。

4つ目は企業目的評価の資料の費用対効果についてでありますけれども、指定管理施設、6施設を対象として、ずば抜けてバーデハウスはいいということになってはいますが、その対象になっている施設が、観光目的の施設はないんですよ。例えばホテル館、ホテル館は条例で生物の保護と研究施設が目的ということで、条例でもって位置づけられているわけです。入館料についても大人100円、小学校生以下が50円となっています。

自然文化センターでも条例で位置づけられて一般料金が200円、小中学生で100円となっているわけです。ですから、観光施設、目的のものとは比較対象にはなりませんよというのに、敢えてそれを資料として提出をしている。

それからオーランドは株式会社ですよ。黒字経営しなければならぬのに町民の税金が大分流入されている。

そういうようなことからすれば、早くオファーを探して、完全民営化した方がいいんじゃないかということ。

5つ目は、これから現政権の地方自治体に対する一括交付金が来ると思います。それに受け皿となっている態勢を組まないといかん。だけれども、我々の知恵と努力がこういうオーランドに対してだいぶ食われていつている。そういうようなことで、行政機関の本分たる、サービス機関たるものは何だと、こういうことで疑問に思っています。

従って私は、修正案については賛成であります。

○ 議長 山里昌輝

他に討論はありませんか。

○ 議長 山里昌輝

原案に賛成者の発言を許します。

2番宮田勇議員。

○ 2番 宮田勇議員

原案に賛成する立場で討論を行います。

この海洋深層水バーデハウスというのは、まず、原点から戻れば海洋深層水研究所、沖縄文部科学省が沖縄県に誘致すると、それを久米島が受けれるために、我々仲里村議会はハワイまで行き、海洋深層水研究所とはいかなるものかと研修を深めてきました。そうした中でちょうどその時期、久米島出身の大田県知事の下で久米島へ誘致されました。そしたら海洋深層水をどのような利活用をやるべきかということで、喧々諤々、議会でもいろいろありましたなかで、たまたま特別交付税、米軍基地所在活性化事業という特別交付税がありました。別の名前で島懇事業といいますね、それが約7億円の交付税がありました、じゃあ、久米島は米軍基地所在活性化交付税をどのように生かして使おうかということで、議会でもいろいろ侃々諤々とやって、そういった中で宜野座のタラソの話が出ました。

先ほど別の議員からタラソの話もありましたが、あれは海洋深層水ではなくて表層水を利用したものだと、そして久米島においては海洋深層水、海面から200mは表層水といいますね、200m以下を深層水と言われて、深海600mから汲み上げられる素晴らしい海洋深層水をつかった温浴プールができるんだという案が出てきて、その頃仲里村でこれを取り入れました。

その頃素晴らしいなど、目新しい事業だなと、こうして町民揃って議会もみんな揃って全会一致でそれに賛成してきました。その運営をしていく中で、やっぱり管理コスト、い

ろいろな面でこうして運営してきた中で先ほど来から話があるように、2億5千万円の累積赤字というのもあるわけですが、せっかく立ち上げたものをなくするのも大変なことだと思います。

そしてこのように計画を立てて再建をしようという執行部のやり方も大きな町民サービスの一つだと思ってですね、それに努力してもらいながらしばらく見守っていききたいなど、こういう意味合いから本案に賛成します。

○ 議長 山里昌輝

他に討論はありませんか。

○ 議長 山里昌輝

これで討論を終わります。

○ 議長 山里昌輝

これから、議案第11号、平成22年度久米島町一般会計予算についてを採決します。

本案に対する上里総功議員他1名の議員から提出された修正案について採決します。

本修正案に賛成の方は挙手願います。

(挙手少数)

○ 議長 山里昌輝

挙手少数です。

従って修正案は否決されました。

次に原案について採決します。

原案に賛成の方は挙手願います。

(挙手多数)

○ 議長 山里昌輝

挙手多数です。

従って、議案第11号、平成22年度久米島町一般会計予算については、原案のとおり可決されました。

○ 議長 山里昌輝

次に、議案第12号、平成22年度久米島町国民健康保険特別会計予算について、これから

討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

討論なしと認めます。

これから、議案第12号、平成22年度久米島町国民健康保険特別会計予算についてを採決します。

本案に対する委員長報告は、原案可決であります。本案について委員長報告のとおり賛成の方は挙手願います。

(挙手多数)

○ 議長 山里昌輝

挙手多数です。従って、議案第12号、平成22年度久米島町国民健康保険特別会計予算については、委員長の報告のとおり可決されました。

○ 議長 山里昌輝

次に、議案第13号、平成22年度久米島町老人保健特別会計予算について、これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

討論なしと認めます。

これから、議案第13号、平成22年度久米島町老人保健特別会計予算についてを採決します。

本案に対する委員長報告は、原案可決であります。本案について委員長報告のとおり賛成の方は挙手願います。

(挙手全員)

○ 議長 山里昌輝

全員挙手です。従って、議案第13号、平成22年度久米島町老人保健特別会計予算については委員長の報告のとおり可決されました。

○ 議長 山里昌輝

次に、議案第14号、平成22年度久米島町後期高齢者医療特別会計予算について、これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

討論なしと認めます。

これから、議案第14号、平成22年度久米島町後期高齢者医療特別会計予算についてを採決します。

本案に対する委員長報告は、原案可決であります。本案について委員長報告のとおり賛成の方は挙手願います。

(挙手全員)

○ 議長 山里昌輝

全員挙手です。従って、議案第14号、平成22年度久米島町後期高齢者医療特別会計予算については委員長報告のとおり可決されました。

○ 議長 山里昌輝

次に、議案第15号、平成22年度久米島町水道事業会計予算について、これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

討論なしと認めます。

これから、議案第15号、平成22年度久米島町水道事業会計予算についてを採決します。

本案に対する委員長報告は、原案可決であります。本案について委員長報告のとおり賛成の方は挙手願います。

(挙手全員)

○ 議長 山里昌輝

全員挙手です。従って、議案第15号、平成22年度久米島町水道事業会計については、委員長報告のとおり可決されました。

○ 議長 山里昌輝

次に、議案第16号、平成22年度久米島町下水道事業特別会計予算について、これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

討論なしと認めます。

これから、議案第16号、平成22年度久米島町下水道事業特別会計予算についてを採決します。

本案に対する委員長報告は、原案可決であります。本案について委員長報告のとおり賛成の方は挙手願います。

(挙手全員)

○ 議長 山里昌輝

全員挙手です。従って、議案第16号、平成22年度久米島町下水道事業特別会計予算については、委員長報告のとおり可決されました。

日程第6 保育所・児童入所施設の環境改善を求める意見書について

○ 議長 山里昌輝

日程第6、発議第1号、保育所・児童入所施設の環境改善を求める意見書についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

6番仲村昌慧議員。

○ 6番 仲村昌慧議員

発議第1号

平成22年3月26日

久米島町議会議長 山里昌輝 殿

提出者 久米島町議会議員 仲村昌慧

賛成者 久米島町議会議員 宮里洋一

保育所・児童入所施設の環境改善を求める意見書

上記の議案を別紙のとおり、会議規則第14条の規定により提出します。

提案理由

保育所・児童入所施設の設及び運営に対し、必要な財源を確保することと、入所する個々の児童の発達や生活健康安全を最低限保証する最低基準の改善を求めるため、本案を提出する。

保育所・児童入所施設の環境改善を求める意見書

少子高齢化社会を迎える中において、次世代育成支援は、国の喫緊の課題となっています。また、保育の実務義務がある地方自治体にとっても、最優先課題のひとつとなっているところです。

このようなことから、子どもの福祉の向上に必要な保育所・児童入所施設の在り方については、少子化が進行し財政状況が厳しい地方自治体へ配慮するとともに、地域の保育機能の崩壊を招くことのないよう検討されなければなりません。

保育は、子どもに良好な育成環境を保障し次世代の担い手を育成する公的性格も有するものです。

よって、国においては、保育制度の議論に当たっては、子どもの立場に立ち、下記の事項に配慮するよう強く要望いたします。

記

- 1 保育所・児童入所施設の設置及び運営に対し、必要な財源を確保すること。
  - 2 保育所・児童入所施設の最低基準については、改善に向けて十分に配慮すること。
- 以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年 3月26日

沖縄県島尻郡久米島町議会

【提出先】

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、  
厚生労働大臣、少子化対策担当大臣

○ 議長 山里昌輝

これで提案理由の説明を終わります。

本案については質疑を省略したいと思いま  
すが、ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○ 議長 山里昌輝

異議なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

討論なしと認めます。

これから発議第1号、保育所・児童入所施  
設の環境改善を求める意見書についてを採決  
します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の  
方は挙手願います。

(挙手全員)

○ 議長 山里昌輝

全員挙手です。

発議第1号、保育所・児童入所施設の環境  
改善を求める意見書については原案のとおり  
可決されました。

日程第7 子宮頸がん予防ワクチン接種の  
公費助成を求める意見書につい  
て

○ 議長 山里昌輝

日程第7、発議第2号、子宮頸がん予防ワ  
クチン接種の公費助成を求める意見書につい  
てを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

11番宮里洋一議員。

○ 11番 宮里洋一議員

発議第2号

平成22年 3月26日

久米島町議会議長 山里昌輝 殿

提出者 久米島町議会議員 宮里洋一

賛成者 久米島町議会議員 翁長 学

子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成を  
求める意見書

上記の議案を別紙のとおり、会議規則第14  
条の規定により提出します。

提案理由

子宮頸がん予防ワクチンを無料で接種でき  
るよう、公費助成制度を求めるため、本案を  
提出する。

子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成を  
求める意見書

子宮頸がんを予防するワクチンが日本でも  
認可され、接種が始まりました。

子宮頸がんは、日本の20歳代の女性では乳  
がんを抜いて、発症率が一番高いがんで、年  
間15,000人以上が発症し、約3,500人が命を  
落としています。その原因は、HPV(ヒトパ  
ピローウイルス)の感染によるもので、ワクチン  
で予防できる唯一のがんです。

HPVは性交渉で感染するため、性行動を  
始める前の10歳代の女性がワクチンの対象と  
なります。注射による3回の接種で4万円～  
6万円の全額が自己負担となり、公的援助が  
不可欠です。あわせて、自分の体と性につい  
て正しい知識を得る機会とするためこの間、  
後退させられた学校での性教育を強めること  
が必要です。

このことが女性の生涯にわたる「性と生殖



に関する健康・権利」(リプロダクティブ・ヘルス/ライフ)を保障することに繋がります。

すでに世界では、100カ国以上でこのワクチンが使われ、先進国約30カ国で公費助成が行われています。日本でも自治体が独自の助成をし、日本産婦人科学会や日本小児学会も、11～14歳の女子に公費負担で接種するよう求めています。

新政権におかれましても「子宮頸がんワクチンの・・・任意接種に対する助成制度を創設します」(民主党09年総選挙マニフェスト)との公約にもありますとおり、下記の事項が一日も早く実行されることを強く要望いたします。

#### 記

一、国は、子宮頸がん予防ワクチンを無料で接種できるよう公費助成をおこなうこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年3月26日

沖縄県島尻郡久米島町議会

#### 【提出先】

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣  
厚生労働大臣

#### ○ 議長 山里昌輝

これで提案理由の説明を終わります。

本案については質疑を省略したいと思いますが、ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

#### ○ 議長 山里昌輝

異議なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

#### ○ 議長 山里昌輝

討論なしと認めます。

これから、発議第2号、子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成を求める意見書についてを採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手全員)

#### ○ 議長 山里昌輝

全員挙手です。従って、発議第2号、子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成を求める意見書については原案のとおり可決されました。

#### 日程第8 「国立沖縄青少年交流の家」存続を求める要請決議

#### ○ 議長 山里昌輝

日程第8、決議第1号、「国立沖縄青少年交流の家」存続を求める要請決議についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

3番 饒平名智弘議員。

#### ○ 3番 饒平名智弘議員

決議第1号

平成22年3月26日

久米島町議会議長 山里昌輝 殿

提出者 久米島町議会議員 饒平名智弘

賛成者 久米島町議会議員 平良義徳

「国立沖縄青少年交流の家」存続を求める決議

上記の議案を別紙のとおり、会議規則第14条の規定により提出します。

提案理由

次代を担う青少年の健全育成の場として、国立沖縄青少年の交流の家が今後も国の施策の中で継続的に運営されることを求めるため本案を提出する。

「国立沖縄青少年交流の家」存続を求める要請決議

国立沖縄青少年交流の家は、その前身である国立沖縄青少年の家として、米軍ホークミサイル基地跡に、沖縄の祖国復帰を記念して昭和47年5月15日に設立された。

太平洋戦争で悲劇となった住民の集団自決の場所に設立された国立沖縄青少年交流の家は、平和を求める沖縄県民にとって極めて重要な施設である。

当該施設は、開所以来、離島に立地するハンディを抱えながら自然環境の豊かさを利用した海洋研修や戦争体験をもとにした平和教育など、その立地を活かした青少年の研修の場として地域と密接に関わり、年間延べ7万人余りの研修生を受け入れ、県内はもとより全国の方々からも親しまれ、また、沖縄県の教育文化の向上と、地域の経済発展にも大きく貢献している。

このような中、今般の行政刷新会議の「事業仕分け」において、国立国立青少年振興機構等についての自治体・民間への移管や、特に青少年交流の家及び自然の家については、国の事業としては廃止すべきとワーキンググループの評価が示されています。

現在、学校現場や青少年を取り巻く環境は「いじめ」や「集団での暴行」など凶悪な事件が多発し、人間関係の希薄化や社会的自立の立ち遅れが指摘されており、青少年の健全育成には豊かな自然の中で団体宿泊訓練を通じて、多様な生活体験など必要不可欠であり、国の施策として先導的・モデル的なプログラム開発や公立施設等の指導者養成などを継続する必要がある。

国立沖縄青少年交流の家が経済的な合理性

などの画一的な見地から廃止や自治体・民間移管等の考えは、沖縄の離島という地理的条件から維持及び継続することは大変厳しいと推察されます。次代を担う青少年の健全育成の場として、当該施設が今後も国の施策の中で継続的に運営されることを強く要請する。

以上、決議する。

平成22年3月26日

沖縄県島尻郡久米島町議会

【提出先】

内閣総理大臣、文部科学大臣、沖縄及び北方対策担当大臣

○ 議長 山里昌輝

これで提案理由の説明を終わります。

本案については質疑を省略したいと思います。ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○ 議長 山里昌輝

異議なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

討論なしと認めます。

これから、決議第1号、「国立沖縄青少年交流の家」存続を求める要請決議についてを採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手全員)

○ 議長 山里昌輝

全員挙手です。従って、決議第1号、「国立沖縄青少年交流の家」存続を求める要請決議についてを採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手全員)

○ 議長 山里昌輝

全員挙手です。従って、決議第1号、「国立沖縄青少年交流の家」存続を求める要請決議については原案のとおり可決されました。

以上で本日の議事日程は全て終了しました。

3月10日から長期にわたりました本定例会は、予定されておりました全議案が議員各位並びに執行部のご協力により無事終了することができました。ここに感謝を申し上げます。

これにて平成22年第2回久米島町議会定例会を閉会します。

お疲れ様でした。

(閉会 午後0時08分)

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

久米島町議会議長 山里昌輝

署名議員（議席番号9番） 上里 総 功

署名議員（議席番号10番） 安 村 達 明